第８号様式（第15条関係）

（第１面）

事　業　計　画　書

令和５年５月１５日

三重県知事　あて

事業計画者
住所　三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地
氏名　鈴鹿リサイクルセンター有限会社
代表取締役　下田陽一
電話番号　０５９（３７０）６７８９

三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例第21条第１項の規定により、産業廃棄物の処理施設の設置等について、次のとおり事業計画書を提出します。

産業廃棄物の処理施設の設置等の目的	選別過程におけるプラスチック等をリサイクル(サーマル・マテリアル)するために回収するとともに、処理残さの発生量を減少するため、工場敷地を拡大してリサイクルプラントを増設する。
産業廃棄物の処理施設の設置等の場所	三重県鈴鹿市住吉町字宮西 8423-1、8442、8443、8444、8445、8446、8447
産業廃棄物の処理施設の種類	破砕施設、圧縮施設、破砕・圧縮施設、 破砕・選別施設、破砕・選別・圧縮施設
産業廃棄物の処理施設において処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。） （上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。） 以上７種類
産業廃棄物の処理施設の処理能力	別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり
産業廃棄物の処理施設の位置、構造等に関する計画	
産業廃棄物の処理施設の位置	別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり
産業廃棄物の処理施設の処理方式	破砕、選別、圧縮
産業廃棄物の処理施設の構造及び設備	別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり
処理に伴い生ずる排ガス及び排水の量及び処理方法（排出の方法（排出口の位置、排出先等を含む。）を含む。）	該当なし
設計計算上達成することができる排ガスの性状、放流水の水質その他の生活環境への負荷に関する数値	排ガス及び排水は発生しない
悪臭の発散並びに騒音及び振動の発生を防止するための措置	別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり
その他産業廃棄物の処理施設の構造等に関する事項	別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり

（規格Ａ４版）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の処理施設の維持管理に関する計画</td></tr>
<tr><td colspan="2">排ガスの性状、放流水の水質等について周辺地域の生活環境の保全のため達成することとした数値</td><td>排ガス及び排水は発生しない</td></tr>
<tr><td colspan="2">排ガスの性状及び放流水の水質の測定頻度に関する事項</td><td>該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他産業廃棄物の処理施設の維持管理に関する事項</td><td>別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">説明会の開催の周知方法並びに事業計画書を公告及び縦覧する方法</td></tr>
<tr><td rowspan="3">説明会の開催の周知方法</td><td>予　定　日　時</td><td>令和５年６月３日
午前１０時００分　～　　時　　分</td></tr>
<tr><td>予定場所及び収容人数</td><td>鈴鹿市住吉町８４４０番地
鈴鹿リサイクルセンター有限会社２Ｆ会議室　２０名</td></tr>
<tr><td>周　知　の　方　法</td><td>関係住民等へ開催案内を郵送する</td></tr>
<tr><td rowspan="5">事業計画書を公告及び縦覧する方法</td><td>公　告　の　方　法</td><td>鈴鹿リサイクルセンター有限会社ホームページ
https://www.fujiko.ne.jp/src.html</td></tr>
<tr><td>公　告　予　定　日</td><td>令和５年５月１９日</td></tr>
<tr><td>縦　覧　場　所</td><td>鈴鹿リサイクルセンター有限会社事務所</td></tr>
<tr><td>縦覧開始予定日</td><td>令和５年５月１９日</td></tr>
<tr><td>縦　覧　時　間</td><td>午前８時００分　から　午後５時００分まで
（土曜日、日曜日及び祝日を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の搬入及び搬出の時間、方法及び経路</td><td>搬入搬出の時間：８：００～２２：００
方法及び経路は別紙「中間処理施設に係る事業計画」のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の処理施設を使用する日時</td><td>８：００～２２：００（休憩：１時間含む）</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の処理施設の設置等に当たり行政庁の許可、認可、承認、行政庁に対する届出その他これらに類するものを必要とする場合にあってはそれらの手続の状況</td><td>別添「新工場建設打合せ記録」</td></tr>
<tr><td rowspan="3">事業計画者の連絡先</td><td>担　当　部　署</td><td>鈴鹿リサイクルセンター有限会社
総務部　　上戸　大地</td></tr>
<tr><td>Ｔ　　Ｅ　　Ｌ</td><td>０５９－３７０－６７８９</td></tr>
<tr><td>Ｆ　　Ａ　　Ｘ</td><td>０５９－３７０－２４１１</td></tr>
</table>

備考

1　各欄にその記載事項のすべてを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付してください。

2　次に掲げる書類及び図面を添付してください。

（１）産業廃棄物の処理施設及び事業の用に供する施設の配置図

（２）産業廃棄物の処理施設の構造及び処理能力（最終処分場にあっては、産業廃棄物の埋立処分の用に供される場所の面積及び埋立容量）を明らかにする図面及び設計計算書

（３）　最終処分場にあっては、周囲の地形、地質及び地下水の状況を明らかにする書類並びに災害防止のための計画及び埋立処分の計画を記載した書類

（４）最終処分場以外の産業廃棄物の処理施設にあっては、処理工程図及び処理後の産業廃棄物の処理方法を記載した書類

（５）事業計画地の付近の見取図

（６）排水の経路図

（７）事業計画地の登記事項証明書及び不動産登記法第 14 条第 1 項に規定する地図又は同条第 4 項に規定する図面の写し

（８）関係地域に該当する地域（産業廃棄物の処理に伴い生ずる排水（雨水及び従業員等の生活排水を除く。）を放流する場合は、放流地点を含む。）を明らかにする図面

（９）その他知事が必要と認める書類及び図面

取扱い予定の産業廃棄物の種類〔リサイクルプラント〕

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の具体的名称	1カ月あたりの平均取扱い量（t・m³／月）	有害物質含有の有無	有害物質の名称
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	廃ペットボトル、塩化ビニールパイプ、梱包用ビニールシート等	３６０t／月	有・(無)	
紙くず	建設工事により発生したダンボール等	２１．５t／月	有・(無)	
木くず	廃パレット、建設工事により発生した伐採木等	１０t／月	有・(無)	
繊維くず	建設工事により発生した廃畳等	５．４t／月	有・(無)	
金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	一斗缶、建設工事により発生した鉄鋼等	１t／月	有・(無)	
ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	廃ガラス、陶磁器くず等	１１０t／月	有・(無)	
がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じるコンクリート、アスコン、レンガ等の破片等	１１０t／月	有・(無)	

注）有害物質を含有する場合は、その名称、成分等を明らかにする書類を添付すること。

【参考：既存施設】

別紙－２

取扱い予定の産業廃棄物の種類〔せん断〕

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の具体的名称	１カ月あたりの平均取扱い量（t・m³／月）	有害物質含有の有無	有害物質の名称
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	塩化ビニールパイプ、ビニールホース、廃船、防舷材等	２t／月	有・(無)	
紙くず	印刷会社より発生したロール紙等	１t／月	有・(無)	
木くず	廃パレット、建設工事により発生した伐採木、杭木等	１０t／月	有・(無)	
繊維くず	建設工事により発生した廃畳等	１t／月	有・(無)	
金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	建設工事により発生した鉄鋼等	５t／月	有・(無)	
ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	陶磁器くず、電柱、コンクリート二次製品、石膏ボード等	１t／月	有・(無)	
がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じるコンクリート、アスコン、レンガ、外壁材等の破片等	３t／月	有・(無)	

注）有害物質を含有する場合は、その名称、成分等を明らかにする書類を添付すること。

【参考：既存施設】

別紙－２

取扱い予定の産業廃棄物の種類〔破砕〕

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の具体的名称	１カ月あたりの平均取扱い量（t・m³／月）	有害物質含有の有無	有害物質の名称
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	廃ペットボトル、塩化ビニールパイプ、梱包用ビニールシート等	３８t／月	有・(無)	
紙くず	建設工事により発生したダンボール等	２．５t／月	有・(無)	
木くず	廃パレット、建設工事により発生した伐採木等	１９０t／月	有・(無)	
繊維くず	建設工事により発生した廃畳等	０．６t／月	有・(無)	
動植物性残さ	食品製造業の製造過程から発生した食品残さ等	１t／月	有・(無)	
ゴムくず	天然ゴムくず	１t／月	有・(無)	
金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	一斗缶、建設工事により発生した鉄鋼等	１０４t／月	有・(無)	
ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く。）（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）	廃ガラス、陶磁器くず等	１２９t／月	有・(無)	
鉱さい	鋳物砂等	１t／月	有・(無)	

注）有害物質を含有する場合は、その名称、成分等を明らかにする書類を添付すること。

【参考：既存施設】

別紙－２

取扱い予定の産業廃棄物の種類〔破砕〕

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の具体的名称	１カ月あたりの平均取扱い量（t・m³／月）	有害物質含有の有無	有害物質の名称
がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じるコンクリート、アスコン、レンガ等の破片等	２３７t／月	有・(無)	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	

注）有害物質を含有する場合は、その名称、成分等を明らかにする書類を添付すること。

別紙－５－１（１）

中　間　処　理　施　設　に　係　る　事　業　計　画

基本計画	施設の内容	種　　類	法許可	処　理　能　力	１日の稼働時間
		二軸破砕機　FR2000（16枚刃）	（要）・不要	389.63ｔ/日	14時間
		振動ふるい機(BIVITEC　KRL/EDS　1000×4)	要・（不要）	771.12ｔ/日	14時間
		風力選別機　SDS1200	要・（不要）	1,360.80t/日	14時間
		風力選別機　SDi650	要・（不要）	708.82ｔ/日	14時間
		一軸破砕機　Komet1800	（要）・不要	346.50t/日	14時間
		圧縮機	要・（不要）	291.72ｔ/日	14時間
	施設使用開始予定日		手続き終了後　年　　月　　日　～		
	１日平均中間処理量、及び搬入・搬出車両台数（取扱廃棄物ごとに記入）		（別－１のとおり）		
	技術管理者又は施設管理責任者	氏　　名	下田　陽一		
		資格内容	規則第１７条第１項第４号の技術管理者 平成１７年　３月　３日 産業廃棄物処理施設技術管理者講習 破砕・リサイクル施設コース　基礎・管理課程を修了。		

処理計画	廃棄物受入れの方法	計量器で計量、マニフェスト（電子マニフェストの場合は受渡確認票等）及び展開検査により廃棄物を確認後、それぞれ廃棄物ごとに受入・保管場所にて受入れ。 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~		
	処理の方法	処理フローの通り、種類ごとに破砕する。 添付書類：□無　■有（別添－　６　のとおり）		
	処理後の産業廃棄物または処理方法の処理方法等			
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	（別－２のとおり）		
	発生量（t/月又はm^3/月）			
	処理方法	埋立処分　中間処分　売却	埋立処分　中間処分　売却	埋立処分　中間処分　売却

別紙－５－１（２）

構造等の計画	構造力学上の安全性	別紙　設計図による 添付書類：□無　■有（別添－３のとおり）
	処理能力の算定根拠	メーカーより提示。別紙カタログ及び設計計算書参照。 添付書類：□無　■有（別添－３のとおり）
	腐食防止	錆止め防止塗料塗布。 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	飛散、流出悪臭の発散防止	飛散・流出を防止するため、建物内で破砕、選別、圧縮作業を行います。 屋外保管で飛散流出の恐れのあるものはシート掛けをします。 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	騒音・振動及び粉じんの発生防止	騒音・振動の発生を防止するために施設は建物内に設置し、敷地境界において条例の排出基準を遵守します。（中電鉄塔の敷地境界を除く。） 屋内作業の為、粉じんは飛散しません。 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	汚水処理施設の概要フロー図添付	なし 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	排ガス処理施設の概要フロー図添付	なし 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	廃棄物の受入設備	位置　別紙のとおり 構造　計量設備としてはかりを設置。 規模　別紙のとおり　添付書類：□無　■有（別添－１①のとおり）
	処理後の廃棄物等の保管施設	位置　別紙のとおり 構造　別紙のとおり 規模　別紙のとおり　添付書類：□無　■有（別添－１⑤⑥のとおり）
	囲い等	鋼製囲い及び門扉。 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	雨水等の流入防止	建屋内のため雨水の流入はない。 添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	搬入道路	市道加佐登鼓ヶ浦線より県道41号亀山鈴鹿線を経由して市道住吉245号線に入り本田住吉寮前を通って現地に至る。 添付書類：□無　■有（別添－４③のとおり）
	消火設備	㊒　無（有の場合　その概要）添付書類：□無　■有（別添－７②のとおり）
	車両足洗設備	有　㊙（有の場合　その概要）添付書類：■無　□有~~（別添－　のとおり）~~
	駐車設備	㊒　無（有の場合　その概要）添付書類：□無　■有（別添－４②のとおり）
	管理事務所	㊒　無（有の場合　その概要）添付書類：□無　■有（別添－１①のとおり）
	その他、施設の種類ごとに、規則第12条の2に定める構造等の基準の適合方法について記載すること。	

別紙－５－１（３）

構造等の計画	放流先までの経路	工程からの排水はない。 雨水については場内油水分離槽からU字溝を経由して奈良池へ放流する。 添付書類：□無　■有（別添－４④⑤のとおり）				
			原水		放流水	
			通常	最大	通常	最大
	排水量		m^3／日	m^3／日	m^3／日	m^3／日
	水質	pH				
		BOD	mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
		COD	mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
		SS	mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
		n－ヘキサン	mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
		＊その他有害物質等があれば、下欄に記入すること。				
			mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
			mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
			mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
			mg／L	mg／L	mg／L	mg／L
	大気質	排ガス量 wet	m^3_N／h			
		排ガス量 dry	m^3_N／h			
		排ガス中の酸素濃度（%）	%			
			処理前		処理後	
		排ガス温度（℃）				
		ばいじん（g/m^3_N）				
		塩化水素（mg/m^3_N）				
		硫黄酸化物（ppm）				
		窒素酸化物（ppm）				
		ダイオキシン類（$ng\text{-}TEQ/m^3_N$）				
		＊その他有害物質等があれば、下欄に記入すること。				
		（ppm）				
		（ppm）				

別紙－５－２（１）

維持管理等の計画	作業方法	作業人数　１５人 作業時間　８：００～２２：００（休憩：１時間含む） 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	受入時の廃棄物の性状の分析・計量方法	展開検査により性状確認。 計量は40トン計量器にて行う。 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	異常事態時の措置	ただちに施設の運転を停止し、事務所及び関係機関への連絡をするとともに、適切な対応を行う。 添付書類：□無　■有（別添－７③のとおり）
	飛散・流出悪臭の防止	方法　建屋内で作業を行う。また日常の清掃等により飛散・流出を防止する。 回数　清掃　１回以上／日 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	火災発生防止	場内の火気の使用を禁止する。受入展開検査時にライター、スプレー缶、ガスボンベ等危険物の混入が無いか目視確認する。先入れ先出しを徹底し古い廃棄物が残らないようにする。可燃系破砕物は容器に保管し、野積みはしない。 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	衛生害虫等の発生防止	方法　発生が予測される場合、適宜薬剤の散布を行う。 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	騒音・振動 粉じんの防止	騒音・振動について、機器の日常・定期点検を徹底し、作業についても注意を払う。 屋内作業の為、粉じんは飛散しません。 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~
	放流水・排ガスの管理	項目 / 管理値 / 測定頻度
	定期的点検機能検査	方法　破砕歯の点検クリアランス調整、必要に応じ歯の交換をします。 回数　ISO実施計画書に基づき年2回定期点検します。 添付書類：□無　■有（別添－７④⑤のとおり）
	点検、検査の記録及び保存	記録内容　ISO実施計画書及び実施記録に記録し保存します。 保存 添付書類：■無　□有~~（別添－　　のとおり）~~

別紙－５－２（２）

	その他、施設の維持管理に関する計画	
	騒音・振動 粉じん 保管場所	機器の日常・定期点検を徹底し、作業についても注意を払うほか、敷地境界において騒音：５５ｄＢ、振動：６０ｄＢを遵守し、年１回の測定を行う。 屋内作業の為、粉じんは飛散しません。

別　1

基本計画	１日平均中間処理量、及び搬入・搬出車両台数（取扱廃棄物ごとに記入）	廃プラスチック類：16.0t 紙くず　　：　1.0t 木くず　　：　8.0t 繊維くず　　：　0.3t 動植物性残さ　：　0.1t ゴムくず　　：　0.1t 金属くず　　：　4.0t ガラスくず等　：10.0t 鉱さい　　：　0.1t がれき類　　：14.0t 搬入・搬出車両台数 廃プラスチック類：10台程度 紙くず　　：　2台程度 木くず　　：10台程度 繊維くず　　：　1台程度 動植物性残さ　：　1台程度 ゴムくず　　：　1台程度 金属くず　　：　4台程度 ガラスくず等　：　8台程度 鉱さい　　：　1台程度 がれき類　　：　5台程度

別　2

処	処理後の産業廃棄物または処理方法の処理方法等			
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	木くず（チップ燃料）	木くず	紙くず（古紙）
	発生量 (t/月又は㎥/月)	２００t／月	１０t／月	２３t／月
	処理方法	埋立処分　中間処分　[売却] (株)ナコード 所在地：東京都中央区東日本橋2丁目27-8 住友大阪セメント(株)岐阜工場 所在地：岐阜県本巣市山口11番地 へ燃料として売却する。	埋立処分　[中間処分]　売却 豊田ｹﾐｶﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ(株) 所在地：愛知県半田市日東町1-30 へ焼却処理する。	埋立処分　中間処分　[売却] 三愛紙業(株) 所在地:三重県鈴鹿市安塚町字野瀬1491-3 福田三商(株)四日市営業所 所在地:三重県四日市市河原田町相名1450 へ古紙として売却する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	紙くず	紙くず	繊維くず
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１t／月	１t／月	６t／月
	処理方法	埋立処分　中間処分　[売却] 北越コーポレーション(株) 所在地：三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿182 王子製紙㈱ 所在地：徳島県阿南市豊益町吉田1 へサーマル燃料として売却する	埋立処分　[中間処分]　売却 豊田ｹﾐｶﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ(株) 所在地：愛知県半田市日東町1-30 へ焼却処理する。	埋立処分　[中間処分]　売却 (株)サニックス 所在地:三重県鈴鹿市御薗町3600-33 へ減容固化（RPF）処理する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	繊維くず	鉱さい	鉱さい
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１t／月	１t／月	１t／月
	処理方法	埋立処分　[中間処分]　売却 豊田ｹﾐｶﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ(株) 所在地：愛知県半田市日東町1-30 へ焼却処理する。	埋立処分　[中間処分]　売却 (株)芸濃 所在地：三重県津市芸濃町椋本6218-1 へ混練・造粒固化処理（路盤材）処理する。	[埋立処分]　中間処分　売却 (一財)三重県環境保全事業団 所在地:三重県四日市市小山町西北野3140 へ管理型最終処分場にて埋立処理する。

※　「鉱さい」は既存施設でのみ発生

処	処理後の産業廃棄物または処理方法の処理方法等			
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	動植物性残さ	動植物性残さ	ゴムくず（原料）
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１t／月	１t／月	１t／月
	処理方法	埋立処分　[中間処分]　売却 (株)奥村産業 所在地：三重県鈴鹿市椿一宮町1612 へ発酵処理（堆肥化）する。	埋立処分　[中間処分]　売却 豊田ｹﾐｶﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ(株) 所在地：愛知県半田市日東町1-30 へ焼却処理する。	埋立処分　中間処分　[売却] (株)WATT 所在地：三重県桑名市志知862 へ原料として売却する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	ゴムくず	廃プラスチック類	廃プラスチック類（原料）
	発生量 (t/月又は㎥/月)	２t／月	４０t／月	２０t／月
	処理方法	[埋立処分]　中間処分　売却 (一財)三重県環境保全事業団 所在地：三重県四日市市小山町西北野3140 へ管理型最終処分場にて埋立処理する。	埋立処分　[中間処分]　売却 住友大阪セメント㈱ 所在地：岐阜県本巣市山口11 太平洋セメント㈱ 所在地：三重県いなべ市藤原町東禅寺136-1 へセメント原料用焼却を行う。	埋立処分　中間処分　[売却] (株)富樫金属 所在地：三重県鈴鹿市石薬師町2422-2 へ原料として売却する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	廃プラスチック類	廃プラスチック類	廃プラスチック類
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１６０t／月	１６０t／月	２０t／月
	処理方法	埋立処分　中間処分　[売却] 王子製紙株式会社 所在地：徳島県阿南市豊益町吉田1 へ燃料用として売却する。	埋立処分　中間処分　[売却] 北越コーポレーション㈱ 所在地：三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿182 へ燃料用として売却する。	[埋立処分]　中間処分　売却 (一財)三重県環境保全事業団 所在地:三重県四日市市小山町西北野3140 へ管理型最終処分場にて埋立処理する。

※「動植物性残さ」、「ゴムくず」は既存施設でのみ発生

処	処理後の産業廃棄物または処理方法の処理方法等			
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	がれき類	がれき類	がれき類
	発生量 (t/月又は㎥/月)	２５０t／月	５０t／月	５０t／月
	処理方法	埋立処分　[中間処分]　売却 朝日土木(株) 所在地：三重県鈴鹿市上田町字桐棒 181-1 へ破砕処理（路盤材）する。	[埋立処分]　中間処分　売却 塩浜運送(株) 所在地：三重県鈴鹿市加佐登町字守谷 670 へ安定型最終処分場にて埋立処理する。	[埋立処分]　中間処分　売却 (一財)三重県環境保全事業団 所在地:三重県四日市市小山町西北野 3140 へ管理型最終処分場にて埋立処理する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	金属くず	ガラスくず等	ガラスくず等
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１１０t／月	5t／月	１０t／月
	処理方法	埋立処分　中間処分　[売却] (株)佐藤商店 所在地：三重県鈴鹿市大池 3-10-10 へ鉄鋼原料として売却する。	埋立処分　中間処分　[売却] (有)勝山商店 所在地：三重県四日市市午起１丁目 6-11 へガラス原料として売却する。	埋立処分　[中間処分]　売却 朝日土木(株) 所在地:三重県鈴鹿市上田町字桐棒 181-1 へ破砕処理（路盤材）する。
	処理後の産業廃棄物または再生品の種類	ガラスくず等	ガラスくず等	
	発生量 (t/月又は㎥/月)	１９５t／月	３０t／月	
	処理方法	[埋立処分]　中間処分　売却 塩浜運送(株) 所在地：三重県鈴鹿市加佐登町字守谷 670 へ安定型最終処分場にて埋立処理する。	[埋立処分]　中間処分　売却 (一財)三重県環境保全事業団 所在地：三重県四日市市小山町西北野 3140 へ管理型最終処分場にて埋立処理する。	

添付資料一覧表

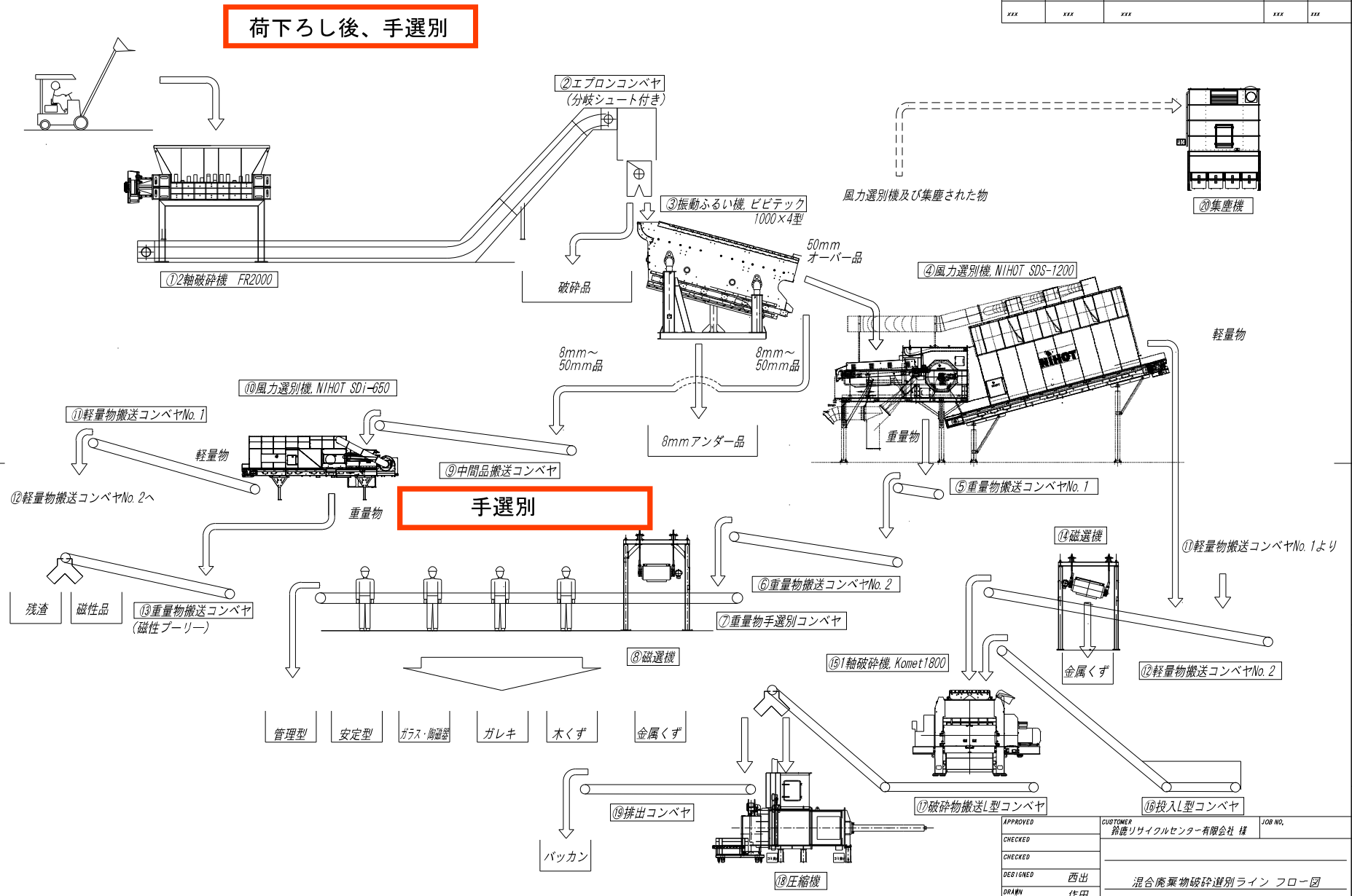
番号		内　　容
1	―	産業廃棄物の処理施設の位置
	1	土地利用計画平面図
	2	建物平面図、立面図、矩形図（リサイクルプラント）
	3	処理施設の配置図（リサイクルプラント）
	4	新旧設備対照表
	5	設備配置図
	6	品目別の処理能力、保管数量
2	―	産業廃棄物の処理施設の処理能力計算書
	①	２軸破砕機　FR2000
	④	風力選別機　NIHOT SDS-1200
	⑩	風力選別機　NIHOT SDi-650
	⑮	１軸破砕機　Komet1800
	⑱	圧縮機
3	―	処理施設のカタログ等一式
	①	２軸破砕機　FR2000
	④	風力選別機　NIHOT SDS-1200
	⑩	風力選別機　NIHOT SDi-650
	⑮	１軸破砕機　Komet1800
	⑱	圧縮機
	⑳	集塵機
		※〇付の番号は添付資料一覧表次ページの「設備番号（添付資料一覧表との番号と対応）、イメージ図」参照ください。
4	―	事業計画地の位置図及び付近の見取り図
	1	付近見取図
	2	駐車場位置図
	3	搬入道路位置図
	4	排水経路図
	5	奈良池までの水の流れ
5	―	事業計画地の登記事項証明書及び不動産登記法第14条第1項に規定する地図又は同条第4項に規定する図面の写し
	1	計画地の一覧表
	2	登記事項証明書
	3	公図
	4	地積情報図
	5	許可申請対象地求積図
	6	許可申請対象地各筆求積図

添付資料一覧表

番号		内　　容
	7	許可申請対象地各筆求積図附図
6	―	産業廃棄物処理フロー図
7	―	災害防止計画 他
	1	災害防止計画
	2	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書
	3	緊急事態への準備及び対応規定
	4	ISO実施計画書及び実施記録
	5	工場日報（点検、検査の記録）
8	―	生活環境及び環境保全の向上を図る上で支障を生じるおそれがない理由
9	―	生活環境影響調査
10	―	市町との協議状況

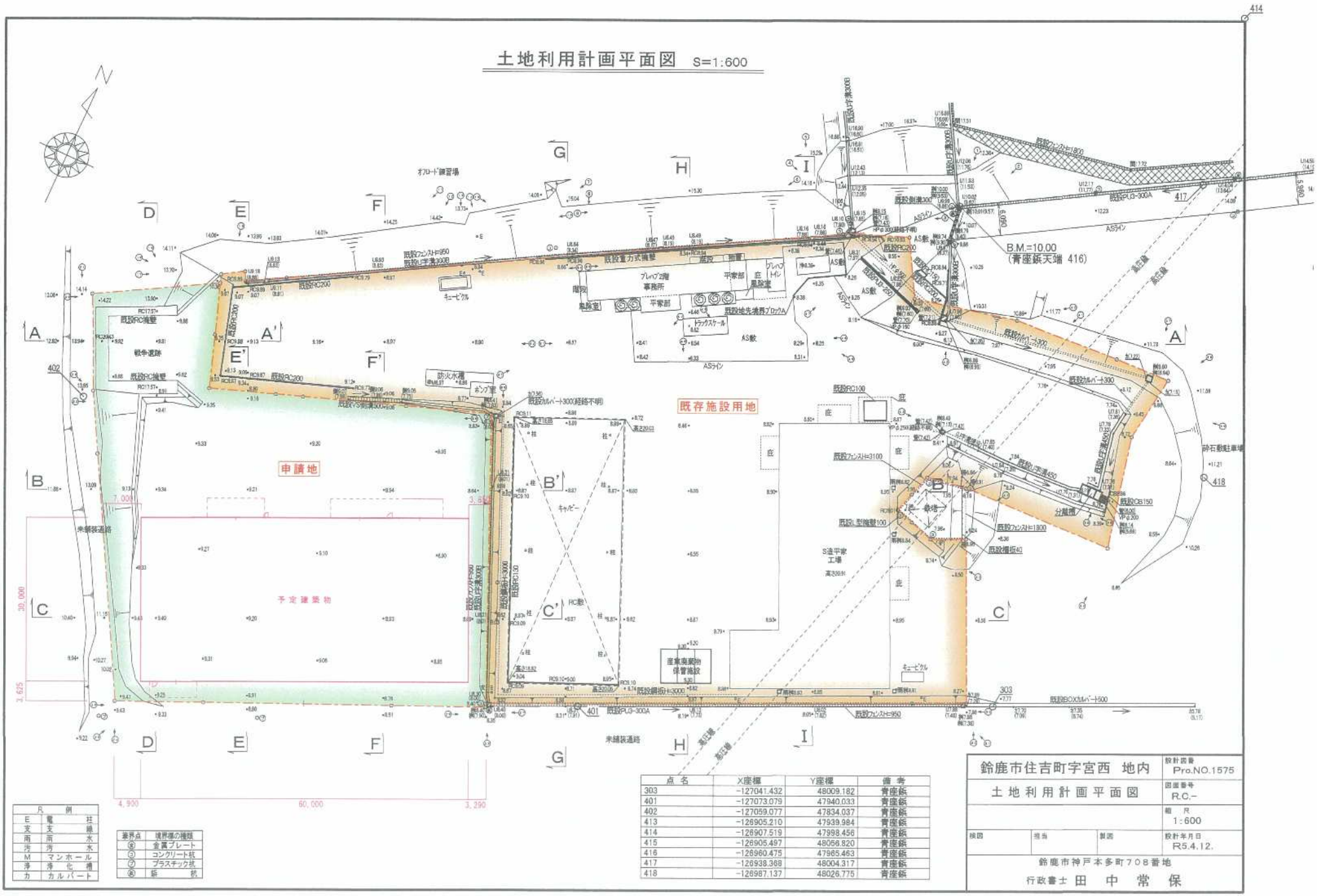
設備番号（添付資料一覧表の〇付き番号と対応）、イメージ図

REV.NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	APPROVED
xxx	xxx	xxx	xxx	xxx



APPROVED		CUSTOMER 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 様	JOB NO.
CHECKED			
CHECKED			
DESIGNED	西出	混合廃棄物破砕選別ライン フロー図	
DRAWN	作田		
DATE 2021-04-19	PROJECTION	SCALE 1/xxx	JOB NO. xxxxx-x
RYOHSHIN CO., LTD.			DRAWING NO. xxxxx-x-xxxx-xxxx REV.

土地利用計画平面図 S=1:600



点名	X座標	Y座標	備考
303	-127041.432	48009.182	青座鋲
401	-127073.079	47940.033	青座鋲
402	-127059.077	47834.037	青座鋲
413	-126905.210	47939.984	青座鋲
414	-126907.519	47998.456	青座鋲
415	-126905.497	48056.820	青座鋲
416	-126960.475	47965.463	青座鋲
417	-126938.368	48004.317	青座鋲
418	-126987.137	48026.775	青座鋲

凡例			
E	電	柱	
支	支	線	
雨	雨	水	
汚	汚	水	
M	マンホール		
浄	浄	化	槽
カ	カルバート		

境界点	境界標の種類
④	金属プレート
③	コンクリート杭
⑦	プラスチック杭
⑧	鋲 杭

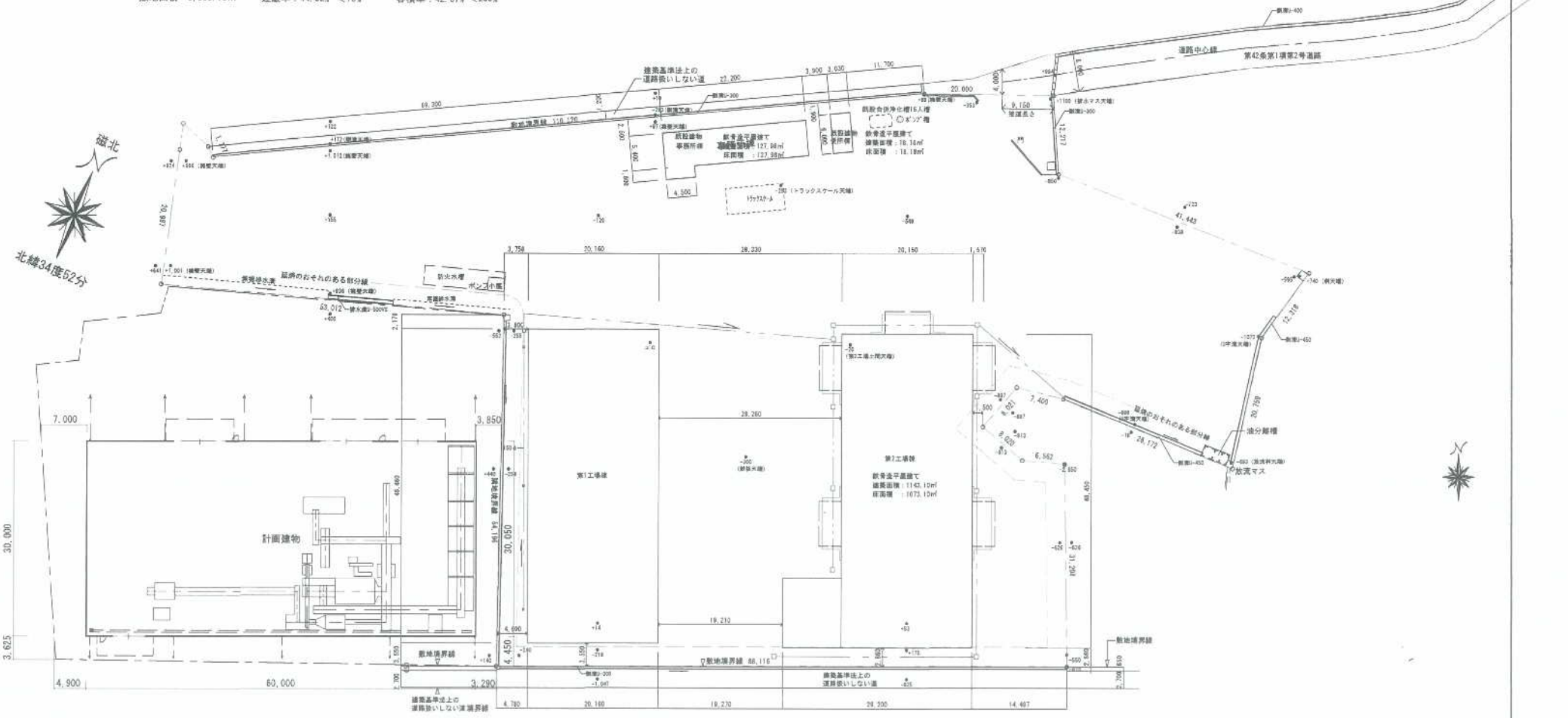
鈴鹿市住吉町字宮西 地内			設計図書 Pro.NO.1575
土地利用計画平面図			図面番号 R.C.-
			縮尺 1:600
検図	担当	製図	設計年月日 R5.4.12.

鈴鹿市神戸本多町708番地
行政書士 田 中 常 保

面積表

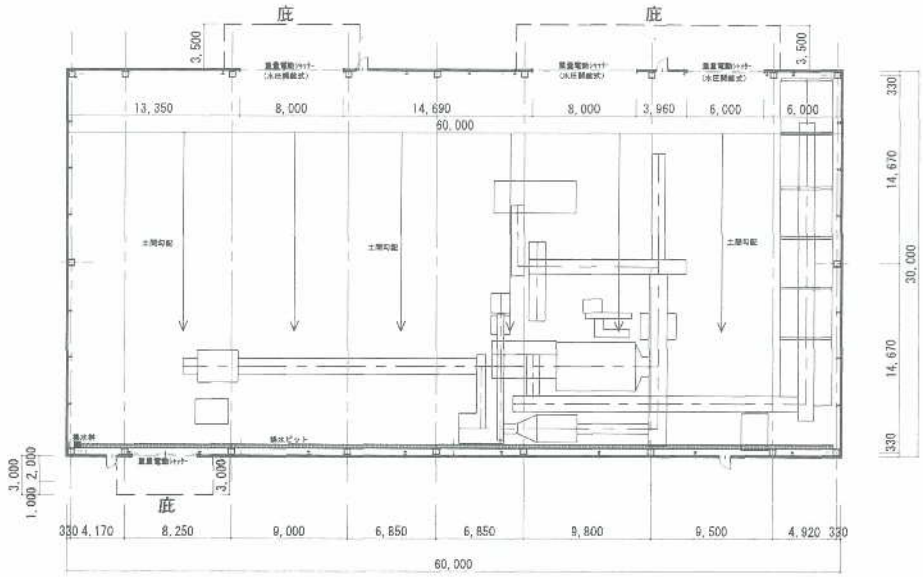
棟名称	既設建物					計画建物		合計
	第2工場棟	事務所棟	便所棟	第1工場棟	小計①	リサイクル工場	小計②	
建築面積	1143.10	127.98	18.18	976.95	2266.21	1857.5	1857.5	4123.71
床面積	1073.10	127.98	18.18	976.95	2196.21	1800.0	1800.0	3996.21

敷地面積 9,366.13㎡　建蔽率：44.02% ＜70%　容積率：42.67% ＜200%

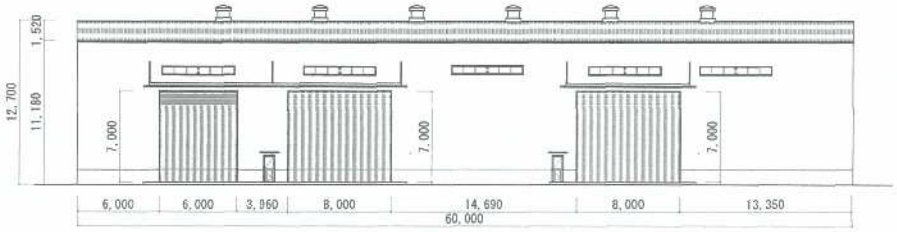


付近見取図・配置図

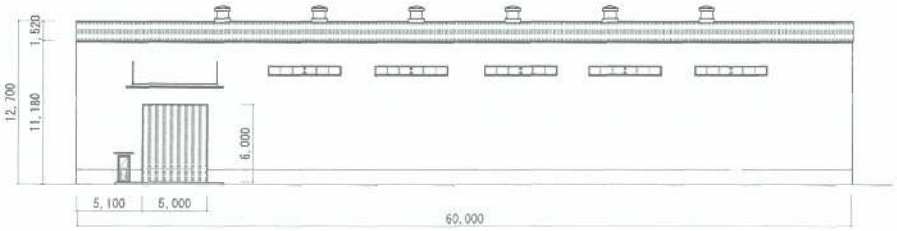
堀田建設株式会社 堀田一級建築士事務所	本社	建設業許可番号	国土交通大臣 第2 第7957号	備考	製図 2023年 5月 26日 修正 2023年 3月 24日 修正 2023年 5月 1日	承認 年 月 日	主任	担当	製図	工事名称 株式会社フジコウ　リサイクル工場増築工事	図面名称 配置図 A1：1/200 A3：1/600	図面番号
	熱海支店	1級建築士事務所登録	第1-174号									
	名古屋事務所	1級建築士登録	第145729号 田中博之									



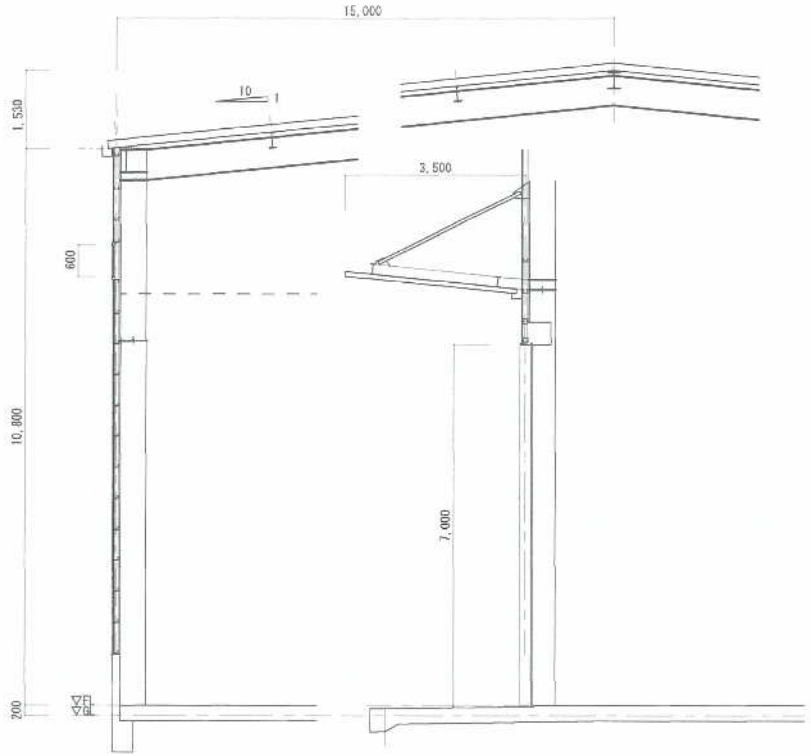
平面図 1/200



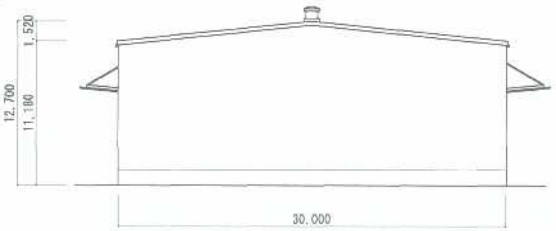
北側立面図 1/200



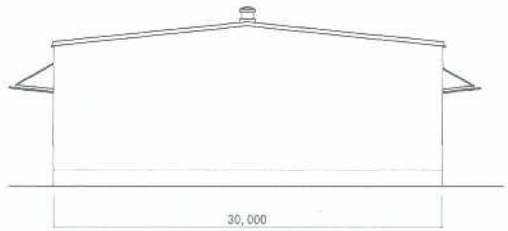
南側立面図 1/200



矩計図 1/50



東側立面図 1/200



西側立面図 1/200

仕上表

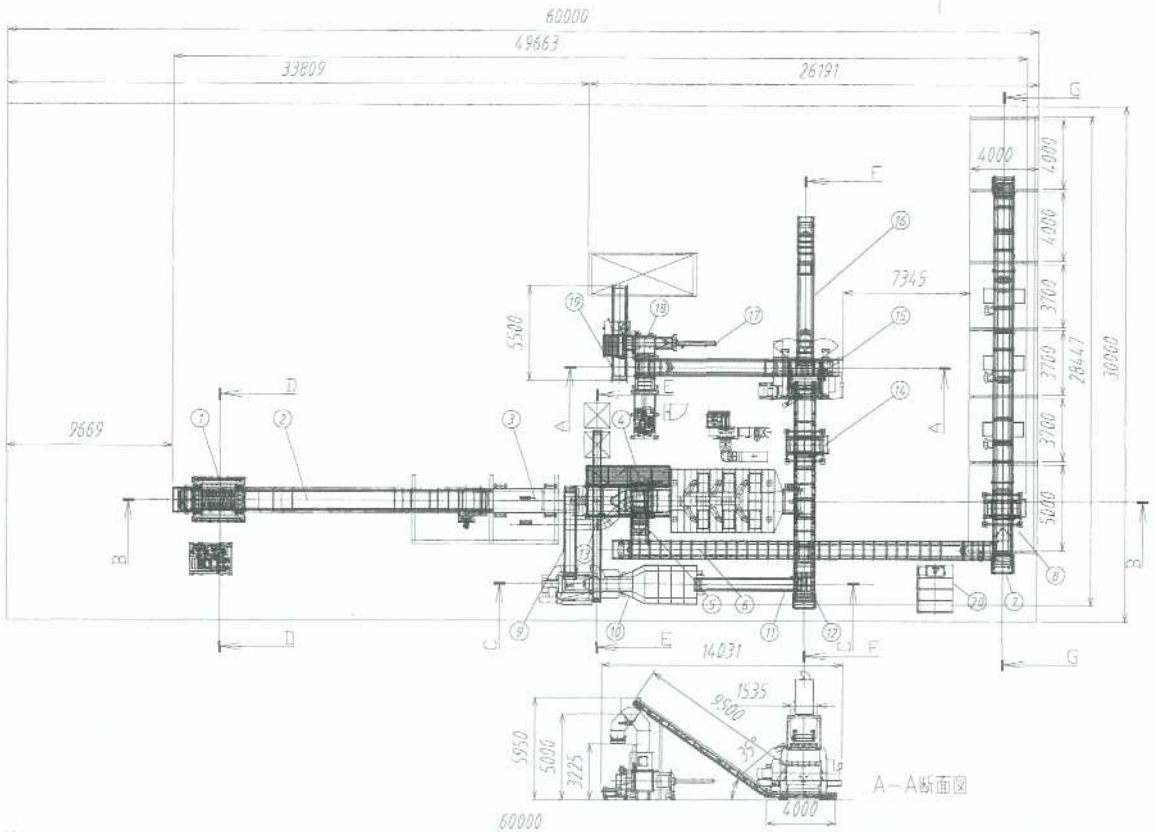
名 称	仕 様	備 考
屋 根	ﾊｾﾞ式折板 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板t-0.8 裏地ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ貼り	
庇	ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ88T ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板t-0.6	
外 壁	大型角波鉄板張 ｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｳﾑ鋼板t-0.5 腰壁RC	
基 礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎	
土 間	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ Fc21 t-300	

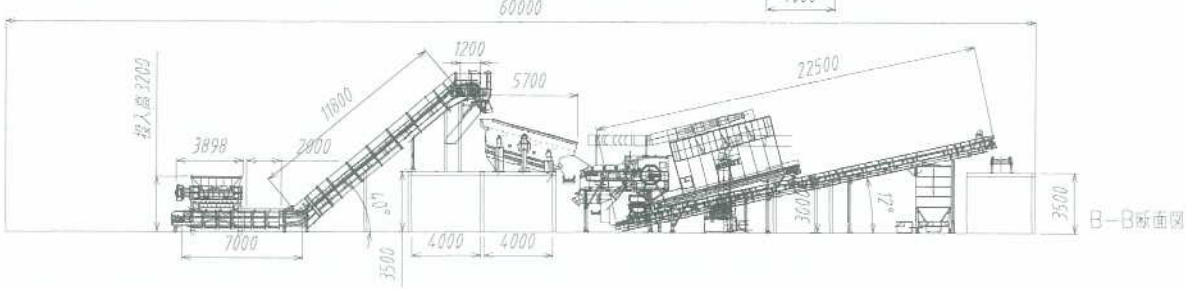
堀田建設株式会社
堀田一級建築士事務所

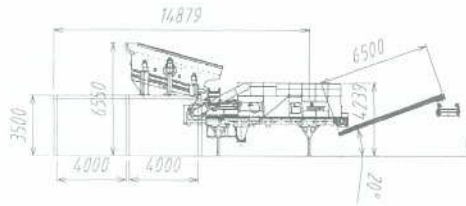
工事名称	株式会社フジコウ リサイクル工場増築工事	図面名称	平面図 A1:1/200 A3:1/400	立面図 A1:1/200 A3:1/400	矩計図 A1:1/50 A3:1/100	図面番号			

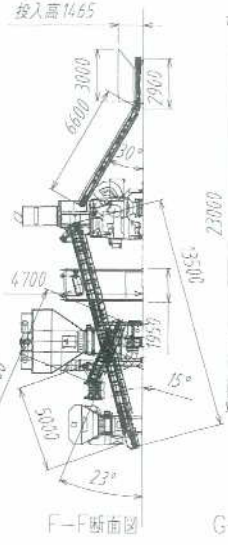
REV.NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	APPROVED
xxx	xxx	xxx	xxx	xxx

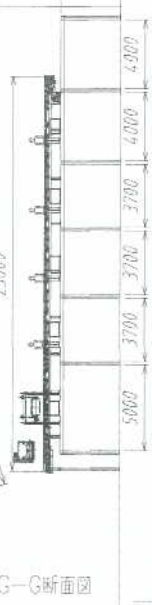
参考図











記号	品名	備考
⑳	集塵機	NCF 2603-1
⑲	排出コンベヤ PC	w750 機長5.5m 2.2kW
⑱	圧縮機	CP2-65P 22kW
⑰	破砕物搬送L型コンベヤ	w750 機長13.5m 5.5kW
⑯	L型投入コンベヤ	w750 機長9.5m 5.5kW
⑮	一軸破砕機	Komel 1800 200kW+集塵機
⑭	磁選機	HP090CA 0.75kW
⑬	重量物搬送コンベヤ PC	w400 機長10.0m 1.5kW 磁選プーリー付
⑫	軽量物搬送コンベヤNo.2	w900 機長13.5m 5.5kW
⑪	軽量物搬送コンベヤNo.1 PC	w600 機長6.5m 1.5kW
⑩	風力選別機	SDi-650 fan 23.8+23.9kw
⑨	中間品搬送コンベヤ PC	w600 機長5.5m 1.5kW
⑧	磁選機	HP090CA 0.75kW
⑦	重量物手選別コンベヤ	w1200 機長23.0m 5.5kW
⑥	重量物搬送コンベヤNO2	w750 機長22.5m 5.5kW
⑤	重量物搬送コンベヤNO1	w750 機長4.0m 3.7kW
④	風力選別機	SDS-1200 fan 30+15 4kw
③	振動ふるい機	KRI/EDS 1000X4型 18.5kW
②	エプロンコンベヤ	w1050 機長18.0m 7.5kW
①	2軸粗破砕機	型式 FR2000 250kW

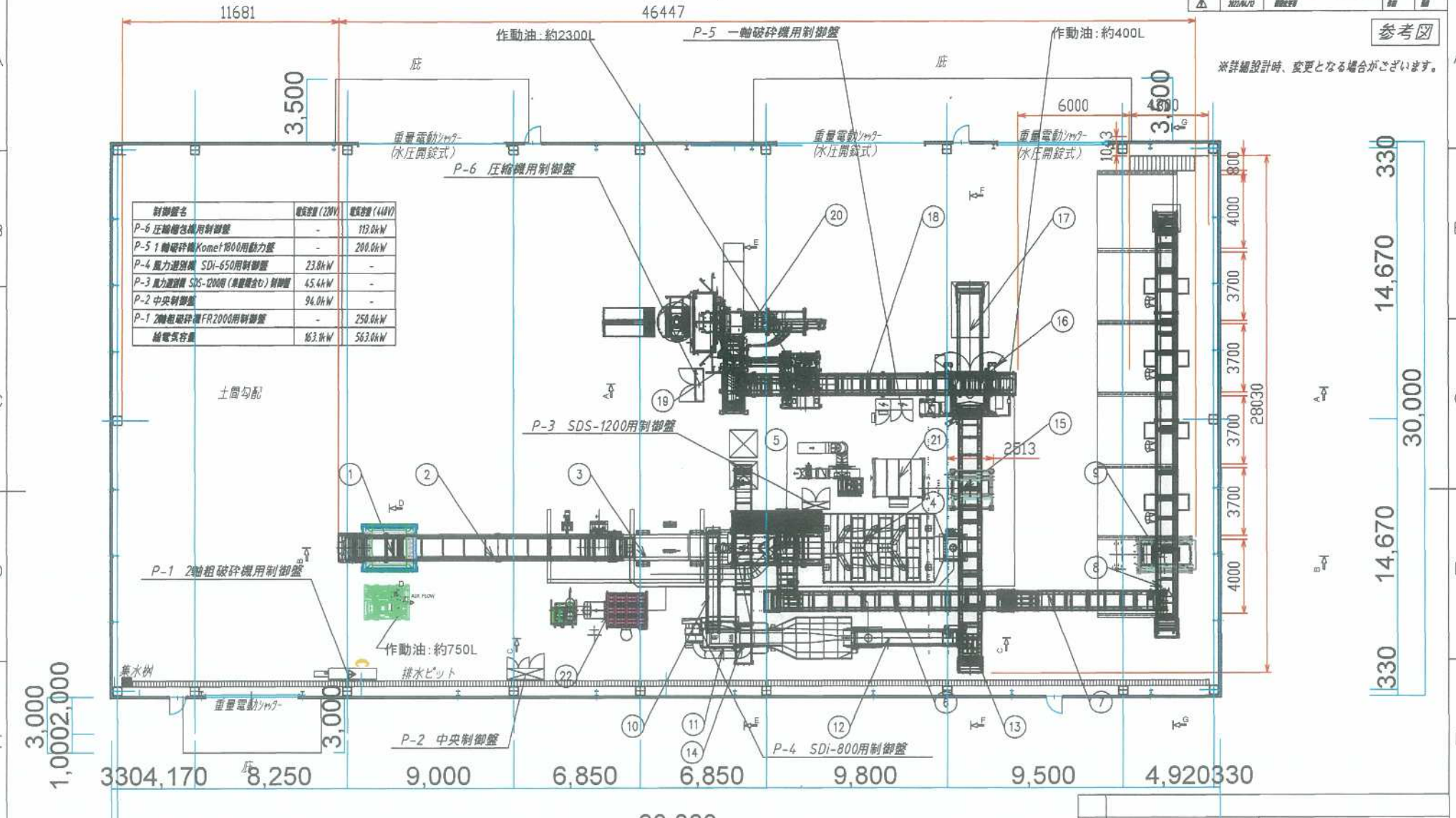
記号	品名	備考

APPROVED		CUSTOMER 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 様	JOB NO.
CHECKED			
CHECKED			
DESIGNED	西出	混合廃棄物破砕選別設備配置図(全体図)	
DRAWN	作田		
DATE 2021-04-29	PROJECTION	SCALE 1/300	JOB NO. xxxxx-x
RYOHSHIN CO., LTD.			DRAWING NO. xxxxxxxxx-xxx REV.

REV.NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	APPROVED
1	2021/04/12	機器配置等	作田	鈴木

参考図

※詳細設計時、変更となる場合がございます。



制御盤名	電気容量(220V)	電気容量(440V)
P-6 圧縮機包機用制御盤	-	113.0kW
P-5 1軸破砕機Komet1800用動力盤	-	200.0kW
P-4 風力選別機 SDi-650用制御盤	23.8kW	-
P-3 風力選別機 SDS-1200用(集塵機含む)制御盤	45.4kW	-
P-2 中央制御盤	94.0kW	-
P-1 2軸粗破砕機FR2000用制御盤	-	250.0kW
給電気容量	163.1kW	563.0kW

記号	品名	備考	記号	品名	備考	記号	品名	備考
⑦	重量物搬送コンベヤNo.3	w750 機長9.5 m 3.7 kW	⑭	重量物搬送L型コンベヤ	w600 機長11.3 m 3.7 kW 磁選ブーリー付	㉑	集塵機	
⑥	重量物搬送コンベヤNo.2	w750 機長14.0 m 5.5 kW	⑬	軽量物搬送コンベヤNo.2	w900 機長14.5 m 5.5 kW	⑳	圧縮機	CP2-65SBF2 113 kW
⑤	重量物搬送コンベヤNo.1	w750 機長5.0 m 3.7 kW	⑫	軽量物搬送コンベヤNo.1 PC	w750 機長6.7 m 2.2 kW	⑲	破砕品搬送コンベヤ PC	w750 機長5.0 m 2.2 kW
④	風力選別機	SDS-1200 fan 30+15.4 kw	⑪	風力選別機	SDi-650 fan 15+8.8 kw	⑱	破砕物搬送L型急傾斜コンベヤ	w750 機長18.1 m 5.5 kW
③	振動ふるい機	KRL/EDS 1000×4型 18.5 kW	⑩	中間品搬送コンベヤ PC	w600 機長6.0m 1.5 kW	⑰	投入コンベヤ	w1200 機長5.7 m 2.2 kW
②	エプロンコンベヤ	w940 機長19.0 m 11.0 kW	⑨	磁選機 No.1	HP120CA 2.2 kW	⑯	一軸破砕機	Komet1800 200 kW+集塵機
①	2軸粗破砕機	型式 FR2000 250 kW	⑧	重量物手選別コンベヤ	w1200 機長23.2 m 5.5 kW	⑮	磁選機 No.2	HP090CA 1.5 kW

記号	品名	備考
㉒	集塵機	

APPROVED		CUSTOMER 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 様	JOB NO.
CHECKED			
CHECKED			
DESIGNED	西出	混合廃棄物破砕選別設備配置図(平面図)	
DRAWN	作田		
DATE 2021-04-29	PROJECTION	SCALE 1/200	JOB NO. xxxxx-x
RYOHSHIN CO., LTD.			DRAWING NO. xxxxxxxxx-xxx

新旧設備対照表

既存	既存+新リサイクルプラント
二軸破砕機	二軸破砕機（既存） FR2000 14枚
	二軸破砕機（新規） FR2000 16枚刃
	振動ふるい機 BIVITEC KRL/EDS 1000×4
	風力選別機×2 ・SDS-1200・SDi-650
	一軸破砕機 komet1800
	圧縮機 CP2-65SBF2
木屑破砕機	木屑破砕機

変更（追加）部

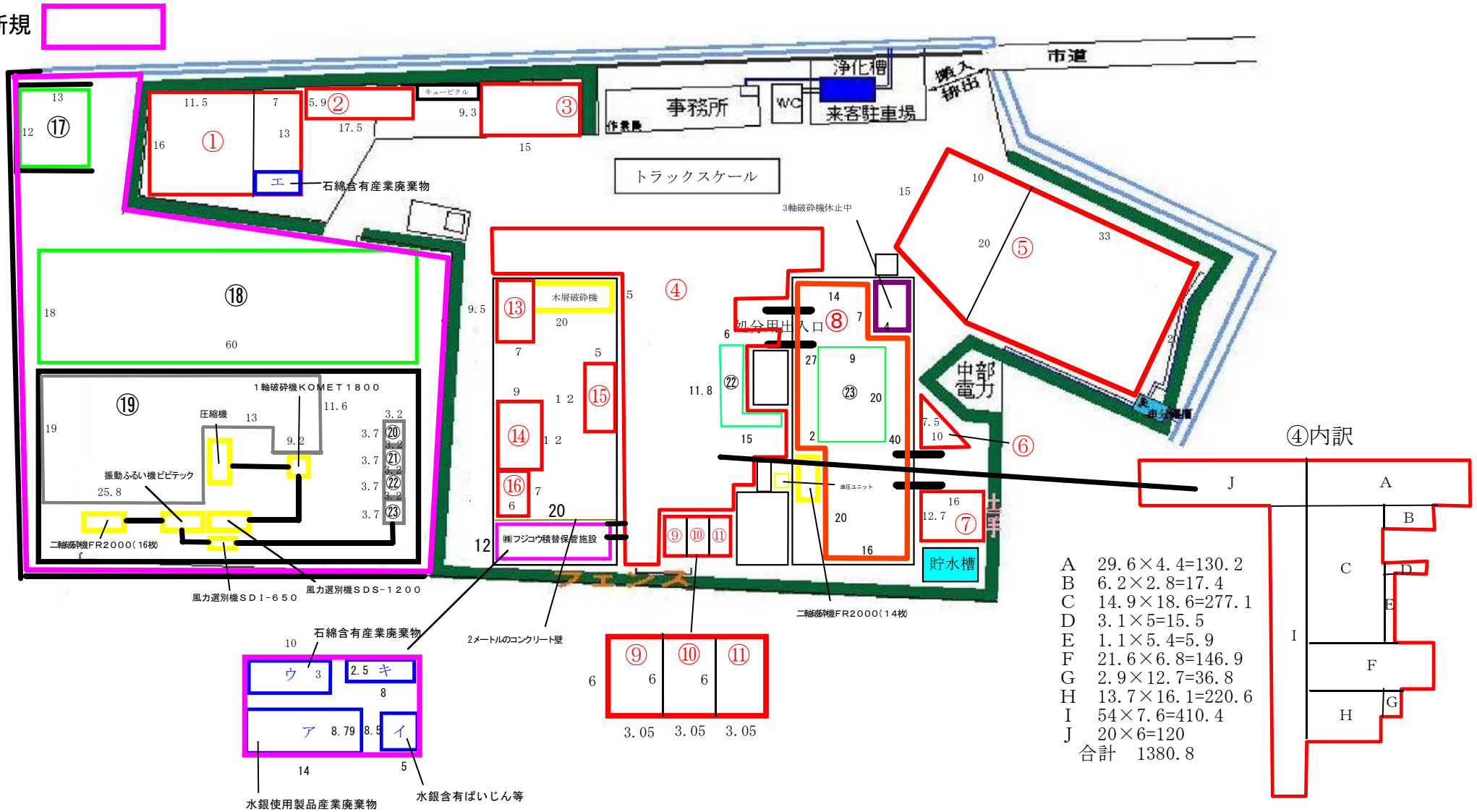
能力の新旧比較（単位t/14Hrs）

	旧			新				
			旧処理能力計	既存		新リサイクルプラント		新処理能力計
	二軸破砕	木屑破砕		二軸破砕	木屑破砕	二軸破砕	一軸破砕	
廃プラスチック類	68.19		68.19	68.19		77.93	119.28	265.40
紙くず	45.46		45.46	45.46		51.95	79.52	176.93
繊維くず	45.46		45.46	45.46		51.95	92.12	189.53
動植物性残さ	181.83		181.83	181.83				181.83
ゴムくず	113.64		113.64	113.64				113.64
金属くず	318.20		318.20	318.20		363.66	323.40	1005.26
ガラスくず等	340.93		340.93	340.93		389.63	346.50	1077.06
鉱さい	363.66		363.66	363.66				363.66
がれき類	340.93		340.93	340.93		389.63	346.50	1077.06
木くず	136.37	348.60	484.97	136.37	348.60	155.85	276.36	917.18

2023.5.15

設備配置図

新規



④内訳

A	29.6×4.4=130.2
B	6.2×2.8=17.4
C	14.9×18.6=277.1
D	3.1×5=15.5
E	1.1×5.4=5.9
F	21.6×6.8=146.9
G	2.9×12.7=36.8
H	13.7×16.1=220.6
I	54×7.6=410.4
J	20×6=120
合計	1380.8

2023.5.16

（新）　処分施設の廃棄物の種類、保管場所、保管面積、保管容量、保管容量計算、保管方法、最大高さ　　2023.5.12

	配置図番号	廃棄物の種類	石綿含有を含む廃棄物の種類	保管面積	保管容量	保管容量計算	保管方法	最大高さ	最も処理能力の低い品目の処理日数	備考
既存	①	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	275 ㎡	180 ㎥	30 ㎥コンテナ × 6 台 ＝ 180 ㎥	コンテナ・主に破砕済品	—	0.08216 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	②	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	103.3 ㎡	56 ㎥	8 ㎥コンテナ × 7 台 ＝ 56 ㎥	コンテナ・主に破砕済品	—	0.02556 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	③	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	139.5 ㎡	56 ㎥	8 ㎥コンテナ × 7 台 ＝ 56 ㎥	コンテナ	—	0.02556 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	④	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	1380.8 ㎡	574 ㎥	2 ㎥コンテナ × 109 台 ＝ 218 ㎥	コンテナ	—	0.26198 日 （紙くず・2190.97㎥）	㉒保管場所兼前処理場所業務終了時コンテナ保管
						8 ㎥コンテナ × 20 台 ＝ 160 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
						16 ㎥コンテナ × 1 台 ＝ 16 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
						30 ㎥コンテナ × 6 台 ＝ 180 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	⑤	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	835 ㎡	540 ㎥	30 ㎥コンテナ × 18 台 ＝ 540 ㎥	コンテナ・主に破砕済品	—	0.24647 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	⑥	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	37.5 ㎡	40 ㎥	2 ㎥コンテナ × 20 台 ＝ 40 ㎥	コンテナ	—	0.01826 日 （紙くず・2190.97㎥）	保管場所兼破砕困難物置き場
既存	⑦	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	203.2 ㎡	160 ㎥	2 ㎥コンテナ × 80 台 ＝ 160 ㎥	コンテナ	—	0.07303 日 （紙くず・2190.97㎥）	
既存	⑧	⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑮	—	598 ㎡	256 ㎥	2 ㎥コンテナ × 128 台 ＝ 256 ㎥	コンテナ	—	1.40791 日 （動植物性残さ・181.83㎥）	㉓展開場所 20m×9m
既存	⑨	⑬⑭⑮	—	18.3 ㎡	27.45 ㎥	3.05×6×1.5(H) ＝ 27.45 ㎥	バラ	地上面	0.14569 日 （鉱さい・188.42㎥）	
既存	⑩	⑧もしくは⑬⑭⑮	—	18.3 ㎡	27.45 ㎥	3.05×6×1.5(H) ＝ 27.45 ㎥	バラ	地上面	0.14569 日 （鉱さい・188.42㎥）	
既存	⑪	⑬⑭⑮	—	18.3 ㎡	27.45 ㎥	3.05×6×1.5(H) ＝ 27.45 ㎥	バラ	地上面	0.14569 日 （鉱さい・188.42㎥）	
新	⑰	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	156 ㎡	432 ㎥	別紙の通り	バラ	4m	0.19717 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	⑱	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	1080 ㎡	622 ㎥	2 ㎥コンテナ × 109 台 ＝ 218 ㎥	コンテナ	—	0.28389 日 （紙くず・2190.97㎥）	
						8 ㎥コンテナ × 20 台 ＝ 160 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
						16 ㎥コンテナ × 4 台 ＝ 64 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
						30 ㎥コンテナ × 6 台 ＝ 180 ㎥	コンテナ	—	0.00000 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	⑲	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	682.5 ㎡	530 ㎥	2 ㎥コンテナ × 265 台 ＝ 530 ㎥	コンテナ	—	0.24190 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	⑳	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	11.8 ㎡	4 ㎥	2 ㎥コンテナ × 2 台 ＝ 4 ㎥	コンテナ	—	0.00183 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	㉑	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	11.8 ㎡	4 ㎥	2 ㎥コンテナ × 2 台 ＝ 4 ㎥	コンテナ	—	0.00183 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	㉒	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	11.8 ㎡	4 ㎥	2 ㎥コンテナ × 2 台 ＝ 4 ㎥	コンテナ	—	0.00183 日 （紙くず・2190.97㎥）	
新	㉓	⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	11.8 ㎡	4 ㎥	2 ㎥コンテナ × 2 台 ＝ 4 ㎥	コンテナ	—	0.00183 日 （紙くず・2190.97㎥）	
			合計	5592.9 ㎡	3544.4 ㎥			—	3.30824 日	
既存	⑬	⑧	—	66.5 ㎡	57.3 ㎥	別紙の通り	バラ	2．0m	0.0145 日 （木くず・3962.84㎥）	移動式破砕機
既存	⑭	⑧	—	108 ㎡	112.8 ㎥	別紙の通り	バラ	2．5m	0.0285 日 （木くず・3962.84㎥）	木くず　348.6t/日≒ 633.82㎥/日
既存	⑮	⑧	—	60 ㎡	49.5 ㎥	別紙の通り	バラ	1．5m	0.0125 日 （木くず・3962.84㎥）	比重0.55として計算
既存	⑯	⑧	—	42 ㎡	29.3 ㎥	別紙の通り	バラ	1．75m	0.0074 日 （木くず・3962.84㎥）	比重0.55として計算
			合計	210 ㎡	191.6 ㎥				0.0628 日	

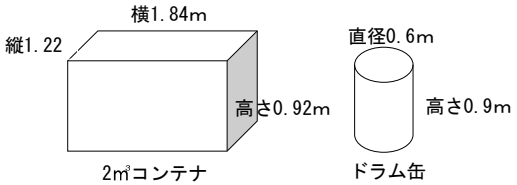
積替保管施設の廃棄物の種類、保管場所、保管面積、保管容量、保管容量計算、保管方法、最大高さ

	配置図番号	廃棄物の種類	石綿含有を含む廃棄物の種類	保管面積	保管容量	保管容量計算	保管方法	最大高さ		備考
既存	ア	②⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑮	—	123.06 ㎡	270 ㎥	2 ㎥コンテナ × 135 台 ＝ 270 ㎥	コンテナ	—	水銀使用製品産業廃棄物	2㎥コンテナ　45台×3段＝135台
既存	イ	①②③④⑤⑩⑪⑭⑱⑲	—	42.5 ㎡	57.6 ㎥	ドラム缶 × 156 台 ＝ 31.2 ㎥	ドラム缶	—	水銀含有ばいじん	ドラム缶　52本×3段＝156本
既存						1 ㎥コンテナ × 26 台 ＝ 26.4 ㎥	コンテナ	—	水銀含有ばいじん	1㎥コンテナ　9台×3段＝27台
既存	ウ	⑥⑬⑮	⑥⑬⑮	30 ㎡	36 ㎥	2 ㎥コンテナ × 18 台 ＝ 36 ㎥	コンテナ	—	石綿含有産業廃棄物	2㎥コンテナ　6台×3段＝18台
既存	エ	⑥⑬⑮	⑥⑬⑮	21 ㎡	16 ㎥	2 ㎥コンテナ × 8 台 ＝ 16 ㎥	コンテナ	—	石綿含有産業廃棄物	2㎥コンテナ　4台×2段＝8台
			合計	216.56 ㎡	379.60 ㎥					
既存	キ	展開場所		20 ㎡	株式会社フジコウ　作業場					縦×横（8m×2.5m）

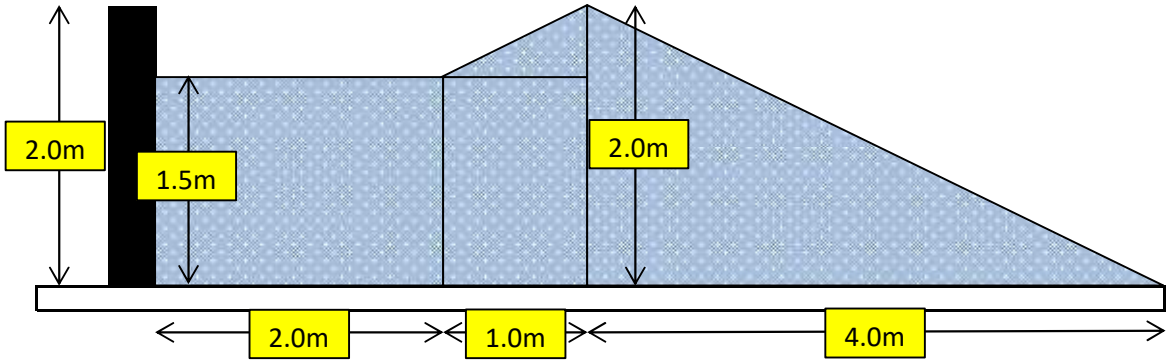
廃棄物の種類　①燃え殻　②汚泥　③廃油　④廃酸　⑤廃アルカリ　⑥廃プラスチック類　⑦紙くず　⑧木くず　⑨繊維くず　⑩動植物性残さ　⑪ゴムくず
⑫金属くず　⑬ガラス・陶磁器くず及びコンクリートくず　⑭鉱さい　⑮がれき類　⑱ばいじん　⑲処分するために処理したもの

※コンテナ…1・2・4・5・8・10・12・16・30㎥コンテナ及びパレテーナ

※その日その日により、得意先・受入品目・数量及び荷姿（コンテナの大きさ）が変動するため、特に廃棄物の種類が特定できない。
　よって破砕済品・未破砕品の断定的な保管場所設定が難しい。但し、コンテナには破砕済品・廃棄物の種類・未破砕品の区別ができるようにしてある。



設備配置図⑬の保管方法



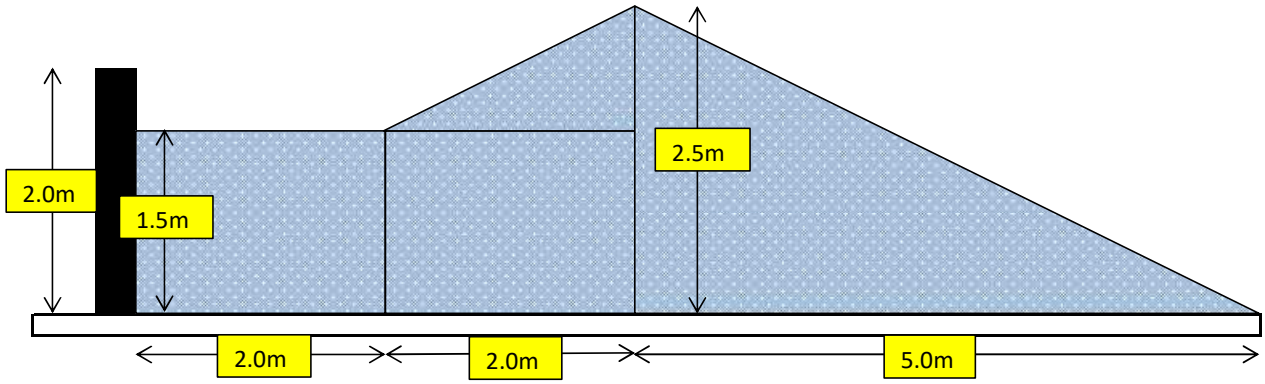
⑬の保管容量計算

$\frac{(4+4)^2 \times 2}{3} + \frac{1.5 \times 8 \times 2}{2} = 54.7$　　54.7−2.2＋4.8＝57.3

$\frac{(1+1) \times (1 \times 0.5)}{3} + \frac{7.5 \times 1 \times 0.5}{2} = 2.2$

$\left(\frac{(2+2) \times 2 \times 1}{3}\right)\frac{1}{2} + \frac{3.5 \times 2 \times 1}{2} = 4.8$　　57．3㎥

設備配置図⑭の保管方法



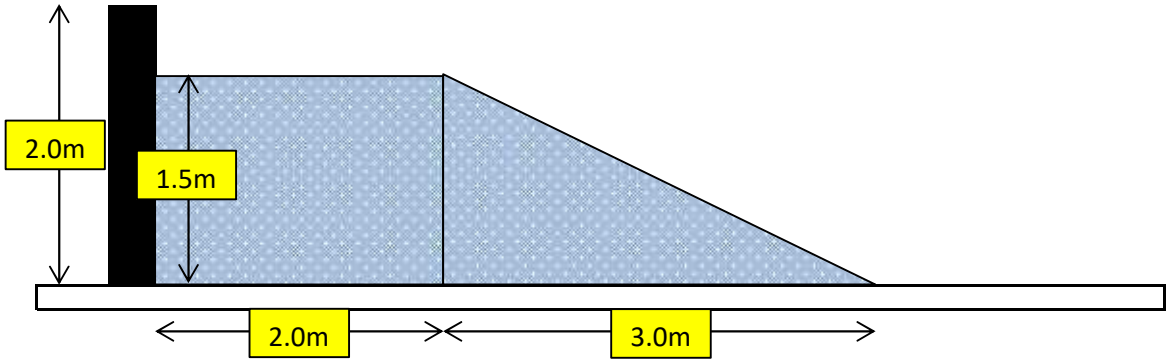
⑭の保管容量計算

$\frac{(5+5)^2 \times 2.5}{3} + \frac{2 \times 10 \times 2.5}{2} = 108.3$　　108.3−2.8＋7.3＝112.8

$\frac{(1+1) \times (1 \times 0.5)}{3} + \frac{10 \times 1 \times 0.5}{2} = 2.8$

$\left(\frac{(2+2) \times 2 \times 1}{3}\right)\frac{1}{2} + \frac{6 \times 2 \times 1}{2} = 7.3$　　**112.8㎥**

設備配置図⑮の保管方法



⑮の保管容量計算

$\frac{(3+3)^2 \times 1.5}{3} + \frac{6 \times 6 \times 1.5}{2} = 45$

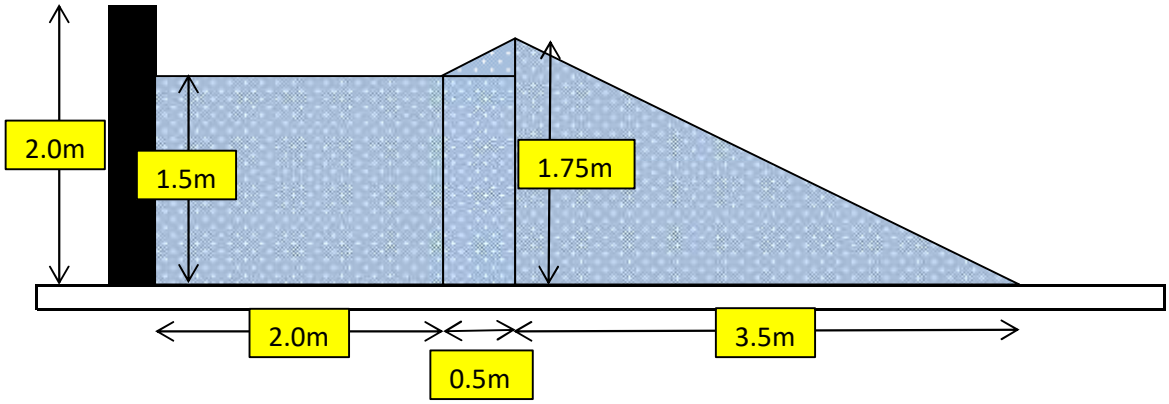
$\frac{(1+1) \times (1 \times 0.5)}{3} + \frac{10 \times 1 \times 0.5}{2} = 2.8$

$\left(\frac{(2+2) \times 2 \times 1}{3}\right)\frac{1}{2} + \frac{6 \times 2 \times 1}{2} = 7.3$

45−2.8＋7.3＝49.5

49．5㎥

設備配置図⑯の保管方法



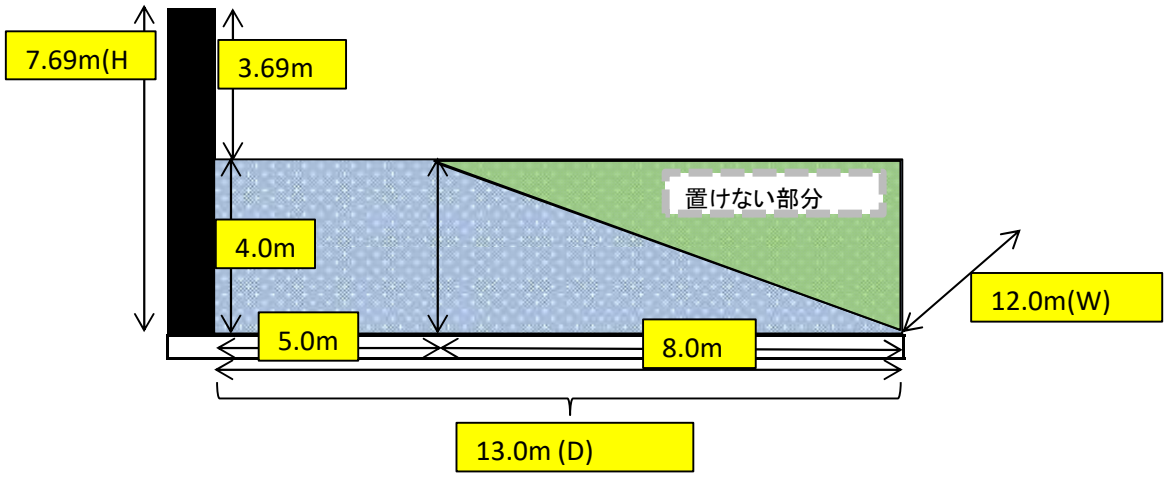
⑯の保管容量計算

$\frac{(3.5+3.5)^2 \times 1.75}{3} + \frac{0 \times 7 \times 1.75}{2} = 28.6$　　28.6−1.6＋2.3＝29.3

$\frac{(1+1) \times (1 \times 0.5)}{3} + \frac{5 \times 1 \times 0.5}{2} = 1.6$

$\left(\frac{(2+2) \times 2 \times 1}{3}\right)\frac{1}{2} + \frac{1 \times 2 \times 1}{2} = 2.3$　　29．3㎥

設備配置図⑰の保管方法



⑰の保管容量計算

高さ4m全体の体積：12（W）×13（D）×4（H）	＝	624 ㎥ ・・・A
置けない部分の体積：12（W）×8（D）÷2×4（H）	＝	192 ㎥ ・・・B
保管できる容量（保管容量）A−B：624−192	＝	432 ㎥

432㎥

品目別の処理能力

二軸

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	68.19	194.83	14	2727.60
木くず	0.55	136.37	247.95	14	3471.24
紙くず	0.30	45.46	151.53	14	2121.47
繊維くず	0.12	45.46	378.83	14	5303.67
ゴムくず	0.52	113.64	218.54	14	3059.54
金属くず	1.13	318.2	281.59	14	3942.30
ガラスくず等	1.00	340.93	340.93	14	4773.02
動植物性残さ	1.00	181.83	181.83	14	2545.62
がれき類	1.48	340.93	230.36	28	6450.03
鉱さい	1.93	363.66	188.42	14	2637.95

プレッシャー

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	514.5	1470.00	14	20580.00
木くず	0.55	1029	1870.91	14	26192.73
紙くず	0.30	343	1143.33	14	16006.67
繊維くず	0.12	343	2858.33	14	40016.67
ゴムくず	0.52		0.00	14	0.00
金属くず	1.13	2401	2124.78	14	29746.90
ガラスくず等	1.00	2572.5	2572.50	14	36015.00
動植物性残さ	1.00		0.00	14	0.00
がれき類	1.48	2572.5	1738.18	28	48668.92
鉱さい	1.93		0.00	14	0.00

木屑破砕機

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
木屑破砕機	0.55	348.6	633.82	14	8873.45

一軸

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	138.18	394.80	14	5527.20
木くず	0.55	276.36	502.47	14	7034.62
紙くず	0.30	79.52	265.07	14	3710.93
繊維くず	0.12	92.12	767.67	14	10747.33
ゴムくず	0.52	0	0.00	14	0.00
金属くず	1.13	323.4	286.19	14	4006.73

ガラスくず等	1.00	346.5	346.50	14	4851.00
動植物性残さ	1.00	0	0.00	14	0.00
がれき類	1.48	346.5	234.12	28	6555.41
鉱さい	1.93	0	0.00	14	0.00

二軸

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	77.93	222.66	14	3117.20
木くず	0.55	155.85	283.36	14	3967.09
紙くず	0.30	51.95	173.17	14	2424.33
繊維くず	0.12	51.95	432.92	14	6060.83
ゴムくず	0.52	0	0.00	14	0.00
金属くず	1.13	363.66	321.82	14	4505.52
ガラスくず等	1.00	389.63	389.63	14	5454.82
動植物性残さ	1.00	0	0.00	14	0.00
がれき類	1.48	389.63	263.26	28	7371.38
鉱さい	1.93	0	0.00	14	0.00

圧縮

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	155.58	444.51	14	6223.20
木くず	0.55	233.38	424.33	14	5940.58
紙くず	0.30	137.36	457.87	14	6410.13
繊維くず	0.12	137.36	1144.67	14	16025.33
ゴムくず	0.52		0.00	14	0.00
金属くず	1.13	272.27	240.95	14	3373.26
ガラスくず等	1.00	291.72	291.72	14	4084.08
動植物性残さ	1.00		0.00	14	0.00
がれき類	1.48	291.72	197.11	28	5519.03
鉱さい	1.93		0.00	14	0.00

二軸+プレッシャー＋一軸＋二軸＋圧縮合計(木くずは+木くず破砕機)

廃棄物の種類	比重	処理能力(t/日14H)	処理能力(㎥/日14H)	保管数量上限(日)	最大保管数量(㎥)
廃プラ	0.35	954.38	2726.80	14	38175.20
木くず	0.55	2179.56	3962.84	14	55479.71
紙くず	0.30	657.29	2190.97	14	30673.53
繊維くず	0.12	669.89	5582.42	14	78153.83
ゴムくず	0.52	113.64	218.54	14	3059.54
金属くず	1.13	3678.53	3255.34	14	41632.41

ガラスくず等	1.00	3941.28	3941.28	14	55177.92
動植物性残さ	1.00	181.83	181.83	14	2545.62
がれき類	1.48	3941.28	2663.03	28	74564.76
鉱さい	1.93	363.66	188.42	14	2637.95

処理能力計算書 － Throughput Calculation Sheet － FORREC Dual-Shear Shredder FR2000 FORREC S.r.l

フォレック社 日本販売代理店

1. 型式			FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000	FR2000
2.処理対象物			廃プラスチック類	紙くず	繊維くず	木くず	がれき類	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	ゴムくず	動・植物性残さ	鉱さい
3.嵩比重	Y		0.30	0.20	0.20	0.60	1.50	1.40	1.50	0.50	0.80	1.60
4.有効稼働率	EOR	EORI*EORS*EORM*EORH	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
投入効率	EORI		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
噛み込み効率	EORS		0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
材料効率	EORM		0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
フック数効率	EORH	フック数(少): 0.4	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
5. 機械仕様												
刃物外径	D1 cm		62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00
刃物フック高さ	D0 cm		17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
フック数－主軸	P1		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
フック数－副軸	P2		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
平均フック数	P		2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
フックタイプ別面積比率	W	**0.8**	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
刃物1枚あたりの破砕面積	A cm^2	3.14xD1xD0xW/P	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50	1324.50
刃物幅	T cm	fr	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
刃物1枚当たりの破砕体積	K cm^3	AxT	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97	7946.97
回転数-主軸	N1 rpm		40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
回転数－副軸	N2 rpm		40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
平均軸回転数	N0 rpm	(N1+N2)/2	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
刃物枚数	C		16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00
6. 体積処理能力/時間	V m^3/hr	KxPxN0xCxEORx60/10^6	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55	18.55
7. 重量処理能力/時間	**W tons/hr**	**VxY**	**5.57**	**3.71**	**3.71**	**11.13**	**27.83**	**25.98**	**27.83**	**9.28**	**14.84**	**29.69**
8. 稼働時間/日	hr		**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**	**14.00**
9. 体積処理能力/日	m^3/day	VxH	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76	259.76
10. 重量処理能力/日	**tons/day**	VxYxH	**77.93**	**51.95**	**51.95**	**155.85**	**389.63**	**363.66**	**389.63**	**129.88**	**207.80**	**415.61**

ビンダー社　日本販売代理店

高度循環型社会を創造する 株式会社リョーシン RYOHSHIN

処理能力計算書 － Capacity Calculation Sheet － Binder Vibrating feeder KRL/EDS 1000 x 4 Binder+Co

1. 型式			KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4	KRL/EDS 1000 x 4
2.処理対象物			①廃プラスチック類	②紙くず	③木くず	④繊維くず	⑤ゴムくず	⑥がれき類	⑦金属くず	⑧ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	⑨動・植物性残渣	⑩鉱さい
3.嵩比重			0.30	0.20	0.60	0.20	0.50	1.50	1.40	1.50	0.80	1.60
4. 機械仕様												
選別室幅	B m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
搬送速度	S m/min	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
材料層厚	D m	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050
処理時間	T min/h	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
5. 理論値処理体積/時間	V_0 m^3/hr =B×S×D×T		45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
6.搬送効率	k		81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%	81.6%
7.処理能力(体積)/時間	V_1 m^3/hr =V_0 × k		36.72	36.72	36.72	36.72	36.72	36.72	36.72	36.72	36.72	36.72
8. 処理能力(重量)/時間	**W tons/hr VxY**		**11.02**	**7.34**	**22.03**	**7.34**	**18.36**	**55.08**	**51.41**	**55.08**	**29.38**	**58.75**
7. 稼働時間/日	hr		14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
8. 体積処理能力/日	m^3/day VxH		514.08	514.08	514.08	514.08	514.08	514.08	514.08	514.08	514.08	514.08
9. 重量処理能力/日	tons/day VxYxH		154.28	102.76	308.42	102.76	257.04	771.12	719.74	771.12	411.32	822.50

ニホット社　日本販売代理店

株式会社リョーシン　高度循環型社会を創造する

処理能力計算書　－　Capacity Calculation Sheet　－　Nihot Single drum separator SDS-1200 Nihot Recycling Technology BV

1. 型式			SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200	SDS-1200
2.処理対象物			①廃プラスチック類	②紙くず	③木くず	④繊維くず	⑤ゴムくず	⑥がれき類	⑦金属くず	⑧ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	⑨動・植物性残渣	⑩鉱さい
3.嵩比重			0.30	0.20	0.60	0.20	0.50	1.50	1.40	1.50	0.80	1.60
4. 機械仕様												
ベルト幅	B m	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
搬送速度	S m/min	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
材料層厚	D m	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
処理時間	T min/h	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
5. 理論値処理体積/時間	V_0 m^3/hr =B×S×D×T		129.60	129.60	129.60	129.60	129.60	129.60	129.60	129.60	129.60	129.60
6.搬送効率（ベルトカバー率）	k		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
7.処理能力(体積)/時間	V_1 m^3/hr =V_0 × k		64.80	64.80	64.80	64.80	64.80	64.80	64.80	64.80	64.80	64.80
8. 処理能力(重量)/時間	**W tons/hr VxY**		**19.44**	**12.96**	**38.88**	**12.96**	**32.40**	**97.20**	**90.72**	**97.20**	**51.84**	**103.68**
7. 稼働時間	hr		14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
8. 体積処理能力/日	m^3/day VxH		907.20	907.20	907.20	907.20	907.20	907.20	907.20	907.20	907.20	907.20
9. 重量処理能力/日	tons/day VxYxH		272.16	181.44	544.32	181.44	453.60	1360.80	1270.08	1360.80	725.76	1451.52

ニホット社　日本販売代理店

株式会社リョーシン　高度循環型社会を創造する

処理能力計算書 － Capacity Calculation Sheet － Nihot wind separator SDi-650 Nihot Recycling Technology BV

1. 型式			SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650	SDi-650
2.処理対象物			①廃プラスチック類	②紙くず	③木くず	④繊維くず	⑤ゴムくず	⑥がれき類	⑦金属くず	⑧ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	⑨動・植物性残渣	⑩鉱さい
3.嵩比重			0.30	0.20	0.60	0.20	0.50	1.50	1.40	1.50	0.80	1.60
4. 機械仕様												
ベルト幅	B m	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
搬送速度	S m/min	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
材料層厚	D m	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
処理時間	T min/h	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
5. 理論値処理体積/時間	V_0 m^3/hr =B×S×D×T		67.50	67.50	67.50	67.50	67.50	67.50	67.50	67.50	67.50	67.50
6.搬送効率（ベルトカバー率）	k		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
7.処理能力(体積)/時間	V_1 m^3/hr =V_0 × k		33.75	33.75	33.75	33.75	33.75	33.75	33.75	33.75	33.75	33.75
8. 処理能力(重量)/時間	**W tons/hr VxY**		**10.13**	**6.75**	**20.25**	**6.75**	**16.88**	**50.63**	**47.25**	**50.63**	**27.00**	**54.00**
7. 稼働時間/日	hr		14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
8. 体積処理能力/日	m^3/day VxH		472.50	472.50	472.50	472.50	472.50	472.50	472.50	472.50	472.50	472.50
9. 重量処理能力/日	tons/day VxYxH		141.82	94.50	283.50	94.50	236.32	708.82	661.50	708.82	378.00	756.00

処理能力計算書 Capacity Calculation Sheet – Lindner, Komet1800

	項目	Items	単位/Unit	備考/Notes 計算式/Calculation	処理対象物/Material Type ① Plastic Waste 廃プラ	② Paper Waste 紙くず	③ Wood 木くず	④ Textile 繊維くず	⑤ Rubber Waste ゴムくず	⑥ Rubble Waste がれき類	⑦ Metal Waste 金属くず	⑧ Glass,Concrete,Ceramic Waste ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	⑨ Animal & Plant residue 動・植物性残渣	⑩ Slag 鉱さい
A	かさ比重	Bulk Density	(ton/m3)		0.30	0.20	0.60	0.20	0.50	1.50	1.40	1.50	0.80	1.60
B	投入効率（EORI）	Efficiency of Rate Input	(%)		0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
C	材料効率（EORM）	Efficiency of Rate Material	(%)		0.6	0.5	0.6	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
D	刃のサイズ（W）	Knfe Dimension (W)	(m)	172mm	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172	0.172
E	刃のサイズ（L）	Knife Dimension (L)	(m)	57mm	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057	0.057
F	ナイフの個数	Number of Knives	(pcs)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
G	回転数	Rotor Rotation Speed	(RPM)	355	355	355	355	355	355	355	355	355	355	355
H	スクリーン穴	Screen Size	(m)	ヘキサゴナルタイプ（六角形タイプ）幅80mm	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
I	プッシャー高さ	Pusher Height Dimension	(m)	520mm	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
J	破砕率	Shredding Rate	(%)	13.9%	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139	0.139
K	スクリーン通過率	Screen Transit Ratio	(%)	34.0%	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
L	プッシャー前進率	Pusher Forward Rate	(%)	50%	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
M	1日あたりの稼働時間	Operating Time per hour	(Hr)	14時間	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
N	破砕容積の条件加味			60%	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
O	破砕刃による破砕容積	Shredding Capacity by Knives	(m3)	C＊D＊E＊F＊I＊J＊K＊L＊N （小数第五位四捨五入）	0.0022	0.0019	0.0022	0.0022	0.0011	0.0011	0.0011	0.0011	0.0011	0.0011
P	時間あたりのローター回転数	Rotor Rotation per hour	(Rotation/Hr)	G＊60mins	21300	21300	21300	21300	21300	21300	21300	21300	21300	21300
Q	時間あたりの破砕容積	Shredding Volume per hour	(m3/Hr)	B＊O＊P（小数第二位四捨五入）	32.9	28.4	32.9	32.9	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5
R	**時間あたりの破砕処理能力**	**Shredding Capacity per hour**	**(ton/Hr)**	**A＊Q（小数第三位四捨五入）**	**9.87**	**5.68**	**19.74**	**6.58**	**8.25**	**24.75**	**23.10**	**24.75**	**13.20**	**26.40**
S	**1日(14時間）の破砕処理能力**	**Shredding Capacity per day**	**(ton/Day)**	**R＊M（小数第三位四捨五入）**	**138.18**	**79.52**	**276.36**	**92.12**	**115.50**	**346.50**	**323.40**	**346.50**	**184.80**	**369.60**

【上記に関する補足事項】

J	破砕率	Shredding Rate	(%)	破砕刃と固定刃が噛みあうことによって破砕される効率	13.9	（１） 172mm破砕刃とスクリーン穴80mm幅の比46.5% （２） 破砕刃と固定刃の噛み合う場所に材料が充満されている確率30.0% （３） 破砕率＝40.7%×30.0%＝13.9%
K	スクリーン通過率	Screen Transit Ratio	(%)	ヘキサゴナルタイプ（六角形タイプ）を材料が通過する比率	34.0	有効スクリーン面積におけるスクリーン穴部分の総面積の割合で算出しております。
L	プッシャー前進率	Pusher Forward Rate	(%)	稼働時間中にプッシャーが前進している割合	50.0	破砕はプッシャーが前進している際に行われます。 プッシャーが前進している時間は稼働時間中の50%です。
N	破砕容積の条件加味	Shredding capacity condition added	(%)	破砕時に材料が破砕される容積の割合	0.6	材料が横方法へ逃げるため、実際に押し込まれて破砕される容積は60%とします。

*この処理能力計算書は破砕能力の根拠を示したものであり、実際には対象物の性状やその他の条件により能力は大きく変化しますので、その能力を保証するものではありません。

2022年10月18日

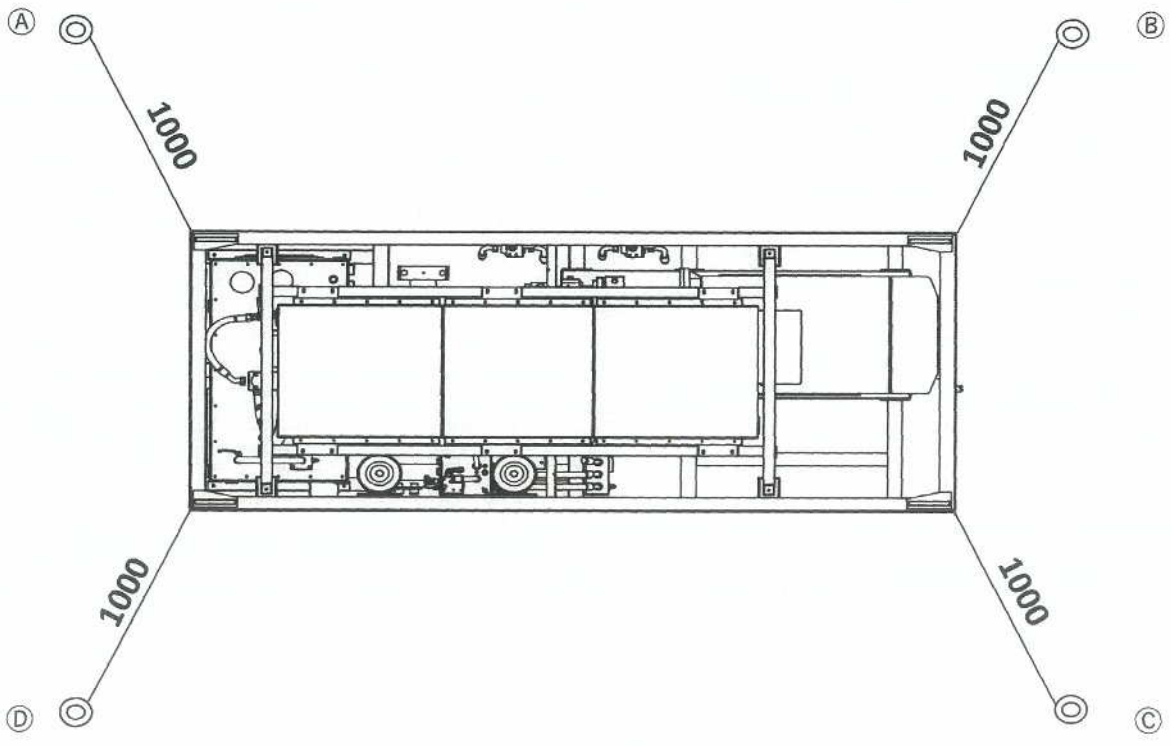
六面包装機付圧縮梱包機（CP2-65SBF2-90kW）理論能力計算書表

大阪エヌ・イー・ディー・マシナリー株式会社

1	基本仕様		型式：CP2-65SBF2-90kW ポンプ用電動機：30kW×3基 主押しシリンダ：φ200×φ140×1550st 払出シリンダ：φ200×φ140×2400st ゲートシリンダ：φ80×φ45×1035st 投入口寸法：800×1000×1000									
2	処理対象物		廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	繊維くず	木くず	がれき類	金属くず	ガラスくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	ゴムくず	動・植物性残さ	鉱さい
3	見掛比重	t/m^3	0.300	0.200	0.200	0.600	1.500	1.400	1.500	0.500	0.800	1.600
4	圧縮検討											
	梱包品目標質量	kg/梱包	750.000	600.000	600.000	900.000	1300.000	1000.000	1000.000	900.000	900.000	1000.000
	投入効率（γ）		0.800	0.800	0.800	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900
	1回あたりの仮定平均圧縮量	{(1800+800)×100/2×100}+(80×100×100)/2×γ	0.840	0.840	0.840	0.945	0.945	0.945	0.945	0.945	0.945	0.945
	1回あたりの仮定平均圧縮重量	kg	252.0	168.0	168.0	567.0	1417.5	1323.0	1417.5	472.5	756.0	1512.0
	1梱包あたりの圧縮回数	回	3.0	4.0	4.0	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0
	1梱包あたりの重量	kg	756.0	672.0	672.0	1134.0	1417.5	1323.0	1417.5	945.0	1512.0	1512.0
5	圧縮梱包所要時間											
	圧縮総所要時間（A）	sec	36.1	47.9	47.9	25.5	14.2	14.2	14.2	25.5	25.5	14.2
	払出行程所長時間											
	払出準備時間（B）	sec	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	フィルム開始位置までの払出時間（C）	sec	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3	24.3
	六面縦巻包装時間（D）	sec	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
	六面横巻包装時間（E）	sec	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0	122.0
	1梱包目の梱包主要時間（F）	sec	287.4	299.2	299.2	276.8	265.5	265.5	265.5	276.8	276.8	265.5
	圧縮機原点復帰時間（G）	sec	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0
	2梱包目圧縮完了時間（H）	sec （G+A+B）	71.1	82.9	82.9	60.5	49.2	49.2	49.2	60.5	60.5	49.2
	2梱包目梱包機受入待機	sec （H-E）	-50.9	-39.1	-39.1	-61.5	-72.8	-72.8	-72.8	-61.5	-61.5	-72.8
	2梱包目の梱包所要時間（I）	sec （C+D+E）	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3	242.3
	時間あたりの梱包品成型排出量	梱包/h （3600-F）/I+1	14.7	14.6	14.6	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7	14.7
6	**重量処理能力/時間（J）**	**t/h**	**11.11**	**9.81**	**9.81**	**16.67**	**20.84**	**19.45**	**20.84**	**13.89**	**22.23**	**22.23**
7	稼働時間/日	h/日	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
8	**重量処理能力/14時間**	**t/日**	**155.58**	**137.36**	**137.36**	**233.38**	**291.72**	**272.27**	**291.72**	**194.48**	**311.17**	**311.17**

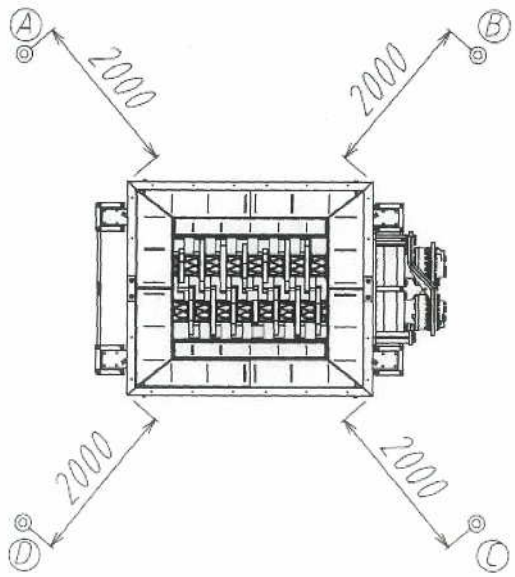
振動・騒音値測定結果

機械詳細：			
機種名： FR2000/250 HPU (油圧ユニット)		計測場所： FORREC RECYCLING SYSTEM SRL	
計測日： 2018年10月18日		計測機器： IMI model 603C01	
計測者： Cristiano Perin			
電動機(1) [kW] : 250			
周波数帯: 50			
対象材料：混合廃棄物 破砕時			
騒音測定：			
計測点(A)	85 [dB]	計測点(C)	85 [dB]
計測点(B)	86 [dB]	計測点(D)	86 [dB]
振動測定：			
計測点(1)	55 [dB]	計測点(3)	56 [dB]
計測点(2)	56 [dB]	計測点(4)	55 [dB]



振動・騒音値測定結果

機械詳細：			
機種名： FR2000/250（本体）		計測場所： FORREC RECYCLING SYSTEM SRL	
計測日： 2017/1/10		計測機器： IMI model 603C01	
計測者： Cristiano Perin			
電動機(1) [kW] : 250			
周波数帯: 50			
対象材料：混合廃棄物 破砕時			
騒音測定：			
計測点(A)	92 [dB]	計測点(C)	87 [dB]
計測点(B)	92 [dB]	計測点(D)	87 [dB]
振動測定：			
計測点(1)	58 [dB]	計測点(4)	57 [dB]
計測点(2)	60 [dB]	計測点(5)	58 [dB]

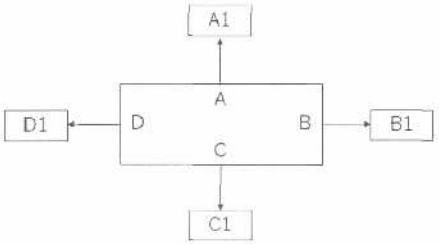


騒音・振動測定結果（Noise Level & Vibration Level Sheet）

LINDNER 一軸破砕機 Komet1800

測定配置概略

正面側



※機器より機側1mにて計測。

測定日: 2020/8/28

測定者: Domenig Heinz

測定場所: LINDNER-RECYCLINGTECH GMBH

測定対象機器: Komet1800

測定器（騒音計）: FT3432

測定器（振動計）: 1332B

条件：負荷運転時

〈騒音値〉

距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	A1	90.5	1m	C1	88.2
距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	B1	89.8	1m	D1	89.4

〈振動値〉

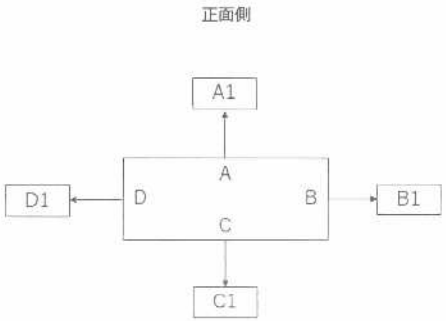
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	A1	59.6	1m	C1	58.9
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	B1	59.3	1m	D1	57.5

株式会社リョーシン

騒音･振動測定結果（Noise Level & Vibration Level Sheet）

Nihot 風力選別機 SDi650

測定配置概略



※機器より機側1mにて計測。

測定日: 2019/4/8

測定者: Daniel Dammann

測定場所: Nihot Recycling Technology B.V.

測定対象機器: SDi650

測定器（騒音計）: FT3432

測定器（振動計）: 1332B

距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	A1	79.2	1m	C1	80.2
距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	B1	81.0	1m	D1	79.6

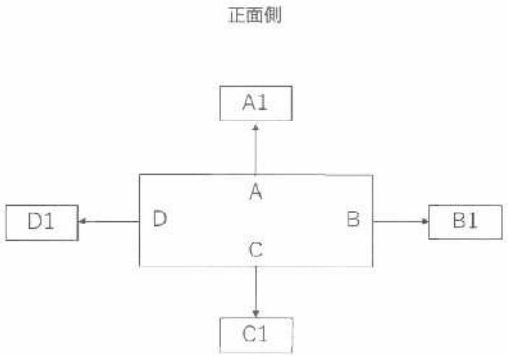
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	A1	52.0	1m	C1	51.2
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	B1	51.5	1m	D1	50.6

株式会社リョーシン

騒音･振動測定結果（Noise Level & Vibration Level Sheet）

Binder 振動ふるい機 Bivitec KRL/EDS 1000×4

測定配置概略



※機器より機側1mにて計測。

測定日: 2017/11/1

測定者: Gerd Prem

測定場所: Binder+ Co AG

測定対象機器: KRL/EDS 1600x5

測定器（騒音計）: RADIOSHACK

測定器（振動計）: リオン VM-82

〈騒音値〉

距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	A1	77.0	1m	C1	75.4
距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	B1	75.8	1m	D1	76.0

〈振動値〉

距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	A1	53.0	1m	C1	52.3
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	B1	51.0	1m	D1	51.2

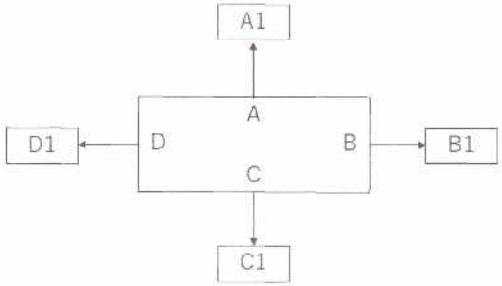
株式会社リョーシン

騒音・振動測定結果（Noise Level & Vibration Level Sheet）

Nihot 風力選別機 SDS1200

測定配置概略

正面側



※機器より機側1mにて計測。

測定日: 2019/4/8

測定者: Daniel Dammann

測定場所: Nihot Recycling Technology B.V.

測定対象機器: SDS1200

測定器（騒音計）: FT3432

測定器（振動計）: 1332B

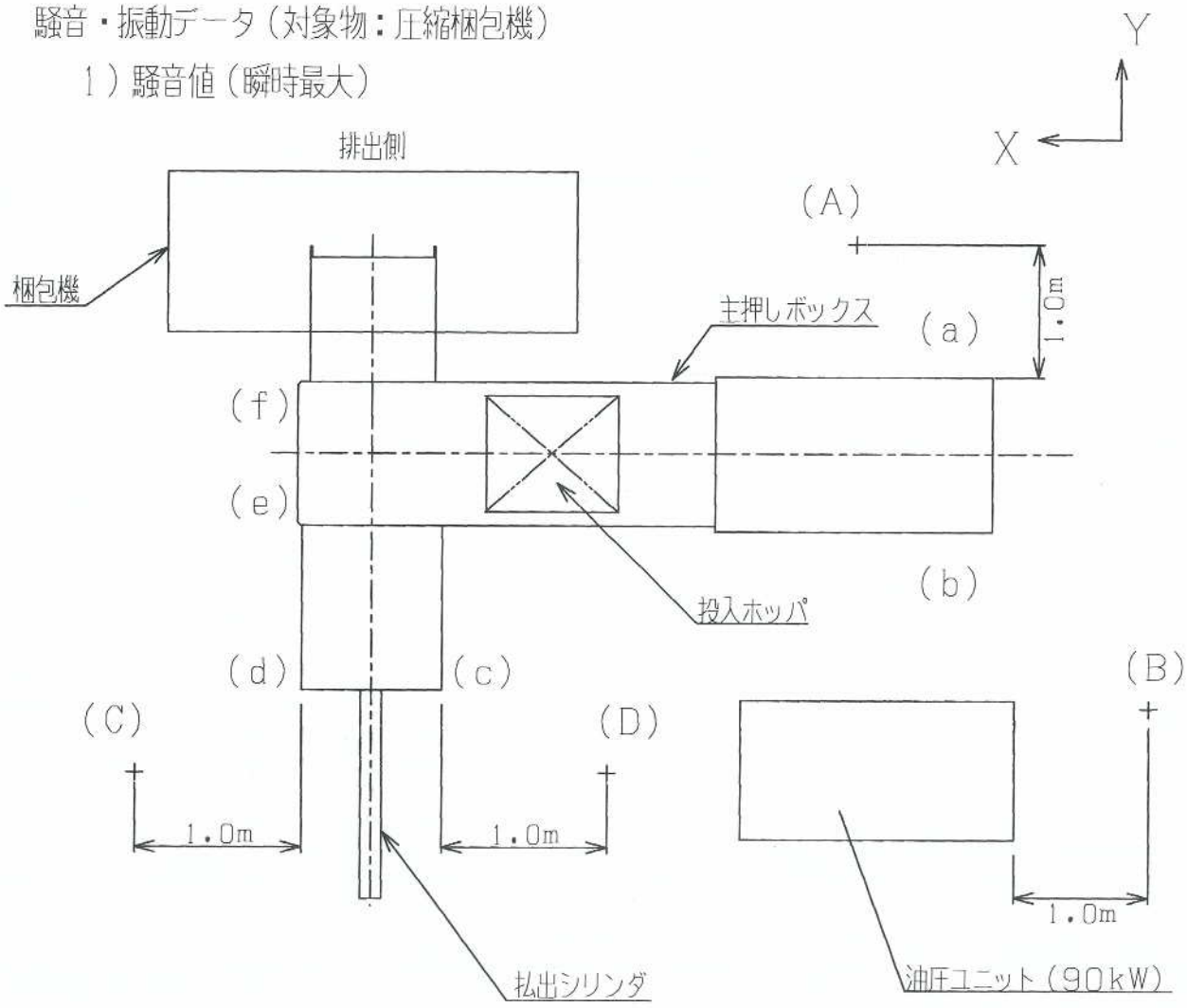
距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	A1	82.2	1m	C1	82.3
距離	測定点	騒音(dB)	距離	測定点	騒音(dB)
1m	B1	83.0	1m	D1	82.5

距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	A1	53.5	1m	C1	53.1
距離	測定点	振動(dB)	距離	測定点	振動(dB)
1m	B1	52.7	1m	D1	52.5

株式会社リョーシン

騒音・振動データ（対象物：圧縮梱包機）

1）騒音値（瞬時最大）



測定箇所	A	B	C	D	平均値
騒音値（dB）	82	88	86	87	約86

測定機器：普通騒音計　型式：NL42（リオン）

2）振動値（Lv：単位dB）

測定位置：圧縮機主脚

測定箇所	a	b	c	d	e	f
X	45.2	44.6	62.3	69.2	52.9	55.3
Y	40.4	47.1	66.3	72.3	66.4	64.6
Z	59.7	54.6	70.0	61.4	62.5	64.4

測定機器：振動レベル計　型式：VM53A（リオン）

継続可能な高度循環型社会を創造する

株式会社リョーシン

RYOHSHIN

2軸・4軸・粗破砕機シリーズ

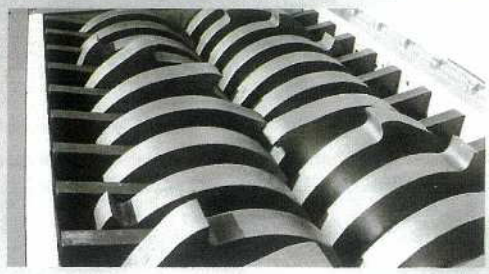
2軸破砕機

4軸破砕機

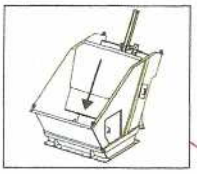
粗破砕機

DUAL-SHEAR®

RYOHSHIN 2軸破砕機

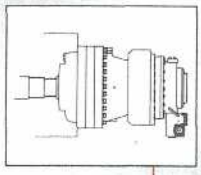


ラムホッパー(*オプション)



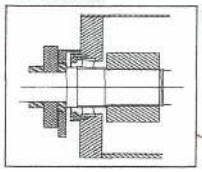
用途に合わせた投入ホッパーを選択できます。オプションのラムホッパー(押し込み式ホッパー)によって、ブリッジしやすい材料にも対応できます。

駆動方法



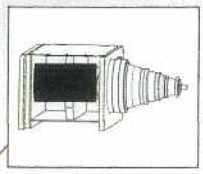
電気式、油圧式が選択可能です。

シール・ベアリング保護装置

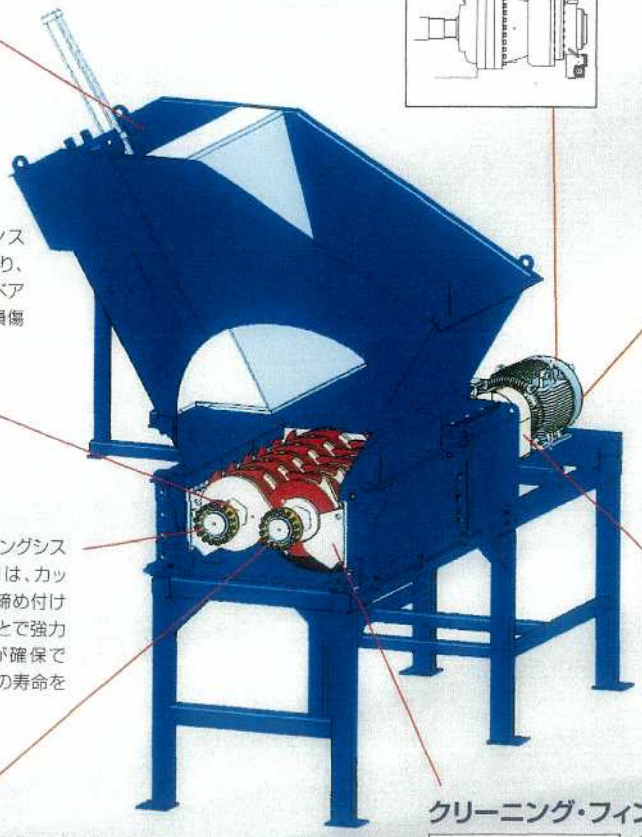


独自のラビリンスシール構造により、異物混入によるベアリングの汚れや損傷を防ぎます。

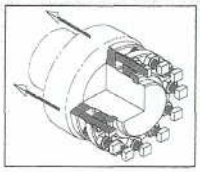
ダイレクトドライブ



減速機が直接ドライブシャフトにとりつけられているため、トルクが増大され、用途の幅が広がります。

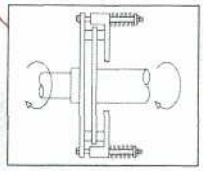


ACLS™(特許取得済み)



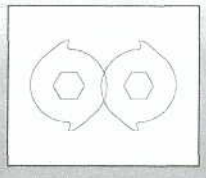
「カッターロッキングシステム(ACLS)」は、カッタースタックの締め付けを緊密に保つことで強力な締め付け力が確保でき、刃とシャフトの寿命を延ばします。

SSP™(特許取得済み)



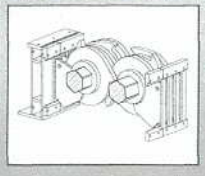
耐衝撃保護システム(シビア・ショック・プロテクション)は、高トルククラッチで、破砕軸が急に止まっても、駆動システムを安全に保護します。

カッター構造



抜き差し可能な構造であるため、カッターの交換が容易です。

クリーニング・フィンガー装置



刃と刃の間の破砕片の巻き付きや詰まりを防ぎます。

さまざまな材料を破砕

金属等の異物が混入した材料など、さまざまな材料を処理することができる破砕機をお探しなら、リョーシン二軸破砕機が最適です。ダイレクトドライブ方式を採用し、カッターロッキングシステム・高トルククラッチ・自動逆転装置などを装備した堅牢設計により、減容・破砕・前処理等のさまざまな用途に対応します。
投入材料はカッターとほぼ同等幅に破砕されます。

処理能力 0.5 ～ 70 トン / 時間
(破砕物・機種により異なります)

特長

- 堅牢で高トルクなせん断力設計により、金属・カーペット・タイヤなどの堅く圧縮性のある材料にも対応可能
- 堅牢なデザイン
- 低馬力、高エネルギー効率
- 耐摩耗性カッターで、肉盛り再生が可能
- 耐衝撃性
- 低速回転により低騒音
- 粉塵の発生も極めて少ない
- バッチ投入可能
- オプションで押し込み装置付ホッパーを装備することができます

スマートフィード

SMARTFEED™ (オプション)

フレコン・魚網等の破砕困難物に最適

スマートフィード™ (特許取得済み)は、ロープ・漁網・タイヤなどの破砕困難物も破砕することができる革新的な技術です。副軸が主軸にかかる負荷に合わせて回転速度を自動調整することで高効率な破砕を可能にしています。

- 小型機種でも従来大型機での処理が必要な材料を破砕可能
- 省エネ性に優れた低馬力仕様 (38kW～)
- 初期費用・ランニングコストを大幅に低減

今まで処理に苦労していた漁網・フレコン・ロープなどが簡単に処理できます。

仕様

標準

機種名	動力 (kW / HP)		破砕室 幅	破砕室 長さ
M55	23～45kW	30～60HP	580mm	785～1016mm
M70	38～75kW	50～100HP	725mm	785～1315mm
M85	75～113kW	100～150HP	890mm	1016～1610mm
M100	113～150kW	150～200HP	1040mm	1320～1905mm
M120	150～226kW	200～300HP	1170mm	1610～1905mm
M140	150～300kW	200～400HP	1320mm	1905～2555mm
M160	300～597kW	400～800HP	1625mm	1905～2555mm

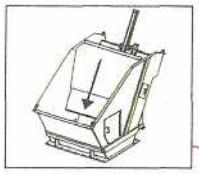
スマートフィード付き

機種名	動力 (kW / HP)		破砕室 幅	破砕室 長さ
M55	38kW	50HP	580mm	785～1016mm
M70	90kW	120HP	725mm	785～1315mm
M85	113kW	150HP	890mm	1016～1610mm
M100	150～226kW	200～300HP	1040mm	1320～1905mm
M120	226～300kW	300～400HP	1170mm	1610～1905mm
M140	300～373kW	400～500HP	1320mm	1905～2555mm
M160	373～448kW	500～600HP	1625mm	1905～2555mm

QUAD®

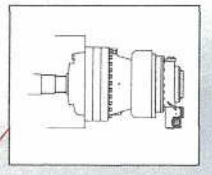
RYOHSHIN 4 軸破砕機

ラムホッパー(*オプション)



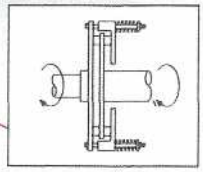
用途に合わせた投入ホッパーを選択できます。オプションのラムホッパー(押し込み式ホッパー)によって、ブリッジしやすい材料にも対応できます。

駆動方法



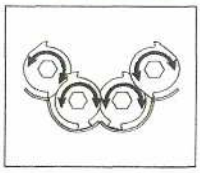
電気式、油圧式が選択可能です。

SSP™(特許取得済み)



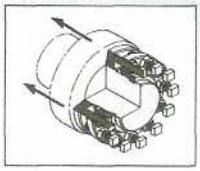
耐衝撃保護システム(シビア・ショック・プロテクション)は、高トルククラッチで、破砕軸が急に止まっても、駆動システムを安全に保護します。

セルフクリーニング設計



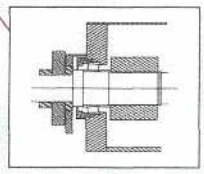
上下シャフト間、スクリーンとシャフトの間で相互スイープ作用をもたせた設計にしているため、破砕片の詰まりを最小限に抑えます。

ACLS™(特許取得済み)



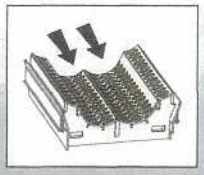
「カッターロッキングシステム(ACLS)」は、カッタースタックの締め付けを緊密に保つことで強力な締め付け力が確保でき、刃とシャフトの寿命を延ばします。

シール・ベアリング保護装置



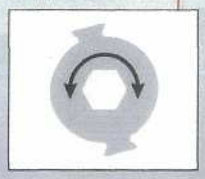
独自のラビリンスシール構造により、異物混入によるベアリングの汚れや損傷を防ぎます。

着脱可能なスクリーン



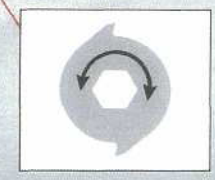
スライド方式を採用しているため、希望破砕サイズに合わせたスクリーン交換が可能です。

下カッター



双方向対応型のカッター形状であるため、方向を問わずに破砕処理が可能です。効率よく破砕処理を行い、高い生産性を確保します。

上カッター



尖ったカッターを使用しているため、破砕片の再循環を容易にすると同時に、カッターシャフトの一回転で切断回数が多くなるような設計にしています。

細かく、均一な寸法に破砕

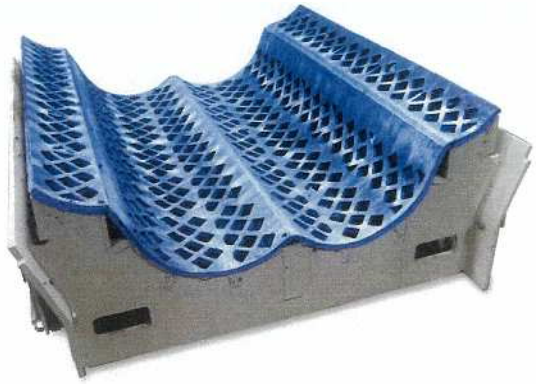
多様な材料に対応可能で、かつ1台で細かい寸法に排出できる破砕機をお探しなら、リョーシン四軸破砕機が最適です。破砕室内の4本のシャフトに取り付けられた破砕刃で、投入材料がスクリーンを通過する寸法になるまで再循環して破砕を繰り返し、最終的に材料を指定の寸法で排出します。
実証済みの低速・高トルク技術を採用し、処理後の破砕片はきれいに切断分離され、寸法も均一になります。また、堅牢設計により金属や硬い材料にも対応します。

処理能力 0.5 ～ 20 トン / 時間
(破砕物・機種・スクリーン仕様により異なります)

破砕サイズ スクリーンサイズとほぼ同等のチップ状
(通常は 19 ～ 203mm の均一サイズ)

特長

- 低速回転により低騒音・ダスト抑制・運転・保守コストの削減を実現
- 低馬力・高トルク設計で高い処理効率を確保
- 破砕室とスクリーンは「自己洗浄」設計
- 混合材料でも切断分離し易い設計
- 独自設計による着脱可能型スクリーン
  (用途により 19mm ～ 203mm まで設定可能)
- 金属材料も容易に破砕可能、破砕の前処理が不要
- 高速(多量)投入が可能
- 装置の簡素化により占有面積の節減
- 実証済みの耐久性に優れた設計
- オプションで押し込み装置付ホッパーを装備することができます
- 破砕刃は堅牢設計で、肉盛り再生が可能



四軸専用スクリーン

材料を均一に破砕するため、四軸破砕機にはスクリーンが装備されています。
スクリーンには独自のデザインを採用し、その精密設計が破砕粒度の調整を効率的に行うだけでなく、スムーズな破砕を手助けする役割を果たしています。

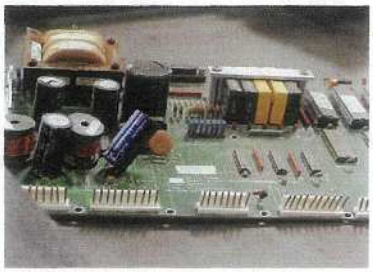
破砕プロセス

カッターの真下にスクリーンを配置し、材料が希望するサイズになるまで破砕を繰り返したのちに、スクリーンを通過します。
スクリーンの形状は、用途・希望寸法に応じてお選びいただけます。

メンテナンス

エンドカバーを取り外しスクリーンをスライドさせることにより、スクリーンの取り外しが容易にできます。そのためメンテナンスや清掃も簡単・スピーディーに行う事が可能です。

Before
破砕前



After
破砕後

仕様

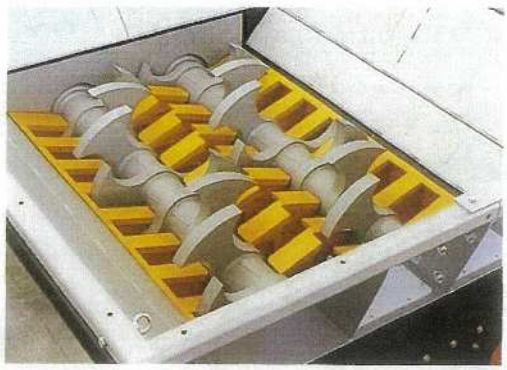
機種名	動力（kW / HP）		破砕室　幅	破砕室　長さ
Q55	30 ~ 60kW	40 ~ 80HP	900mm	785~1026mm
Q70	60 ~ 75kW	80 ~ 100HP	1125mm	1026~1315mm
Q85	75 ~ 150kW	100 ~ 200HP	1380mm	1315~1610mm
Q100	187 ~ 373kW	250 ~ 500HP	1565mm	1610~1905mm
Q140	300 ~ 448kW	400 ~ 600HP	2075mm	1905~2490mm

RYOHSHIN粗破砕機 FRシリーズ

革新的な技術であらゆる対象物を破砕

粗破砕機 FR シリーズは、多様な材料に対応できるよう開発された革新的、かつ堅牢度に優れた破砕機です。高い破砕能力に加え、革新的な技術により日々のメンテナンスを軽減、また維持の低コスト化も実現しました。シャフトはタッチパネルでその動きを細かく管理。これにより各軸の動きを材料に合わせて簡単に設定できるため、過負荷による破砕機の停止や材料の詰まりを防止します。

FR シリーズには多数のモデルを用意し、少量の破砕から大規模なボリュームの破砕まで、幅広いニーズに応える事が可能です。



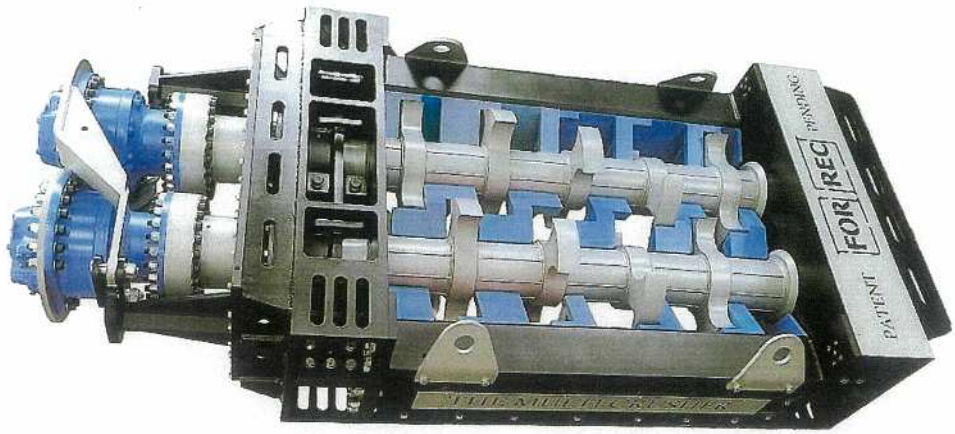
用途

- 一般廃棄物
- 粗大ゴミ
- 産業廃棄物
- 廃プラスチック
- 木、抜根

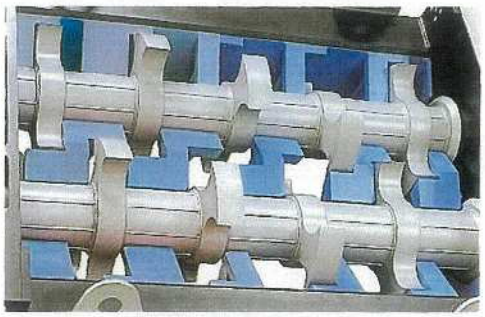
その他の材料はお問い合わせください。

特長

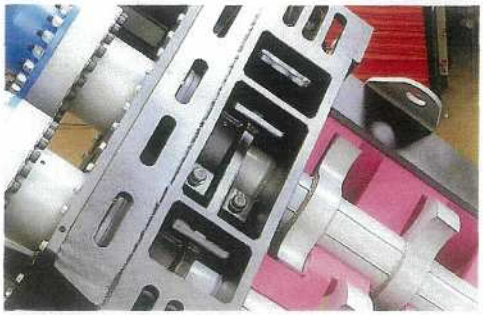
- 破砕粒度を大きく左右する固定刃は破砕機本体と分離型の仕様を採用（特許出願中）
  固定刃には耐久性に優れたハルドックスを使用
- 固定刃は、カッターの摩耗の原因となる砂・土などが落ちやすい特殊構造設計で、交換サイクルの延命化を達成
- 固定刃を交換する事により、破砕サイズを自由に調整可能
- 固定刃は簡単に取り外すことができ、短時間でメンテナンスを行えます
- カッターにはハルドックスを採用。摩耗時には肉盛り再生が可能
- 必要メンテナンス時間短縮の為、簡単にシャフト交換可能な設計を実現しました
- 破砕室にも頑丈な設計を適応し、様々な材料にも大容量で対応可能
- ベアリングハウジングには硬化型スチールを使用
- 二重構造のシーリングにより、ベアリングをしっかり保護します
- 油圧モーター採用でトルクの制御が可能。耐衝撃性に優れ、シャフトの高速逆転に貢献
- タッチパネルの操作による潤滑油の自動給油
- 負荷に応じて自動的に反転



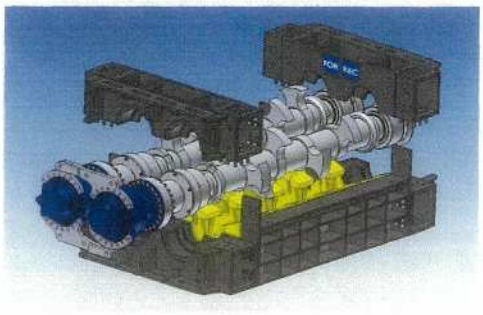
耐摩耗性に卓越した材質をカッターに採用



調整可能な破砕サイズ



ベアリングは破砕室外側に配置



シャフトは短時間で交換可能

仕様

機種名		FR1000	FR1300	FR1800	FR2000	FR2500	FR5000
機械幅	mm	1478	1478	1500	1705	1705	2155
機械長さ	mm	3200	3700	3500	3900	4490	4510
機械高さ	mm	600	600	685	780	780	780
破砕室幅	mm	904	904	1045	1245	1245	1695
破砕室長さ	mm	968	1208	1690	1890	2500	2500
カッター数	枚	4	5	12	12	12	12
重量*	トン	4	4.5	7	10	11	13
電動機	kW	1X30	1X45	1X160	1X250	1X250	1X315
制御関係		押ボタン・点灯 / 点滅パネル付制御盤 タッチパネルによる破砕機制御・非常停止制御 24V AC 電源					

標準仕様となっております。オプションにより仕様は異なります。
固定刃は材料に合わせて選定します。
* 重量はホッパー、架台を除きます。

RYOHSHIN SHREDDING SOLUTIONS

当社が長年培ってきた技術力と豊富な経験をもとに、
お客様の現場に最適な破砕プラントを企画・構築します。

取扱店

継続可能な高度循環型社会を創造する

株式会社リョーシン

本　社　〒939-2744 富山県富山市婦中町地角600-1
TEL 076(465)6050　FAX 076(465)6112

関東営業所　〒332-0031 埼玉県川口市青木3丁目12番35
TEL 048(299)7800　FAX 048(299)7801

URL http://www.ryohshin.co.jp/

R04.04.1300

リサイクル適性Ⓐ

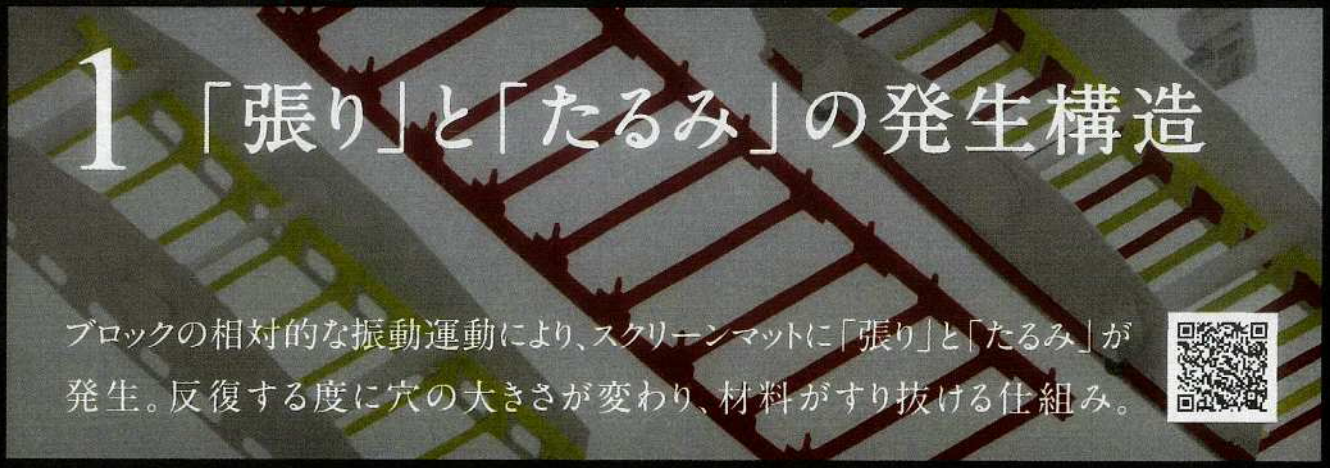
BIVITEC

VIBRATORY SCREEN

RYOHSHIN 株式会社リョーシン

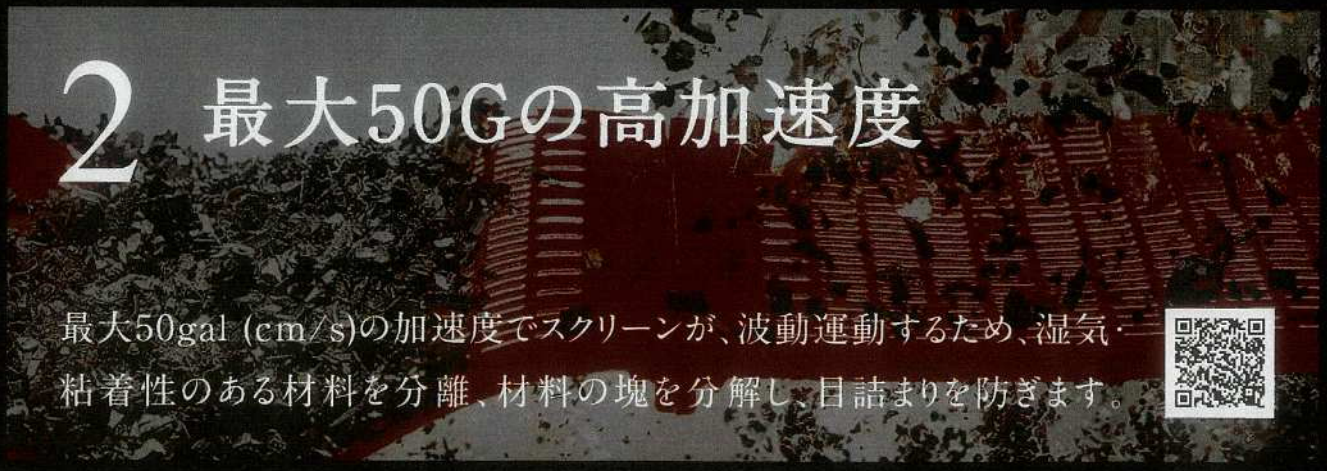
The Reasons

ビビテックが目詰まりしない理由



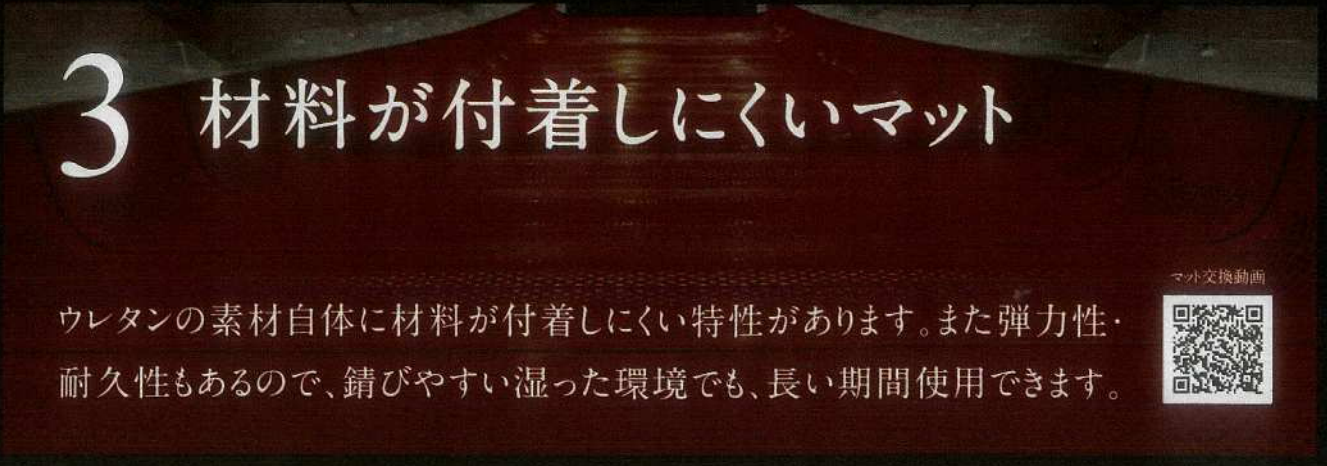
1 「張り」と「たるみ」の発生構造

ブロックの相対的な振動運動により、スクリーンマットに「張り」と「たるみ」が発生。反復する度に穴の大きさが変わり、材料がすり抜ける仕組み。



2 最大50Gの高加速度

最大50gal (cm/s)の加速度でスクリーンが、波動運動するため、湿気・粘着性のある材料を分離、材料の塊を分解し、目詰まりを防ぎます。



3 材料が付着しにくいマット

ウレタンの素材自体に材料が付着しにくい特性があります。また弾力性・耐久性もあるので、錆びやすい湿った環境でも、長い期間使用できます。

マット交換動画

BIVITEC

VIBRATORY SCREEN

高度な振動技術と、伸縮による波動運動のコンビネーション。

①強靭なサイドフレーム
一枚の切り出しで製造されるため、溶接の接続がなく、ひび割れしない、強度が高い、長寿命の利点があります。

②投入側の強化プレート
比重の大きい材料が落ちる衝撃に耐えられるように、投入口側のプレートの耐久力を強化し、投入部分のスクリーンの摩耗を防ぎます。

③アンバランスウェイト
投入材料に応じて、振幅を最適に調整することができます。また、目詰まりを防止する50Gの高加速度を実現します。

④防塵カバー
発塵を抑える布製のフードを簡単に取り付け可能です。集塵機との連結によって工場内の作業環境を、快適に保ちます。

⑤ラバーブロック
ブロックの厚みと数量の調整で、選別材料に合わせた波動運動を実現します。基礎や骨組みへの動的負荷を軽減します。

⑥マシュマロスプリング
従来の鉄製バネと比べ、基礎や骨組みへの振動伝達を最小に抑え、長寿命で低騒音、低振動な稼働が可能です。

Spec

自由自在にカスタマイズ可能

用途に応じて最適なデッキ数やスクリーンマットが選択可能。デッキは最大4段まで配置することが可能で、重量物に強い保護デッキを上段に組み合わせることで重量物に対応しながら細かいサイズをふるい分けることができます。

シングルデッキ

ダブルデッキ

トリプルデッキ

クアトロデッキ

3Dグリッドスクリーン

ウレタンスクリーン

フィンガースクリーン

PUスクリーン

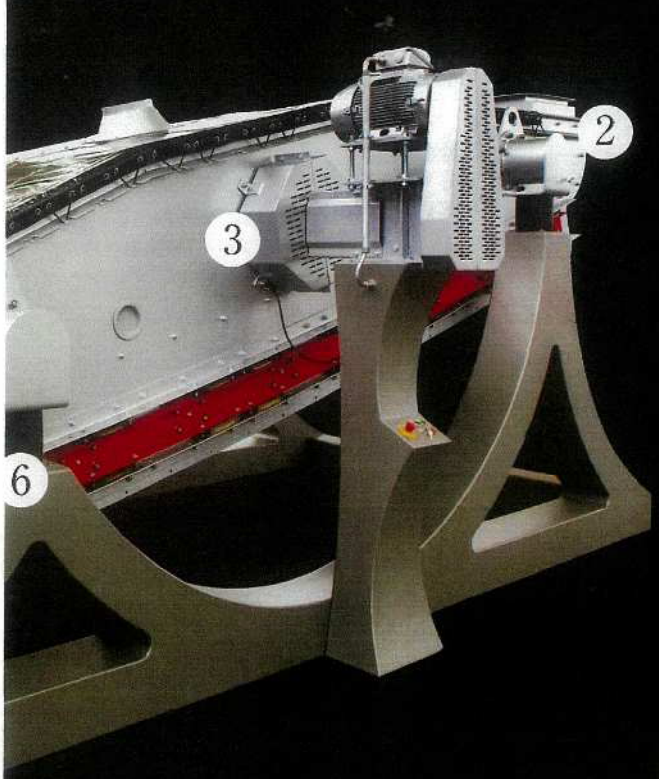
スクリーンマットの特徴

独特のカーブ形状
マットの両端がなめらかなカーブ構造になっており、両端に流れ出た材料を中央に押し戻すため、横漏れを防止します。また、カーブ構造がマット端の負荷を分散し、マットの破れを防ぎます。

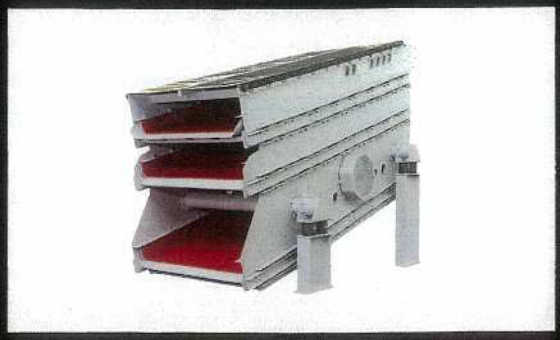
耐摩耗と耐
高質ポリウレタンに
労性を付加した素材
す。また比重が大き
した高耐久のマット
に付着している微生
強いマットもあります

ボルトを使わずに固定
マットは差し込むように固定します。ボルト止めをしないため、簡単かつスムーズな交換が可能です。マットや接合ホルダー自体がウレタン素材で弾力性があり、材料落下の衝撃を緩和します。

豊富な種
材料厚10mmまで
けから、ミクロン単位
イプまで、あらゆるニ
きるように穴の形状や
マットといった、豊富な
をご用意しております



実際の選別動画



【混合廃棄物選別ライン 参考フロー図】

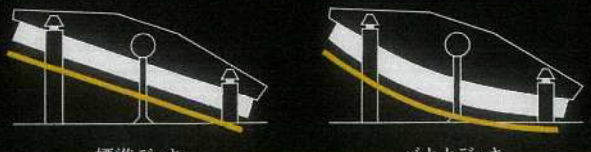
ふるい分けに適している材料

鉱物	リサイクル
土砂/石炭/砕石/鉱石/建設発生土	建設系混合廃棄物/解体系混合廃棄物/一般廃棄物/自動車系シュレッダーダスト(ASR)/廃棄家電/再利用コンクリート/製鉄スラグ/堆肥
木材	
パルプ/パウダー/木材チップ	

型式 KRL/EDSシリーズ			
デッキ数	1~4	スクリーン面積	1.5~42㎡
スクリーン幅	600~3,500mm	スクリーン穴サイズ	0.063~90mm
スクリーン長さ	2,500~12,000mm	処理能力	6~175㎥/h

バナナデッキで高精度&大量処理を実現

標準デッキ(直線形状)の他に、独自のバナナデッキ(カーブ形状)があります。投入口手前では大きい傾斜により、材料を早く送り、処理量が増えます。緩やかな後半は、残った微細物を時間をかけてふるいきります。ふるいたい対象が6割以上の場合、バナナデッキの方が高効率です。



業界の最大のリスクは、

人手不足である。

継続可能な高度循環型社会を創造する

株式会社リョーシン

RYOHSHIN

本社　Tel. 076-465-6050
〒939-2744 富山県富山市婦中町地角600-1

関東営業所　Tel. 048-299-7800
〒332-0031 埼玉県川口市青木3丁目12番35

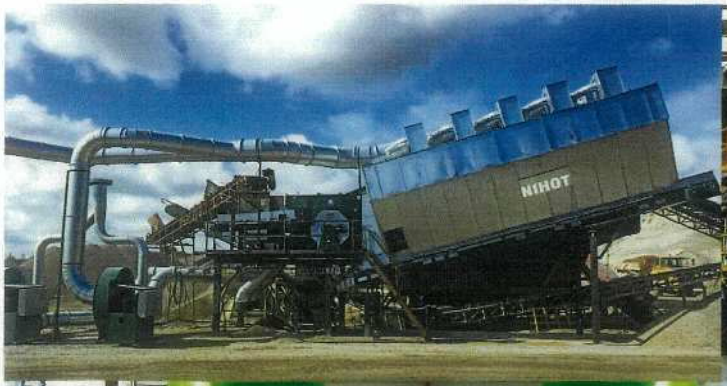
WEBSITE

継続可能な高度循環型社会を創造する

株式会社リョーシン

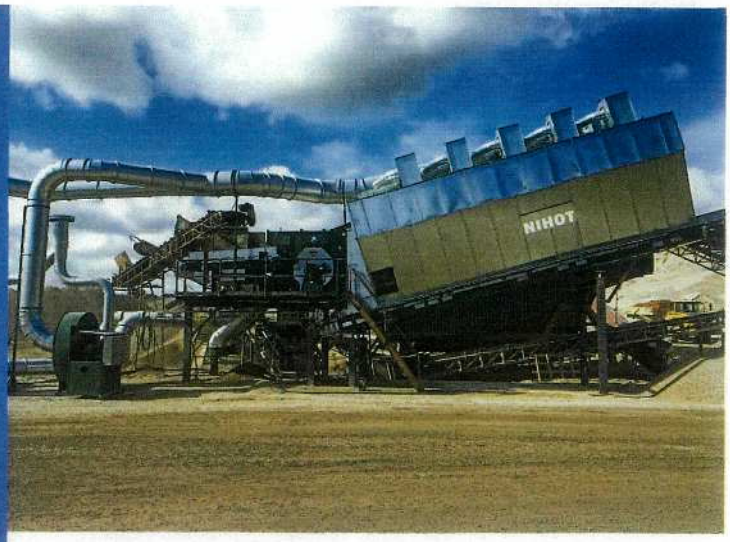
RYOHSHIN

風力選別機シリーズ



NIHOT

あらゆる材料を、
大量・高精度・ダストフリーに選別



SDS

SDSは、多種多様な材料を、大容量かつ高精度に選別する風力選別機です。

世界中に750台の販売実績を誇るニホット社の卓越したエアー技術により、サイズの大きな材料、重量物もしくは軽量物の比率が高い材料、高湿性の材料などの、選別が困難とされる材料にも対応することが可能です。

独自の吸引技術でダストフリーを実現、粉塵の出ない万全な作業環境を提供します。

特　長

- 多種多彩な材料、特に選別が困難とされる材料にも対応可能
- ファンでエアーを再循環させ、エネルギーの消費を最小限に抑える特殊設計（エアーの70%は再利用されます）
- エアーを吸引して選別する原理で、ダストフリーを実現
- 稼働中の調整が可能で、材料に応じて最適な状態にセッティング
- メンテナンス性に優れ、機械のダウンタイムを削減

対象物

- 産業廃棄物（C&I）
- 建設系廃棄物（C&D）
- 都市ゴミ（MSW）
- 自動車シュレッダーダスト（ASR）
- 焼却灰
- 廃家電（WEEE）
- 堆肥
- バイオマス
- 金属
- ガラス
- RDF

SDSは下記材料も選別可能

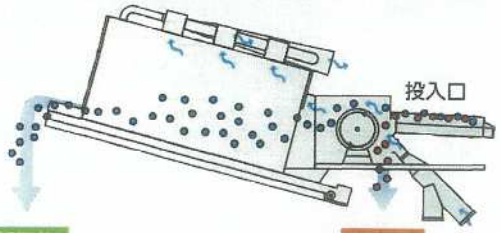
- サイズの大きなものが混ざった材料
- ガラス・金属等の摩耗させやすい材料
- プラスチック、フィルム系のような軽量物の比率が多い材料
- 高温性の材料

処理能力

モデル	800	1000	1200	1400
全体（最大）	20t/h	25t/h	30t/h	35t/h
軽量物（最大）	15t/h	20t/h	25t/h	30t/h
選別サイズ（最大）	300mm	350mm	400mm	450mm

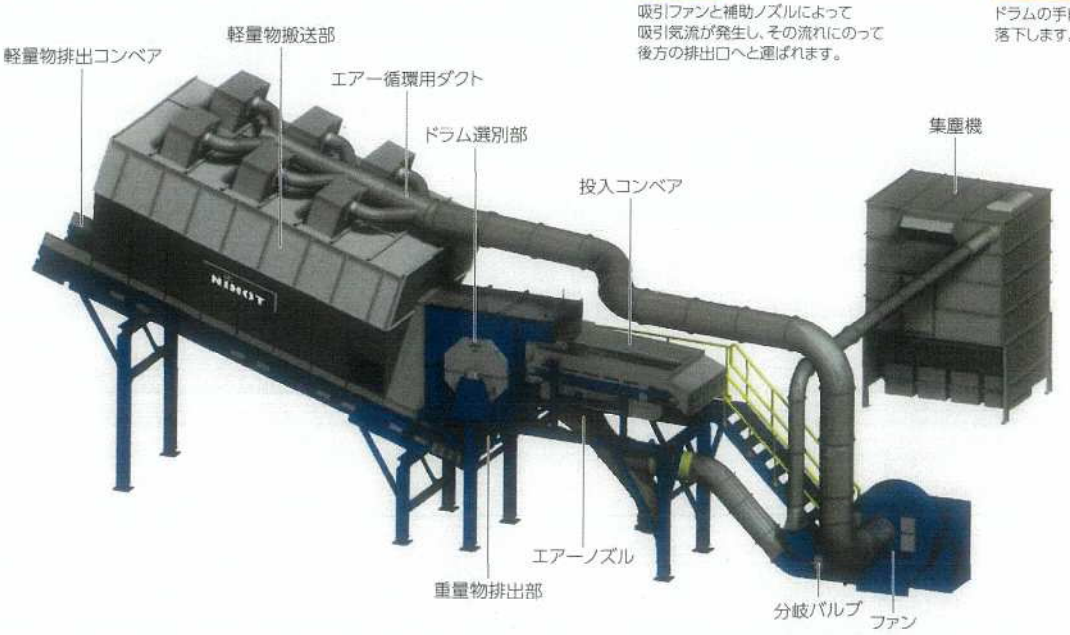
※1400以上のモデルは別途お問い合わせください。

選別プロセス



軽量物
吸引ファンと補助ノズルによって吸引気流が発生し、その流れにのって後方の排出口へと運ばれます。

重量物
ドラムの手前で落下します。



対象物

- 産業廃棄物(C&I)
- 建設系廃棄物(C&D)
- 都市ゴミ(MSW)
- 自動車シュレッダーダスト(ASR)
- 焼却灰
- 廃家電(WEEE)
- 堆肥
- バイオマス
- 金属
- ガラス

SDi

SDiは、集塵機と制御盤を統合した省スペースデザインの風力選別機です。

投入サイズが250mmまでの材料を対象とし、吸引選別構造によりダストフリー・高精度な選別を可能にしています。

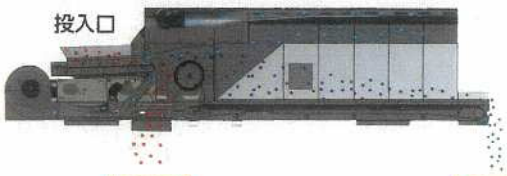
処理能力

モデル	650	800
全体(最大)	10t/h	15t/h
軽量物(最大)	4t/h	6t/h
選別サイズ(最大)	250mm	250mm

特 長

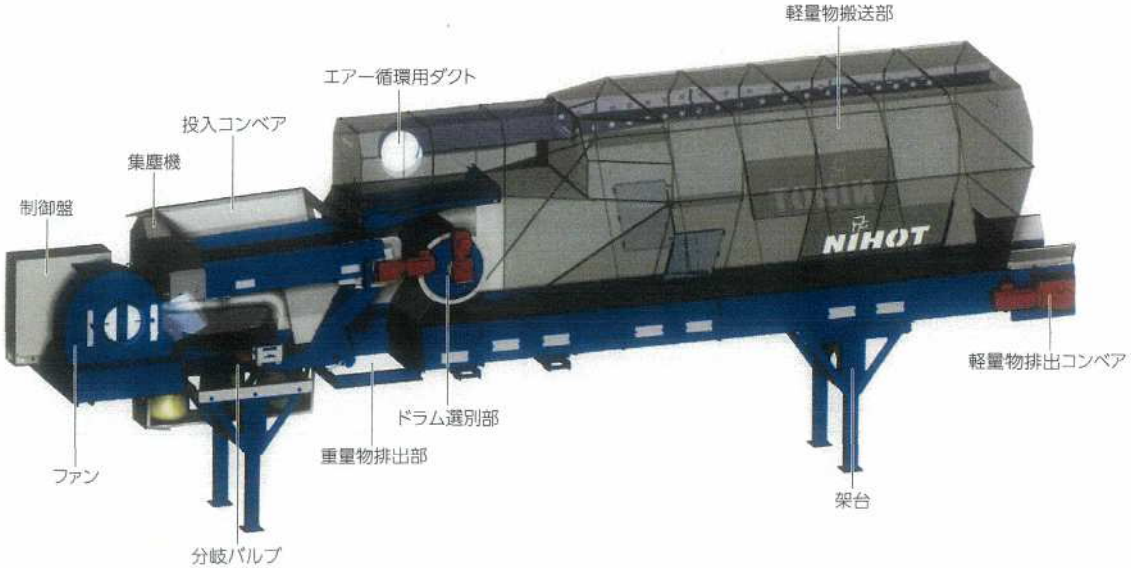
- 集塵機(振動式)・制御盤が統合された、省スペース設計
- 結線した状態で40'コンテナにそのまま入るので、据付が非常に早く簡単
- ファンでエアーを再循環させ、エネルギーの消費を最小限に抑える特殊設計(エアーの70%は再利用されます)
- エアーを吸引して選別する原理で、ダストフリーを実現
- 稼働中の調整が可能で、材料に応じて最適な状態にセッティング
- メンテナンス性に優れ、機械のダウンタイムを削減

選別プロセス



重量物
ドラムの手前で落下します。

軽量物
吸引ファンと補助ノズルによって吸引気流が発生し、その流れにのって後方の排出口へと運ばれます。



NIHOT
吸引構造で高精度選別・粉塵の飛散を防止
集塵機、制御盤一体型のコンパクトデザイン

Zセレクター

Zセレクターは対象材料からプラスチックフィルム、紙などの軽量物を効率よく選別します。対象選別サイズは概ね30～300mmとし、エアー配管により、場所を選ばず搬送が可能です。振動・騒音が少ない低運転音型で、粉塵の発生が極めて低い装置です。

モデル

700　1200

特　長

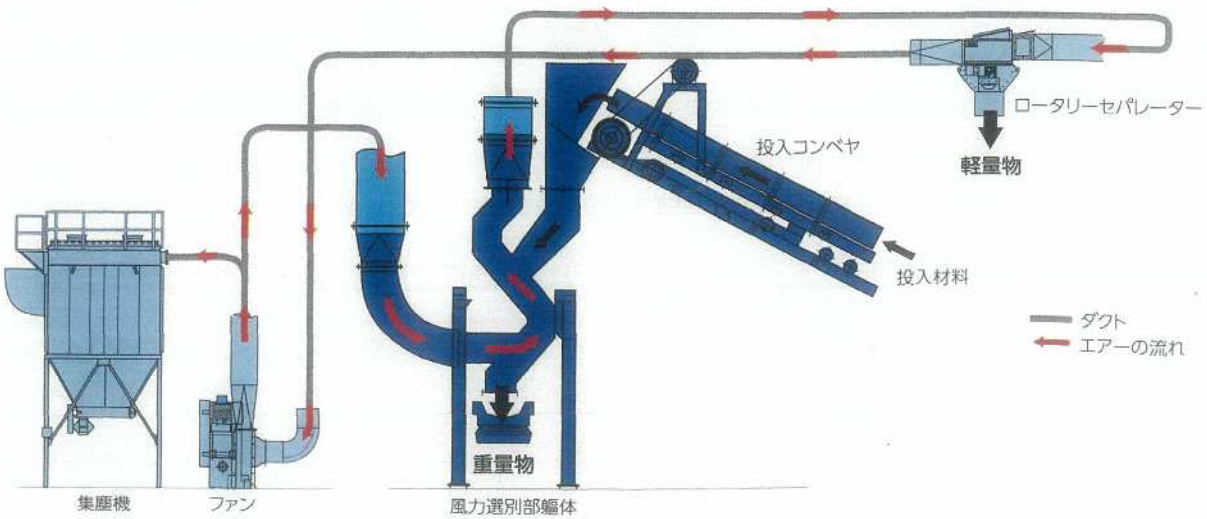
- 優れた選別性能
- サイクロンでは排出困難なひも状、大きなフィルム等も排出可能
- 高い処理能力
- エアー循環式により、作業環境を改善、小型集塵機で対応可能
- 簡単なメンテナンス

選別前

選別後 軽量物

選別後 重量物

Zセレクターの選別工程フロー図



小材料に対応し、高精度な選別を可能に

ジグザグ選別システム

ジグザグ選別システムは材料の流れから軽量物を効果的に取り除くよう設計されています。ほとんどのプラスチック・金属リサイクル設備に適し、段階的な調節が可能な装置です。

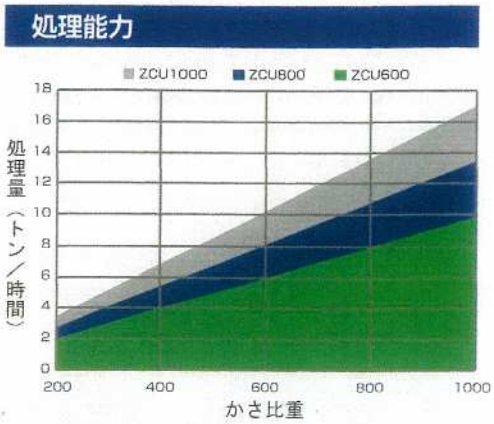
コンベヤの乗り継ぎ部に設置可能で、10～50mm程度の材料から軽量物を高精度に選別します。ジグザグシステムに送られた材料は可変調整された上昇気流へ運ばれ、落下する材料は一連のジグザグ装置を段階的に通過するうちに、その上昇気流に乗って逆流するものと、落下するものに効率よく分別されます。

材料の特性によって空気の量とダンパーの角度を変更することにより、高精度な選別効果が得られます。

特　長

- 10～50mmサイズの材料選別に最適
- 風量をコントロールして気流を制御することで、材料にあわせた選別が可能
- 材料の洗浄効果
- 大きな処理能力
- プラスチックの広範囲な選別に適しています

ジグザグ選別システムプロセス



ジグザグ選別装置 ZCU

ジグザグ選別装置(ZCU)は、ジグザグユニット、ロータリーセパレーター、集塵機をコンパクトにまとめた風力選別機です。ロータリーバルブから投入された選別対象材料は、材料の比重・サイズ・形により重量物、軽量物へ効率よく、かつ正確に選別されます。

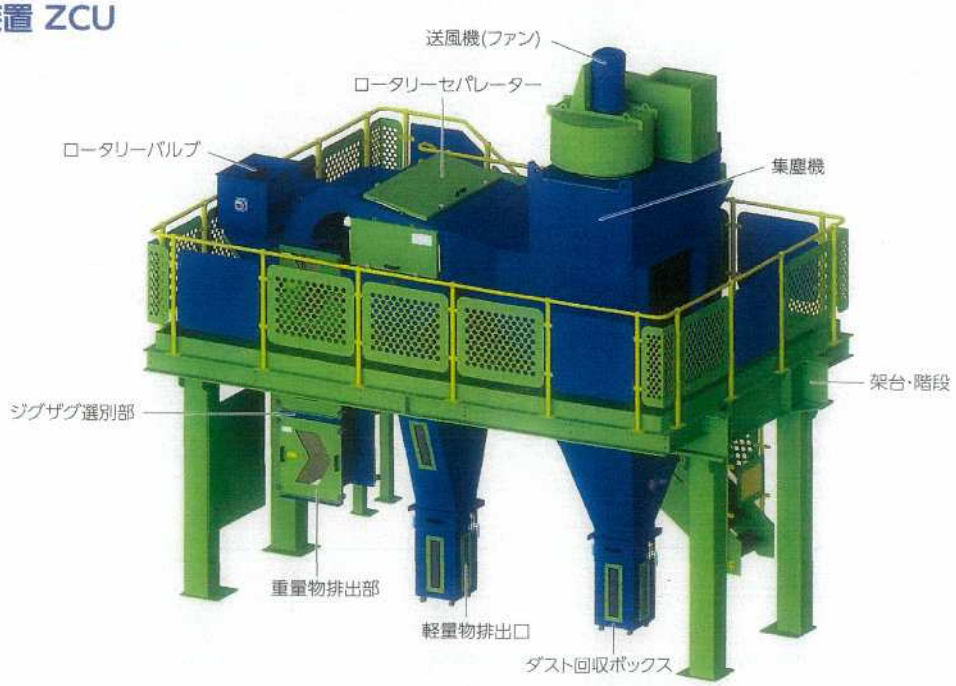
重量物は重力に従いジグザグユニット下部排出口に落ち、軽量物はエアーの流れに乗りロータリーセパレーターへ運ばれます。またダスト等の細粒物は集塵機下より排出されます。

ハルドックス・セラミック加工を施すことにより耐久性を高め、エアーの微調整により非常に高い選別精度を実現します。

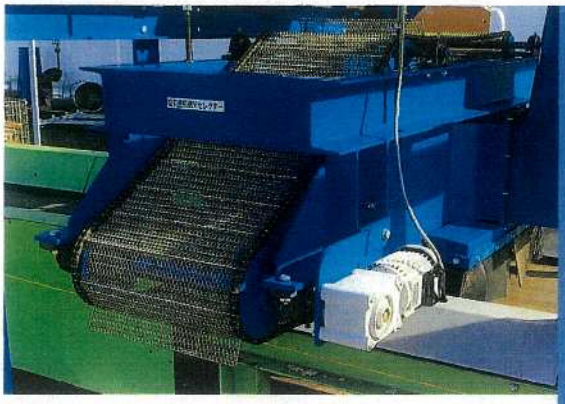
特　長

- 処理量にあわせたモデル設定
- 低い粉塵排出量(10mg/m³以下)
- 低騒音・低振動
- 簡単なメンテナンス

ジグザグ選別装置 ZCU 選別システム



Vセレクター



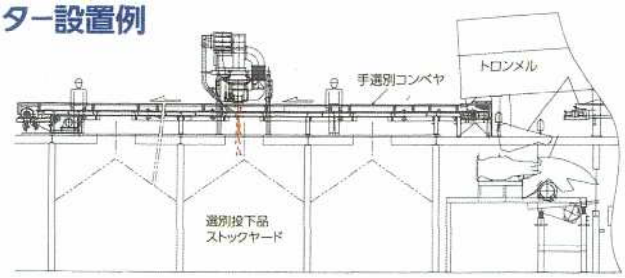
Vセレクターは手選別コンベヤ上に設置して、軽量物を吸引力によりネットベルトに吸着させて自動排出する装置です。コンベヤ上に張り付いた薄物の軽量物も、特殊構造の回転ブラシによって効率良く分離回収されます。

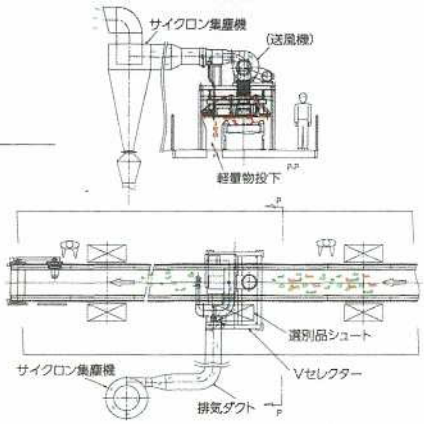
特　長

- 既設の手選別コンベヤへの後付けが可能
- 自動回収により、選別人員を削減
- 後段の手選別効率が格段にアップ

薄物も回転ブラシが浮かせてネットベルトに吸着させます。

Vセレクター設置例





コンベヤ上の軽量物を自動選別

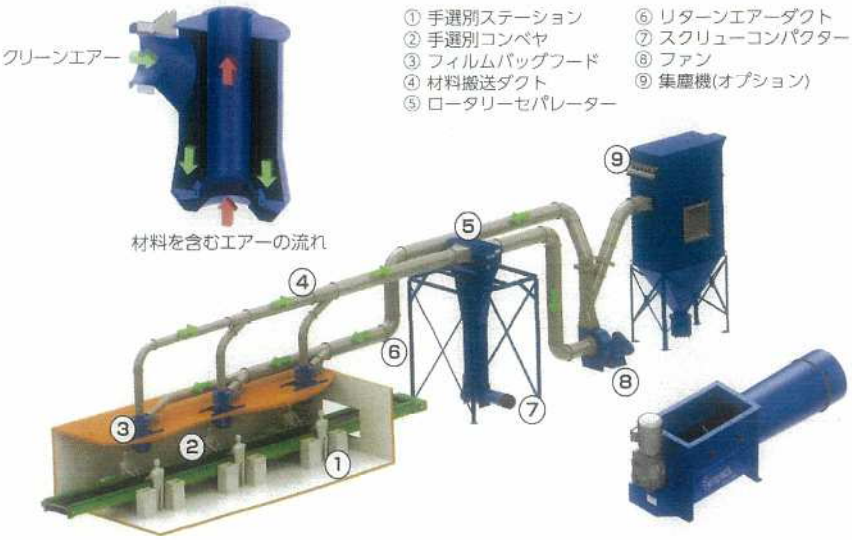
フィルムバッグ

フィルムバッグシステムは、同一工場内の複数箇所で手選別されたフィルム系材料を、天井に取り付けたフードによって自動的に1ヶ所に収集し、ロータリーセパレーターによって回収します。閉ループシステムを採用し、使用する空気量を最小限に抑えることが出来る為、動力を最小限に抑えられます。また、選別ヤードの空調経費も削減します。

特　長

- 複数の回収箇所に対して材料保管バンカーは1ヶ所で対応可能
- 圧縮装置と共に使用することで貯蔵スペースや運搬コストを削減
- 閉ループシステムにより、ローコスト・低騒音を実現

フィルムバッグのシステムフロー



オプション

スクリューコンパクター

フィルムバッグにより回収された材料を、先端に取り付けられた袋に圧縮排出します。
紙、段ボール、プラスチック、缶など広範囲な材料の圧縮排出に適しており、消耗部品が少なく低メンテナンス仕様でありながら貯蔵スペースや運搬コストの削減に多大な効果を発揮します。

エアー搬送される材料を詰まることなく自動回収

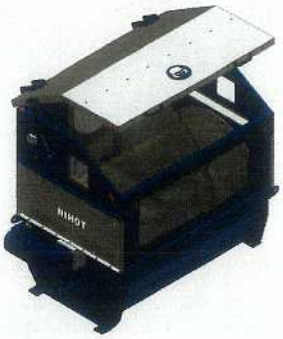
NIHOT

空気力学原理に沿った分離回収

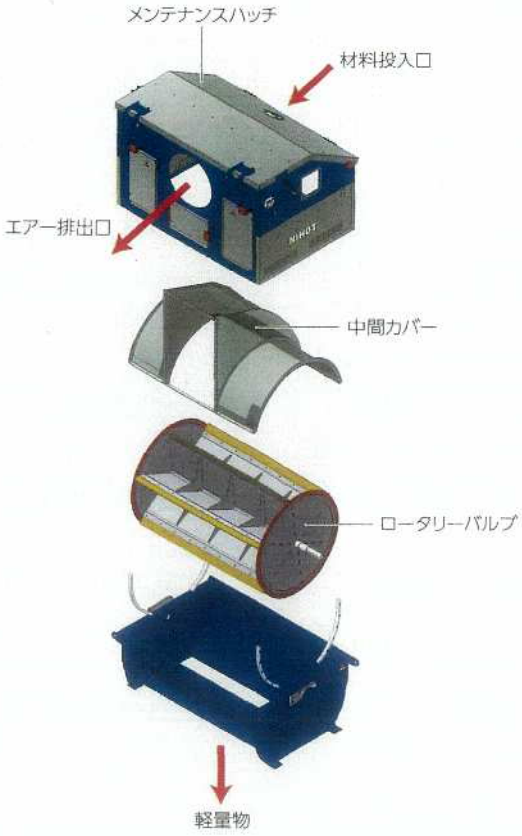
ロータリーセパレーター

ロータリーセパレーターは、エアー搬送されるプラスチックフィルム等の軽量物(5～20mm)を、スクリーンを用いてエアーの流れから分離・回収するシステムです。

吸引ファンにより負圧環境を作り出すシステムの為、粉塵が外部に流出せずに集塵機に回収されます。



多種におよぶ点検・メンテナンスをより容易に行うため、上部に専用のハッチを設けました。



モデル

11	17	25

※用途に応じて最適なモデルをご提案致します。

特　長

- サイクロンに代わる小型の回収装置
- 極めて少ない粉塵発生率
- 材料の目詰まり防止対策を考えたデザイン
- 簡素化されたメンテナンス

取扱店

継続可能な高度循環型社会を創造する
株式会社リョーシン
RYOHSHIN

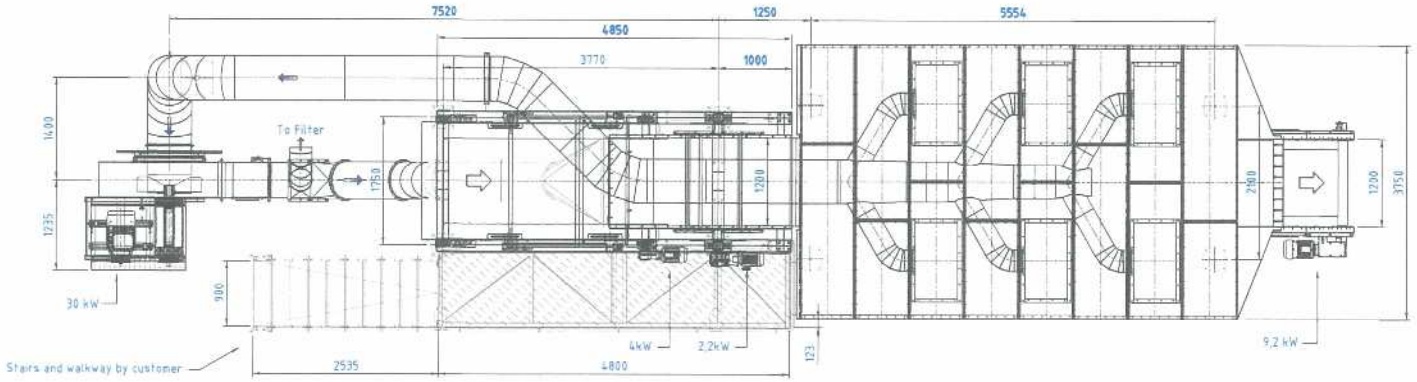
本　社　〒939-2744 富山県富山市婦中町地角600-1
TEL 076(465)6050　FAX 076(465)6112

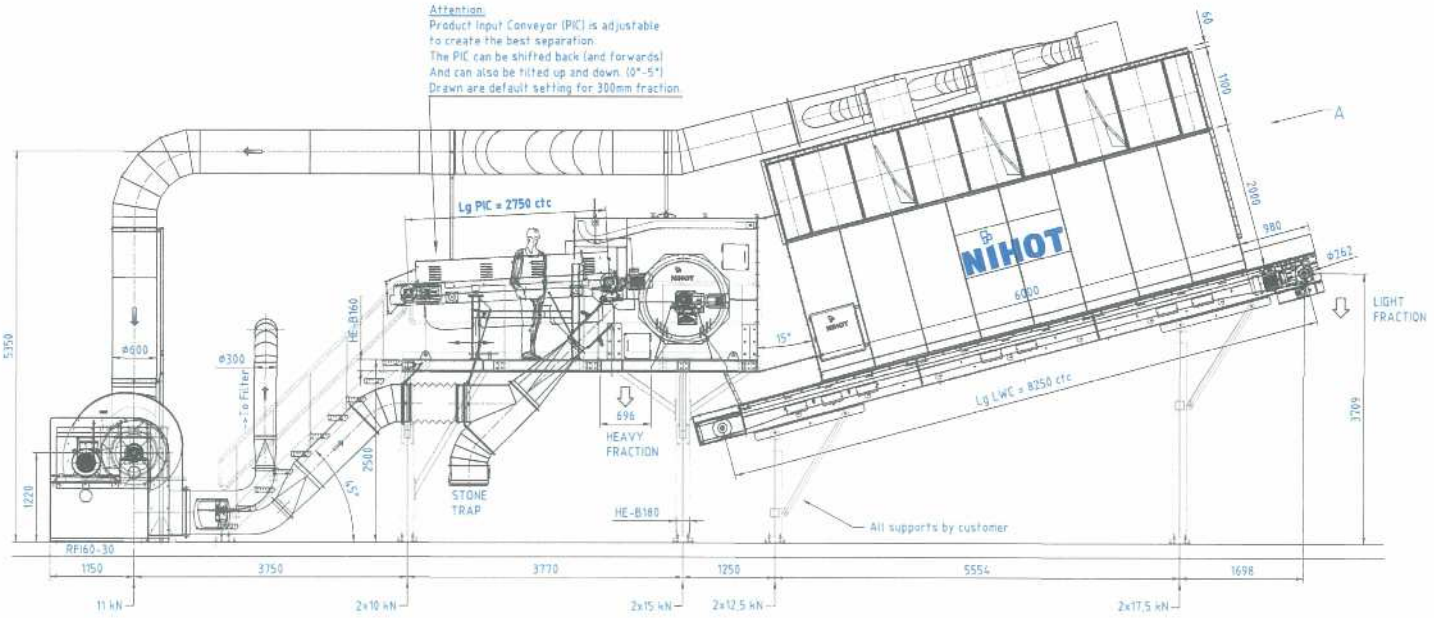
関東営業所　〒332-0031 埼玉県川口市青木3丁目12番35
TEL 048(299)7800　FAX 048(299)7801

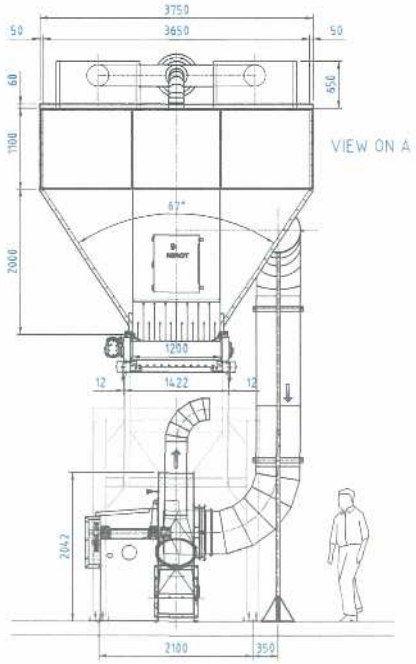
URL http://www.ryohshin.co.jp/

R04.04.1500

リサイクル適性Ⓐ







LAYOUT PROPOSAL

FOR INFORMATION ONLY

Rev	Date	Remarks	Drawn	Check
G	25/07/13	Blow ducting	RvA	
F	19/06/12	Air diverter	RvA	
E	25/04/12	Stairs	RvA	
D	28/03/12	Fan + side view	RvA	
C	16/11/11	Details	RvA	
B	03/10/11	Expansion room	RvA	
A	05/08/11	Details Drum, WC	RvA	

Form- and placetolerance acc. NEN-ISO 1101 | General measure- and formtolerances acc. NEN-ISO 2768-1 and 2 - | Registration measuretolerances acc. NEN-ISO 406 | Roughness acc. NEN 3634 | Weldsymbols acc. NEN-ISO 2553

NIHOT
RECYCLING TECHNOLOGY
Generatorstraat 16 1014 AT Amsterdam
Tel. +31(0)205822030 Fax. +31(0)205822039
E-Mail: nihot@nihot.nl Website www.nihot.nl

Client:

Notes:

Scale: 1:50 | Drawn: R. van Aken | Date: 30-07-2010

Measurement: mm | Checked: | Date:

Projection:

Title: GENERAL ARRANGEMENT SINGLE DRUM SDS-1200

Drawing no.:

Rev.: G | Size: A2

THIS DRAWING IS ISSUED ON CONDITION THAT IT IS NOT COPIED, REPRODUCED OR DISCLOSED TO A THIRD PARTY WITHOUT THE WRITTEN CONSENT OF NIHOT RECYCLING TECHNOLOGY B.V.

Jupiter Series
Polaris Series
Komet Series

LINDNER
We reduce it.

一軸シリーズ

1 次破砕機 JUPITER（ジュピター）
ワンステップ破砕機 POLARIS（ポラリス）
2 次破砕機 KOMET（コメット）

www.l-rt.com

JUPITER（ジュピター）

高トルク性能と効率性の同時実現

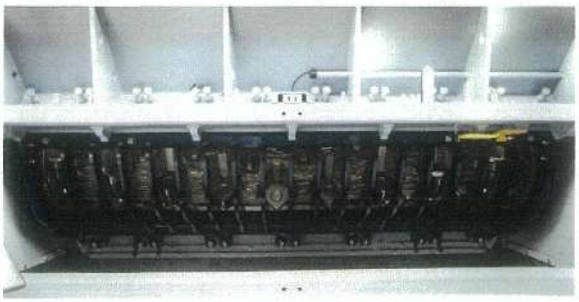
高い信頼性、省エネルギー性、簡単な操作とメンテナンス：

ジュピターは、効率的な破砕を実現するために必要な要素のすべてを兼ね備えています。従来、異物を含む可能性がある材料には、高トルク仕様での対応が一般的でしたが、ジュピターはハイレベルなマシン設計により、同等のトルクをより小さいエネルギーとコストで生み出し、一次破砕においてあらゆる材料に対応することができます。それと同時に、低運用コストと非常に高い処理量を保証します。

考え抜かれた技術

【セーフティークラッチシステム】
Vベルトを使用することにより、金属等の異物の噛み込みによるモーターの破損を防ぎます。

【 あらゆる材料に対応する柔軟性 】
ジュピターは対象物に合わせて仕様を調整するため、粗大ごみ、産業廃棄物、商業廃棄物、木材、合成品、ゴムなど破砕物を問わずに処理します。
モジュラーシステムを採用し、カッティングシステム、モーター、スクリーンなど様々な選択肢の中からベストな組み合わせを行い、お客様の材料に合わせた最適な破砕機をご提案します。



破砕効率性の向上

【油圧式プッシャー（内部押し込み装置）】
投入量に応じて、自動でプッシャーが作動し、材料のホッパー外漏れを防止します。

【油圧式メンテナンス用フラップ】
油圧式フラップの採用により、ボタン１つで固定刃や回転刃にアクセスできます。ナイフの交換や異物が混入した際にも、作業員は破砕室に入ることなく、安全に作業ができます。メンテナンス性に優れた設計になっており、破砕機の停止時間を最小限にします。

【ナイフ（回転刃）】
ナイフはネジ止めされているため、作業者１名で簡単に着脱できます。また、ナイフは４回まで使用可能です。

		Jupiter 1800			Jupiter 2200			Jupiter 3200		
寸法										
機械寸法	mm	4800 x 3250 x 4840			5500 x 3250 x 4840			6500 x 3250 x 4840		
ホッパー開口部	mm	3750 x 3000			4090 x 3000			5160 x 3000		
投入口高さ	mm	3105			3105			3105		
ホッパー容量	m^3	7,5			9			12		
排出口	mm	1026			1026			1026		
総重量	kg	27000			33000			39000		
破砕室										
ローター長さ	mm	1770			2115			3150		
ローター速度	min^{-1}	35 - 87			35 - 87			35 - 87		
ナイフ仕様		先端剪断式								
	mm	145P	116P	87P	145P	116P	87P	145P	116P	87P
ナイフ数	個	20	22	41	24	28	50	36	42	77
スクリーン穴形状		六角形/円形/三日月形								
スクリーンシート数	枚	4			4			6		
排出サイズ	mm	50 - 350								
ドライブ										
駆動方式		2段式ベルト								
動力	kW	1 x 200			2 x 110			2 x 160		
標準装備		インバーター、インバーター用冷却装置（水冷式）、セーフティークラッチ、ホッパー油圧式スクリーン、油圧式メンテナンスフラップ、油圧式プッシャー、制御盤								

POLARIS（ポラリス）

ワンステップ破砕機の決定版

異物に強くパワフルな破砕機:

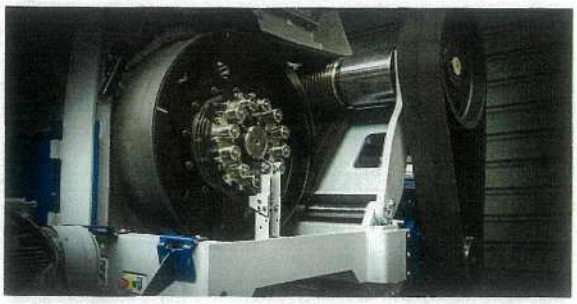
ポラリスは高トルクを特徴とする一軸破砕機です。前処理のされていない家庭ごみ、一般廃棄物、産業廃棄物など、RPF材料をワンステップで50-100mmに破砕することを目的として設計されています。もちろん他の一軸破砕機シリーズが備える特徴を同様に持ち合わせています。ポラリスの最大の特徴は、高トルクにより、RPF原料を1台で大量処理することが可能であることです。

パワフルかつ効率的なシステム

ポラリスに採用されている2段式ベルトドライブが生み出す強力なトルクは、フライホイール11トン分に相当します。

この2段式ベルトにより、部分負荷領域に余分なエネルギーを蓄積することが可能になり、追加電力消費なしにピーク負荷領域で再び解放することが可能となります。

【油圧式スクリーンユニット】
油圧式を採用しているため、ボタン１つでスクリーンにアクセスできます。
スクリーンシートは１枚ずつ分離しているため、作業者１名で簡単かつ素早い交換が可能です。



革新的技術の結晶

【拡張型ホッパーと油圧式プッシャー（内部押し込み装置）】

拡張型ホッパーと油圧式プッシャーを搭載することにより投入効率が向上し、確実に材料がローターに押し出されます。

【ナイフ（回転刃）】

ナイフはネジ止めされているため、作業者１名で簡単に着脱できます。また、ナイフは４回まで使用可能です。

【油圧式メンテナンス用フラップ】

油圧式フラップの採用により、ボタン１つで固定刃や回転刃にアクセスできます。ナイフの交換や異物が混入した際にも、作業員は破砕室に入ることなく、安全に作業ができます。メンテナンス性に優れた設計になっており、破砕機の停止時間を最小限にします。

		Polaris 1800	Polaris 2200	Polaris 2800
寸法				
機械寸法	mm	4705 x 2925 x 4824	5050x 2925 x 4824	6065 x 2925 x 4824
ホッパー開口部	mm	3744 x 2370	4090 x 2370	4779 x 2370
投入口高さ	mm	3473	3473	3473
ホッパー容量	m^3	8	9	10
排出口	mm	960	960	960
総重量	kg	24600	26000	33800
破砕室				
ローター長さ	mm	1770	2115	2805
ローター速度	min^{-1}	112	112	112
ナイフ仕様			側面剪断式	
	mm	172L	172L	172L
ナイフ数	個	50	60	80
スクリーン穴形状			六角形/円形/三日月形	
スクリーンシート数	枚	5	6	8
排出サイズ	mm	40-120	40 - 120	40 - 120
ドライブ				
駆動方式			2段式ベルト	
動力	kW	1x 160	1 x 200	2 x 132
標準装備		インバーター、インバーター用冷却装置（水冷式）、セーフティークラッチ、ホッパー油圧式スクリーン、油圧式メンテナンスフラップ、油圧式プッシャー、制御盤		

KOMET (PK / HP)（コメット）

鋭い切れ味、効率性を備える2次破砕機

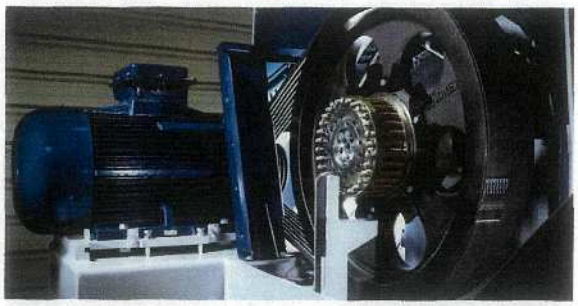
高い処理能力・確かな破砕精度：

リンドナーのコメットは2次破砕機としての新しい基準を作る革新的な破砕機です。一般廃棄物、産業廃棄物、家庭ごみ、粗大ごみ、繊維系、紙系といった様々な材料に対応し、安定した破砕性能を提供し続けます。その秘密は、コメットの堅牢な構造と細部にまでわたる緻密な設計、運用・メンテナンスの簡易化を実現する特徴的な機能にあります。代用燃料の品質向上や様々な目的を効率よく達成する破砕機、それがリンドナーのコメットです。

追及された精密性

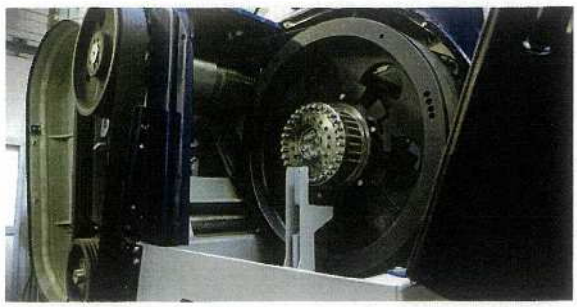
【耐久性に優れた1段式ベルトドライブ】
ローターへ安定した動力を供給します。
コメットの設置に必要な面積を最小限に抑えるとともに、破砕性能の向上を同時に実現しました。ベルトドライブは性能に一切妥協を要せずにコンパクト化を実現し、同様のコンセプトがコメットシリーズ全体に採用されています。

【油圧式スクリーンユニット】
油圧式を採用しているため、ボタン１つでスクリーンにアクセスできます。スクリーンシートは１枚ずつ分離しているため、作業者１名で簡単かつ素早い交換が可能です。



【油圧式メンテナンス用フラップ】

油圧式フラップの採用により、ボタン１つで固定刃や回転刃にアクセスできます。ナイフの交換や異物が混入した際にも、作業員は破砕室に入ることなく、安全に作業ができます。メンテナンス性に優れた設計になっており、破砕機の停止時間を最小限にします。



KOMET PK（パワーコメット）

・コメットと比較し、20％の消費電力削減
・2段式ベルトを採用し、より効率的に動力を破砕機に伝えます。

KOMET HP（ハイパフォーマンス）

・コメットと比較し、最大60％の処理能力向上
・最大250kWのモーターを2基搭載可能

			Komet 1800	Komet 2200	Komet 2800
寸法					
機械寸法	Komet Komet HP Komet PK	mm	4924 x 2925 x 3111 - 4705 x 2925 x 3111	5755 x 2925 x 3111 5813 x 2925 x 3111 5375 x 2925 x 3111	6445 x 2925 3111 6827 x 2925 x 3111 6065 x 2925 x 3111
ホッパー開口部		mm	1790 x 2030	2135 x 2030	2825 x 2030
ホッパー容量		m^3	3,3	4	5,3
排出口		mm	960	960	960
総重量	Komet Komet HP Komet PK	kg	18500 - 20100	22500 23200 25500	26000 29000 29000
破砕室					
ローター長さ		mm	1770	2115	2805
ローター速度	Komet Komet HP Komet PK	min^{-1}	355 - 161 - 264	355 355 161 - 264	367 367 161 - 264
ナイフ仕様			側面剪断式		
スクリーン穴形状			円形/三日月形		
スクリーンシート数		枚	5	6	8
排出サイズ		mm	10 - 150	10 - 150	10 - 150
ドライブ					
駆動方式	Komet Komet HP Komet PK		1段式ベルト - 2段式ベルト	1段式ベルト 1段式ベルト 2段式ベルト	1段式ベルト 1段式ベルト 2段式ベルト
動力	Komet Komet HP Komet PK	kW	1 x 200 - 1 x 200	2 x 132 2 x 200 2 x 132	2 x 160 2 x 250 2 x 160
標準装備			インバーター、インバーター用冷却装置（水冷式）、セーフティークラッチ、ホッパー油圧式スクリーン、油圧式メンテナンスフラップ、油圧式プッシャー、制御盤		

Lindner Recyclingtech

Corporate Headquarters
Villacher Straße 48
9800 Spittal / Drau
Austria

t. +43 4762 2742-0
office@l-rt.com
www.l-rt.com

国内総代理店:

継続可能な高度循環型社会を創造する
株式会社リョーシン
RYOHSHIN

本　社　〒939-2744 富山県富山市婦中町地角600-1
TEL 076(465)6050　FAX 076(465)6112

関東営業所　〒332-0031 埼玉県川口市青木3丁目12番35
TEL 048(299)7800　FAX 048(299)7801

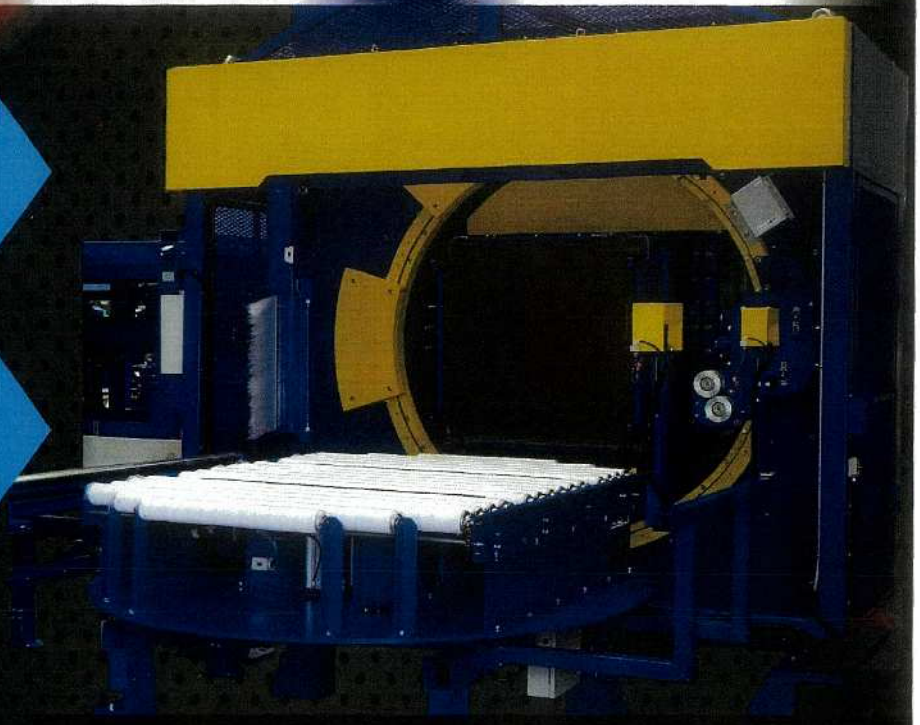
URL http://www.ryohshin.co.jp/

六面フィルム包装機付圧縮梱包機

特許取得済

スパイラルベール

高圧縮　低膨張　低電力



日本MH協会より
第３４回優良MH機器
ならびにシステム大賞受賞

スパイラルベールは、かさばる廃プラや紙類を
1/5～1/12に自動圧縮減容し、
ストレッチフィルムにて六面固縛密封梱包します。

低反発物・水分の多いものでも梱包が可能です。

高圧縮・低膨張・低電力

低圧力で高圧縮を実現出来ることにより、小さな電動機で高処理量が望めます。

投入ワークの性状変動（比重・硬さ）に強い

投入ワークの性状にあわし投入量を自動制御します。

摺動面に耐摩耗鋼を使用

圧縮室内摺動部分には耐磨耗鋼板を使用しておりますので、高寿命です。

１台の機械で六面・四面の２役四面包装のみもございます。

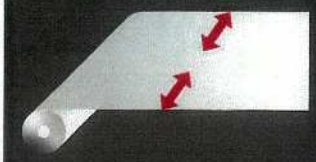
NED
お客様のニーズにお応えする開発型企業
大阪エヌ・イー・ディー・マシナリー株式会社

スパイラルベール主仕様

※1処理量に応じ変更します。　※2処理能力は見掛比重0.02t/㎥の時。
※3処理能力は見掛比重0.03～0.05t/㎥の時。

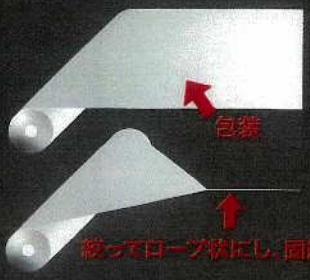
仕様＼機種	CP2-65SB2 (2ロール式固縛包装同時進行型)	CP2-65SB1 (1ロール式固縛包装兼用型)	CP2-65SBF2 (2ロール式固縛包装同時進行型)
圧縮力	65ton		
外形寸法/mm　W×L×H	5,900～7,100 × 8,600～11,500 × 3,100		6,800～7,600 × 9,200～12,100 × 3,300
梱包品寸法/mm	1,000×1,000×1,000　約1～2割膨張有り		1,000×1,000×1,000～1,300 約1～2割膨張有り
1梱包重量	約250～350kg		約250～600kg
梱包方式	2フィルム固縛包装式	1フィルム固縛包装式	2フィルム固縛包装式
ポンプ電動機容量 ※1	22～74kW		22～90kW
処理能力※2	1.3～3.6t/h　※2		1.3～7.5t/h　※3
機械重量	約20,000kg		約23,000kg
梱包方式	2フィルム固縛包装式	1フィルム固縛包装式	2フィルム固縛包装式
処理対象物	廃プラスチック、紙類、PETボトル、一般可燃ゴミ	廃プラスチック、紙類、PETボトル	フラフ燃料、廃プラスチック、紙類、PETボトル、一般可燃ゴミ

梱包方式



（1ロール式）

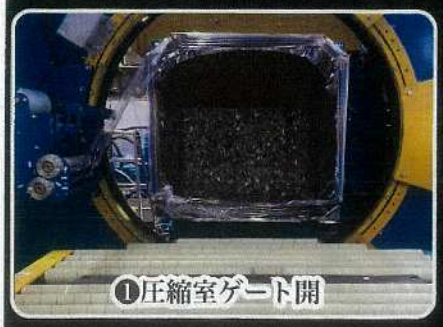
1つのフィルムを開閉させ適時固縛と包装をしていきます。
少ないフィルム使用量での固縛包装を実現します。

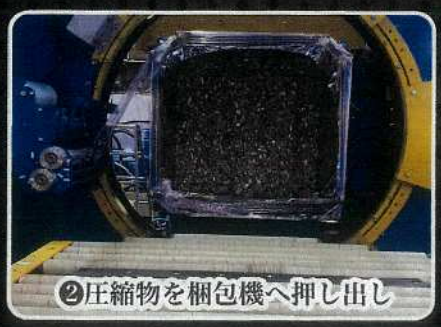


（2ロール式）

2つのフィルムロールにて固縛りと包装を同時にしていきます。
水分の多い物も含め様々な処理物に対応します。

処理工程



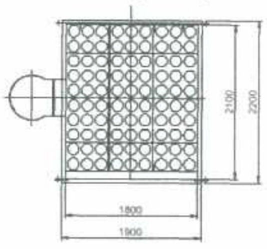


代理店

NED
お客様のニーズにお応えする開発型企業
大阪エヌ・イー・ディー・マシナリー株式会社

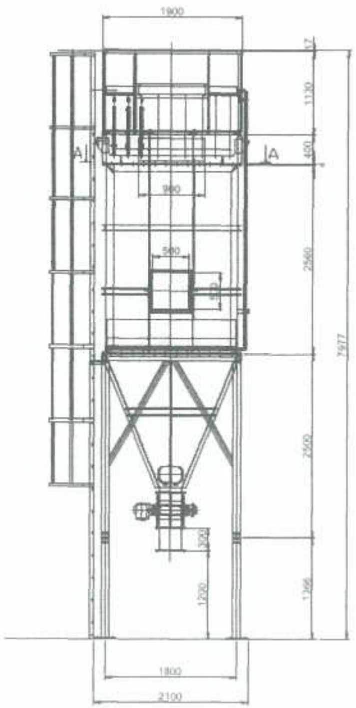
本　　社　〒550-0012 大阪市西区立売堀 2-5-12　Tel. 06-6534-6800　Fax. 06-6534-6868
東京営業所　〒140-0014 東京都品川区大井 1-45-2-402　Tel. 03-5718-0332　Fax. 03-5718-0331
技術本部　〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 3-6-30　Tel. 06-6489-4401　Fax. 06-6489-4408
ホームページ　http://www.ned-machinery.co.jp

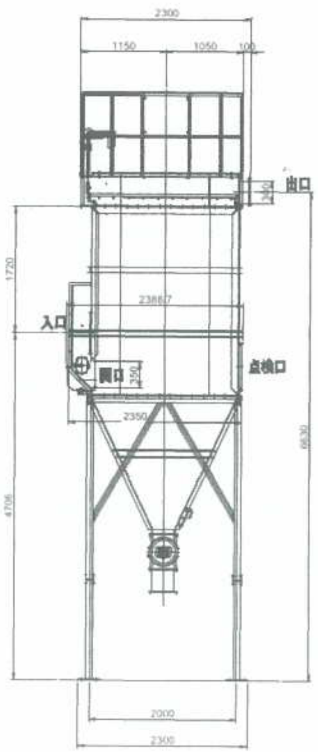
REV.NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	APPROVED
xxx	xxx	xxx	xxx	xxx



A-A

仕	様
型 式	RBF150（仮）
制御電源	AC200V 60Hz
処理風量	150 m³/min
静 圧	−3.7 kPa
本体耐圧	BOX: −4.7kPa , ホッパ: −4.7kPa
ろ布材質	テトロンフェルト
ろ布面積	105 m²
ろ布本数	90 本
払い落し方式	パルスジェット式
〃 サイクル	12sec（標準）
圧縮エアー圧力	Min. 490 kPa
パッキン	エプトシーラー NR. 他





総重量：3,427kg（購入品除く）

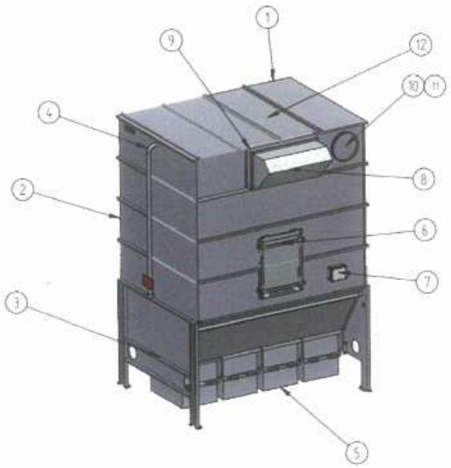
※ 購入品1式（9本）は φ150x2200mm

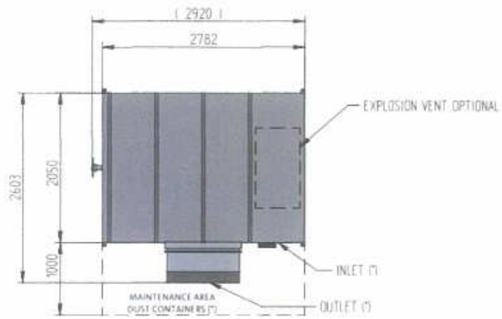
品番	品名	材質	数量		備考
23	排出管	SS400	1	9kg	t2.3
22	（欠番）				
21	（欠番）				
20	点検窓		2	購入品	CMD-P1-N
19	点検窓		1	購入品	CMD-P2-B-N
18	フィルターレギュレータ		1	購入品	25A
17	タラップ	SS400	1	120kg	φ19
16	（欠番）				
15	（欠番）				
14	架台	SS400	1	312kg	H100x100x6x8
13	手摺	SGP	1	89kg	25A
12	吹管	SGP	15	98kg	25A
11	パルスジェットバルブ	CAC	16	購入品	25A（PDV3-25A-3T-AC200V）
10	空気ヘッダー管	SGP	1	53kg	100A
9	リテーナ	SS+Zn	150	購入品	φ150x2500mm ※
8	ろ布	テトロンフ	150本	購入品	φ150x2500mm ※
7	セルプレート	SUS304	1	176kg	t6
6	蓋	SS400	5	130kg	t2.3
5	ロータリーバルブ	SS400	1	購入品	DRM（A）-300（[illegible]0.75kW）
4	（欠番）				
3	ホッパー室	SS400	1	649kg	t4.5
2	吸気室	SS400	1	259kg	t4.5
1	本体	SS400	1	1,284kg	t4.5

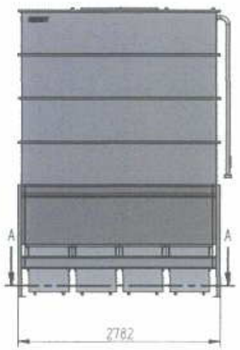
APPROVED	CUSTOMER	JOB NO.
CHECKED		
CHECKED		
DESIGNED	集塵機参考図	
DRAWN		

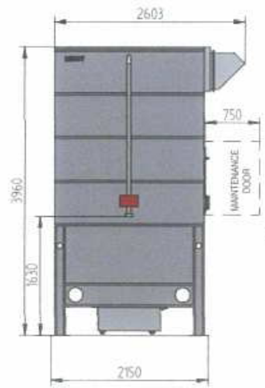
DATE	PROJECTION	SCALE	JOB NO.
XXXX-XX-XX		1/70	XXXX-X
RYOHSHIN CO., LTD.		DRAWING NO. XXXXX-XXX	REV.

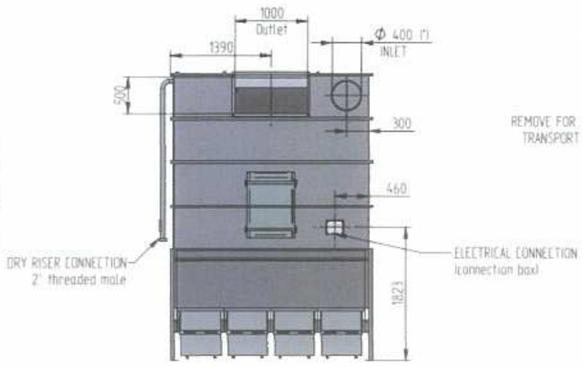
PART LIST	
Pos.	Title
1	Inlet section
2	Filter section
3	Bottom section
4	Dry riser inlet
5	Dust containers with plastic bag
6	Maintenance door
7	Electrical connection box
8	Return air hood
9	Fire valve
10	Inlet diameter
11	Back pressure valve
12	Vibration motor

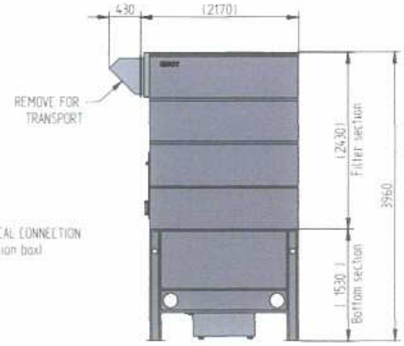


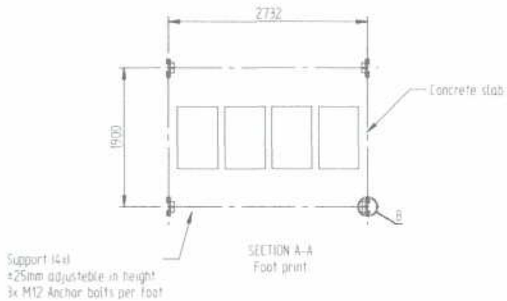


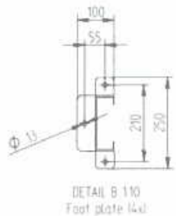












SPECIFICATIONS FILTER UNIT		
Category Industry	Recycling	-
Fine dust fractions	90	%
Max. residual waste fractions <50mm	10	%
Filter surface	78	m²
Capacity	7.800	m³/h
Designed working pressure	2.500	Pa
Number of dust containers (250L)	4	x
Dust explosion class (non explosive)	St0	-
Installed power	0.14	kW
Power supply (*)	400/50 (380/60) (460/60)	VAC/Hz
Inlet diameter (collar flange) (*)	Ø400	mm
Filter cleaning	Mechanical	-
Material filter	Sendzimir mild steel	-
Weigth total - Weigth filter section - Weigth bottom section	1500 950 550	kg kg kg
Fuse in fire valve	95	°C
Dry riser inlet specs - Flow rate - Supply pressure	2500 5	L/min bar
Transport dimensions filter (...) - length - width - height	2x 2920 2170 2430 / 1530	mm mm mm

INSTALLATION REQUIREMENTS	
Location filter	No Zone according to ATEX 153
Support	Level concrete foundation
Waste discharge	Discontinuous, by removeble dust containers
Dry riser connection	Position connector on safe and accessible location, according to local regulation.
Maintenance access	Min. free space in front of maintenance doors and inspection hatches: 750 mm

OPTIONAL DUST EXPLOSION HAZARD	
Dust Explosion Class	St1
Max. pressure rise (Kst value)	100 bar*m/s
Max. explosion pressure (Pmax)	8 bar
Location Outdoors	Explosion pressure wave to save area Explosion pressure vent area up to 20m
Requirements Location Indoors	Explosion duct to outdoors, or or installation of a Flame quencher

PROJECT VARIABLE (*)	
Inlet size	Diameter
Inlet position	Front / Back
Outlet position	Front / Back
Maintenance area dust container	Front / Back
Power supply	Voltage and Hertz
RAL color Airlock	To be determined

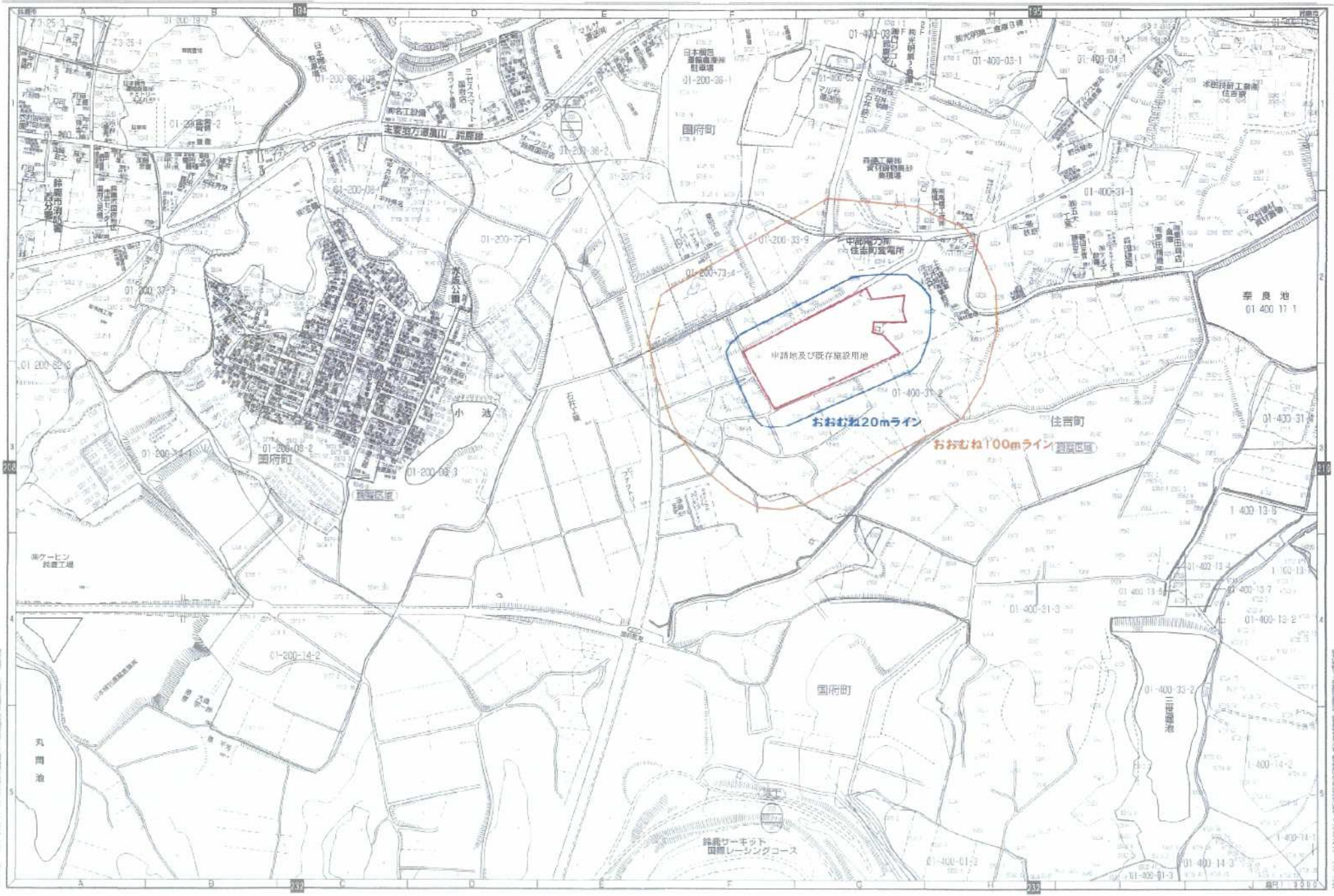
Form- and placetolerance acc. NEN-ISO 1101	General measure- and corner tolerances acc. NEN-ISO 2768-cL	Registration measure tolerances acc. NEN-ISO 406	Roughness acc. NEN 3634	Weldsymbols acc. NEN-ISO 2553

NIHOT®
Airconomy®
Generatorstraat 16 1014 AT Amsterdam
Tel. +31(0)205822030 Fax. +31(0)205822039
E-Mail: info@nihot.nl Website: www.nihot.nl

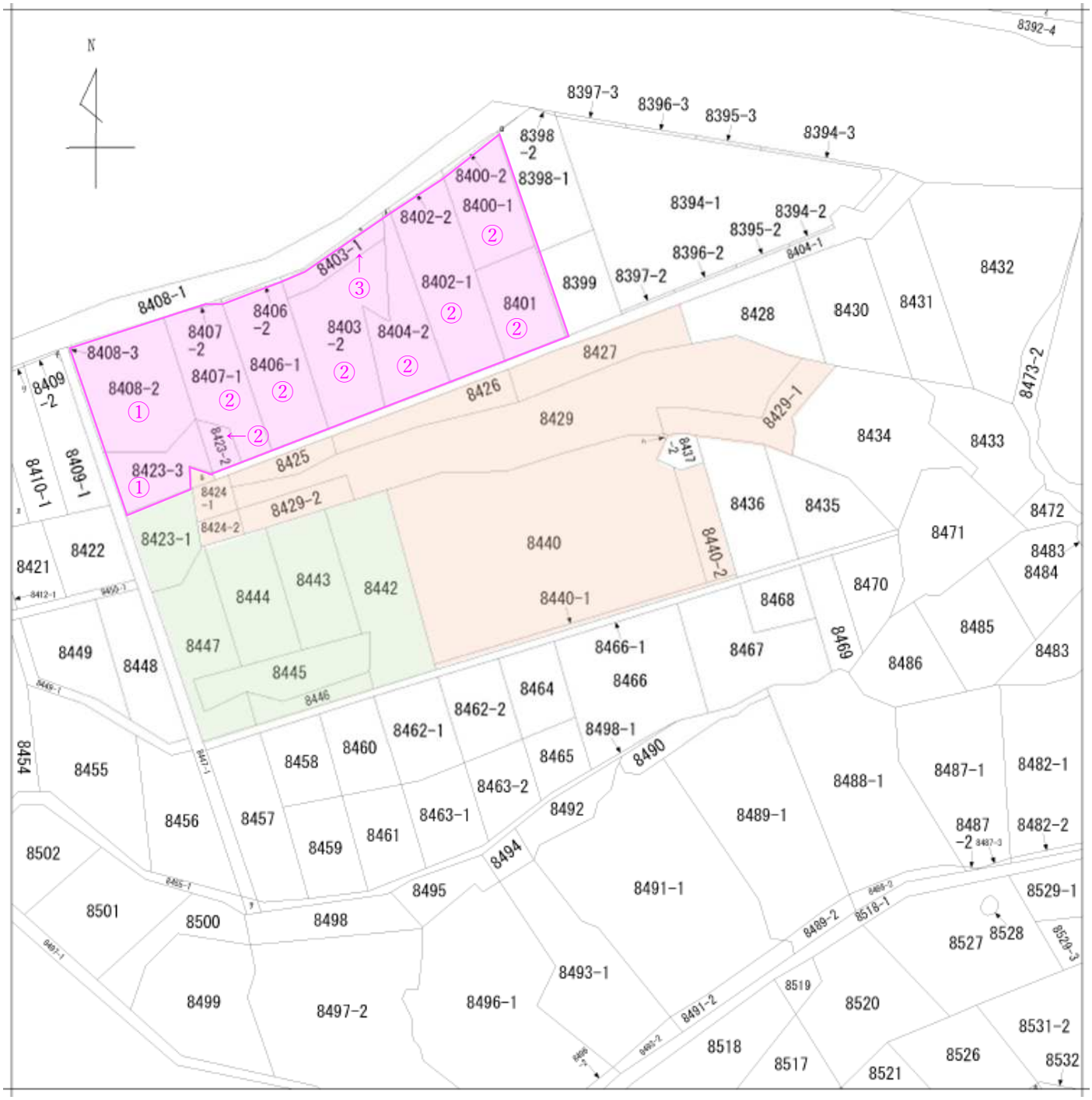
Title: BODY BF78m Filter unit with vertical inlet chamber (NCF2603-1)			
Project: ...			Remarks:
Scale: 1:50	Drawn by: ng	Date: 24-5-2019	Projection
Measurement: mm	Last edited by: cv	Date: 1-10-2019	
Drawing nr: T007084-A	Project nr: Template	Status: Available / Weight:	Size: A2
			Sheet: 1 / 1

THIS DRAWING IS ISSUED ON CONDITION THAT IT IS NOT COPIED, REPRODUCED OR DISCLOSED TO A THIRD PARTY WITHOUT THE WRITTEN CONSENT OF NIHOT RECYCLING TECHNOLOGY BV

付近見取図


申請地及び既存施設用地
おおむね20mライン
おおむね100mライン
国府町
住吉町
奈良池
丸岡池
鈴鹿サーキット
国際レーシングコース

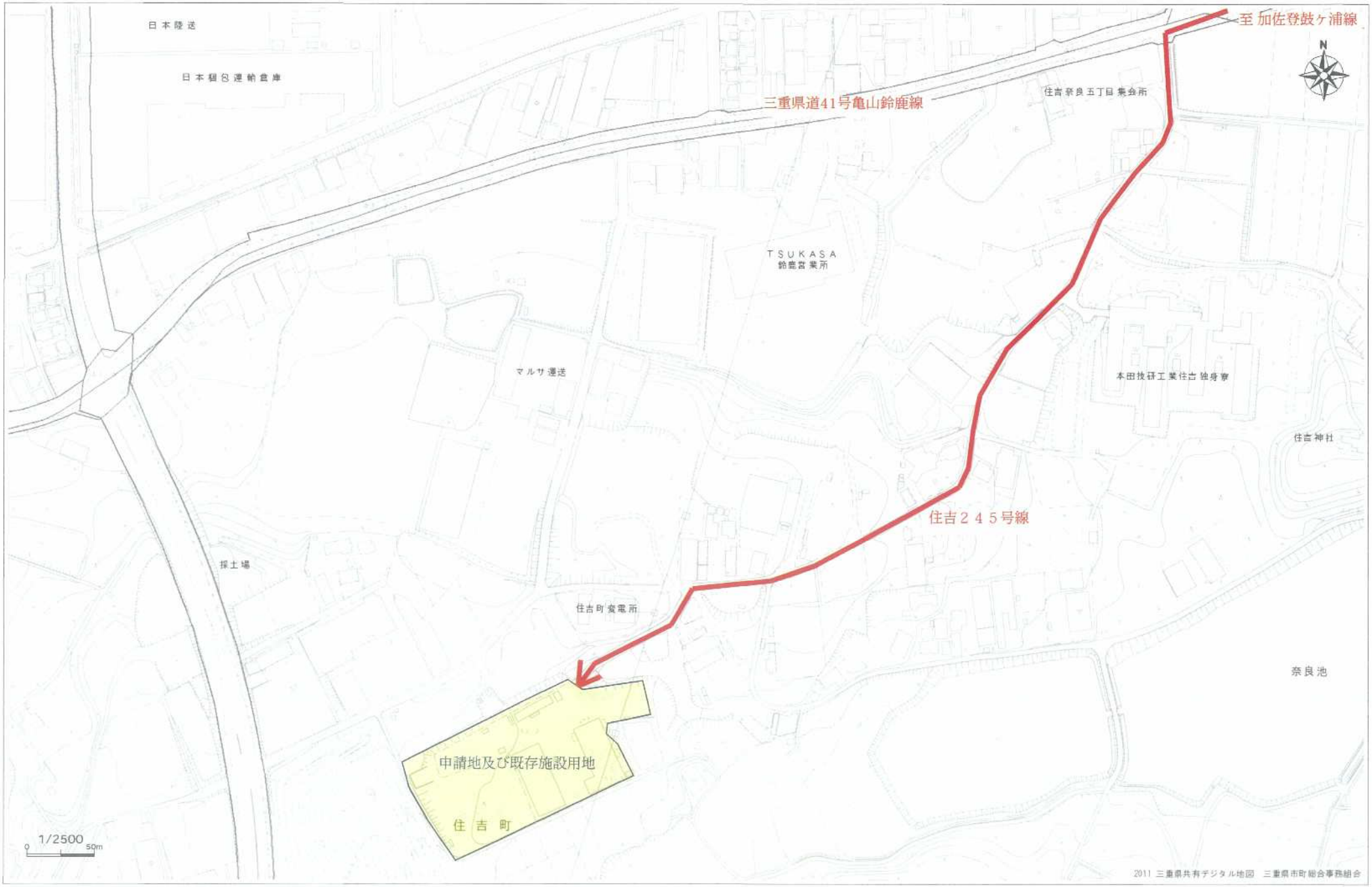
駐車場位置図



駐車場　申請地　既存施設用地

① 鈴鹿リサイクルセンター
② (株)フジコウ
③ 下田徳重

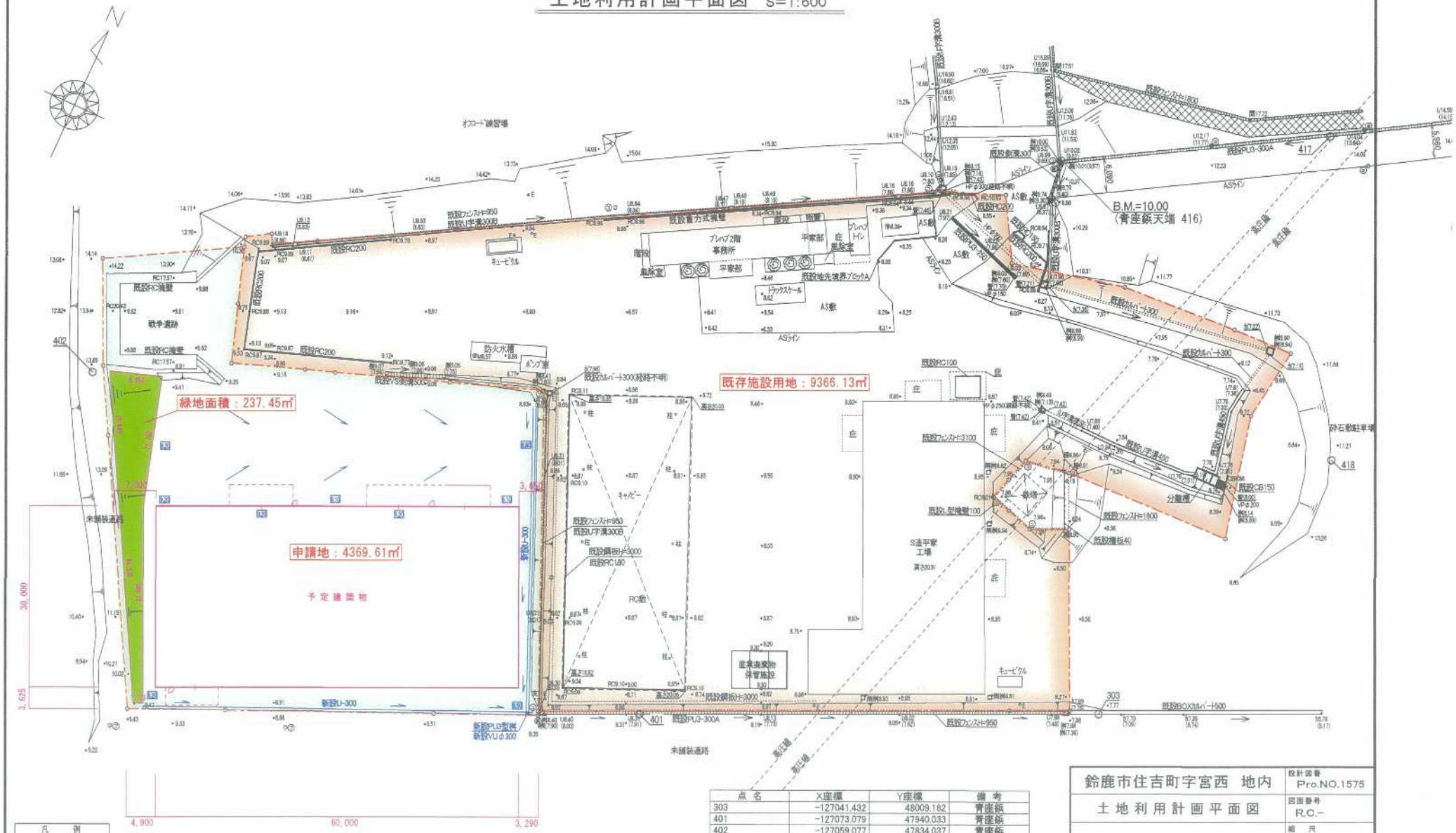
搬入道路 ➡



地形図は三重県市町総合事務組合「2011 三重県共有デジタル地図（数値地形図2500（道路縁1000））」を使用。（平成25年8月1日三総合地第100号）

印刷日: 令和5年4月17日

土地利用計画平面図 S=1:600



凡例	
E	電柱
支	支線
雨	雨水
汚	汚水
M	マンホール
浄	浄化槽
カ	カルバート

境界点	境界標の種類
④	金属プレート
⑤	コンクリート杭
⑦	プラスチック杭
⑧	鋲

※緑地面積：4369.61㎡×5/100＝218.48㎡以上必要

点名	X座標	Y座標	備考
303	−127041.432	48009.182	青座鋲
401	−127073.079	47940.033	青座鋲
402	−127059.077	47834.037	青座鋲
413	−126905.210	47939.984	青座鋲
414	−126907.519	47998.456	青座鋲
415	−126905.497	48056.820	青座鋲
416	−126960.475	47965.463	青座鋲
417	−126938.388	48004.317	青座鋲
418	−126987.137	48026.775	青座鋲

鈴鹿市住吉町字宮西 地内			設計図番 Pro.NO.1575
土地利用計画平面図			図面番号 R.C.−
			縮尺 1:600
検調	担当	製図	設計年月日 R5.5.10.

鈴鹿市神戸本多町708番地
行政書士 田 中 常 保

三重県地図情報印刷サービス

2023/4/26 18:00:00

1:2,257

0 0.02 0.04 0.09 mi

0 0.04 0.07 0.14 km

Source: Esri, Maxar, Earthstar Geographics, and the GIS User Community

三重県
Earthstar Geographics |

計 画 地 の 一 覧 表

		所在・地番	所有者	使用者	地目	面積（㎡）		法令等による地域・地区の指定状況	
						公簿	実測	法令名等	地域・地区名
計画地	1	鈴鹿市住吉町字宮西8423-1	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	553	553.42	都市計画法	市街化調整区域
	2	鈴鹿市住吉町字宮西8442	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	899	874.24	都市計画法	市街化調整区域
	3	鈴鹿市住吉町字宮西8443	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	737	733.49	都市計画法	市街化調整区域
	4	鈴鹿市住吉町字宮西8444	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	671	667.53	都市計画法	市街化調整区域
	5	鈴鹿市住吉町字宮西8445	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	495	492.32	都市計画法	市街化調整区域
	6	鈴鹿市住吉町字宮西8446	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	198	193.80	都市計画法	市街化調整区域
	7	鈴鹿市住吉町字宮西8447	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	鈴鹿ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ有限会社	原野	958	854.79	都市計画法	市街化調整区域

地目別面積	地目	原野	地目	—	地目	—	合計	
	公簿	4,511 ㎡	公簿	㎡ —	公簿	㎡ —	公簿	4,511 ㎡
	実測	4,369.61 ㎡	実測	㎡ —	実測	㎡ —	実測	4,369.61 ㎡

２０２１／１０／１５　１７：１７　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）		調製	余　白	不動産番号	１９０６００１１２６１９０
地図番号	余　白	筆界特定	余　白		
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西			余　白	
①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕	
８４２３番	原野	７３６：：		不詳 〔平成１６年３月２５日〕	
８４２３番１	余　白	７０９：：		①③８４２３番１、８４２３番２に分筆 〔平成１６年１１月１日〕	
余　白	余　白	５５３：：		③８４２３番１、８４２３番３に分筆 〔平成２１年３月１３日〕	
所　有　者	農　林　水　産　省				

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権保存	平成１６年１０月１日 第１４４０２号	所有者　農　林　水　産　省
付記１号	１番登記名義人名称変更	平成１９年８月２日 第１０４４５号	原因　平成１８年２月９日所管換 所有者　財務省
２	所有権移転	平成１９年８月２日 第１０４４６号	原因　平成１９年７月１３日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０１　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６７５
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
８４４２番	原野	８９９：	余　白
余　白	余　白	余　白 ：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権移転	平成８年９月２６日 第１９４１０号	原因　平成８年９月１９日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位２番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（乙　区）　（所　有　権　以　外　の　権　利　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	根抵当権設定	平成８年９月２６日 第１９４１１号	原因　平成８年９月１９日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北　伊　勢　信　用　金　庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位１番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北　伊　勢　上　野　信　用　金　庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０１　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６７６
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西		余　白	

①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
８４４３番	原野	７３７：	余　白
余　白	余　白	余　白 ：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権移転	平成８年７月２２日 第１５１７５号	原因　平成８年７月１８日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位５番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（乙　区）　（所　有　権　以　外　の　権　利　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	根抵当権設定	平成８年７月２２日 第１５１７６号	原因　平成８年７月１８日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北　伊　勢　信　用　金　庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位４番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北　伊　勢　上　野　信　用　金　庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０１　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）		調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６７７
地図番号	余　白	筆界特定	余　白		
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西			余　白	
①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕	
８４４４番	原野	６７１：		余　白	
余　白	余　白	余　白	： ： ：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日	

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権移転	平成８年７月２２日 第１５１７５号	原因　平成８年７月１８日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位５番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（乙　区）　（所　有　権　以　外　の　権　利　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	根抵当権設定	平成８年７月２２日 第１５１７６号	原因　平成８年７月１８日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北　伊　勢　信　用　金　庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位４番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北　伊　勢　上　野　信　用　金　庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０２　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）		調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６７８
地図番号	余　白	筆界特定	余　白		
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西			余　白	
①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡		原因及びその日付〔登記の日付〕	
８４４５番	畑	４９５：		余　白	
余　白	原野	余　白	：	②昭和４８年５月１０日変更 〔昭和４８年５月１９日〕	
余　白	余　白	余　白	：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日	

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権移転	平成８年７月２２日 第１５１７５号	原因　平成８年７月１８日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位５番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（乙　区）　（所　有　権　以　外　の　権　利　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	根抵当権設定	平成８年７月２２日 第１５１７６号	原因　平成８年７月１８日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北　伊　勢　信　用　金　庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位４番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北　伊　勢　上　野　信　用　金　庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０２　現在の情報です。

表題部　（土地の表示）	調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６７９
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所在	鈴鹿市住吉町字宮西		余白	

①地番	②地目	③地積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
８４４６番	原野	１９８：	余白
余白	余白	余白 ： ： ：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権利部（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
１	所有権移転	平成８年７月２２日 第１５１７５号	原因　平成８年７月１８日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位５番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権利部（乙区）　（所有権以外の権利に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
１	根抵当権設定	平成８年７月２２日 第１５１７６号	原因　平成８年７月１８日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北伊勢信用金庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位４番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北伊勢上野信用金庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

２０２１／１０／１３　１８：０２　現在の情報です。

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年８月６日	不動産番号	１９０６０００１９７６８０
地図番号	余　白	筆界特定	余　白	
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西		余　白	

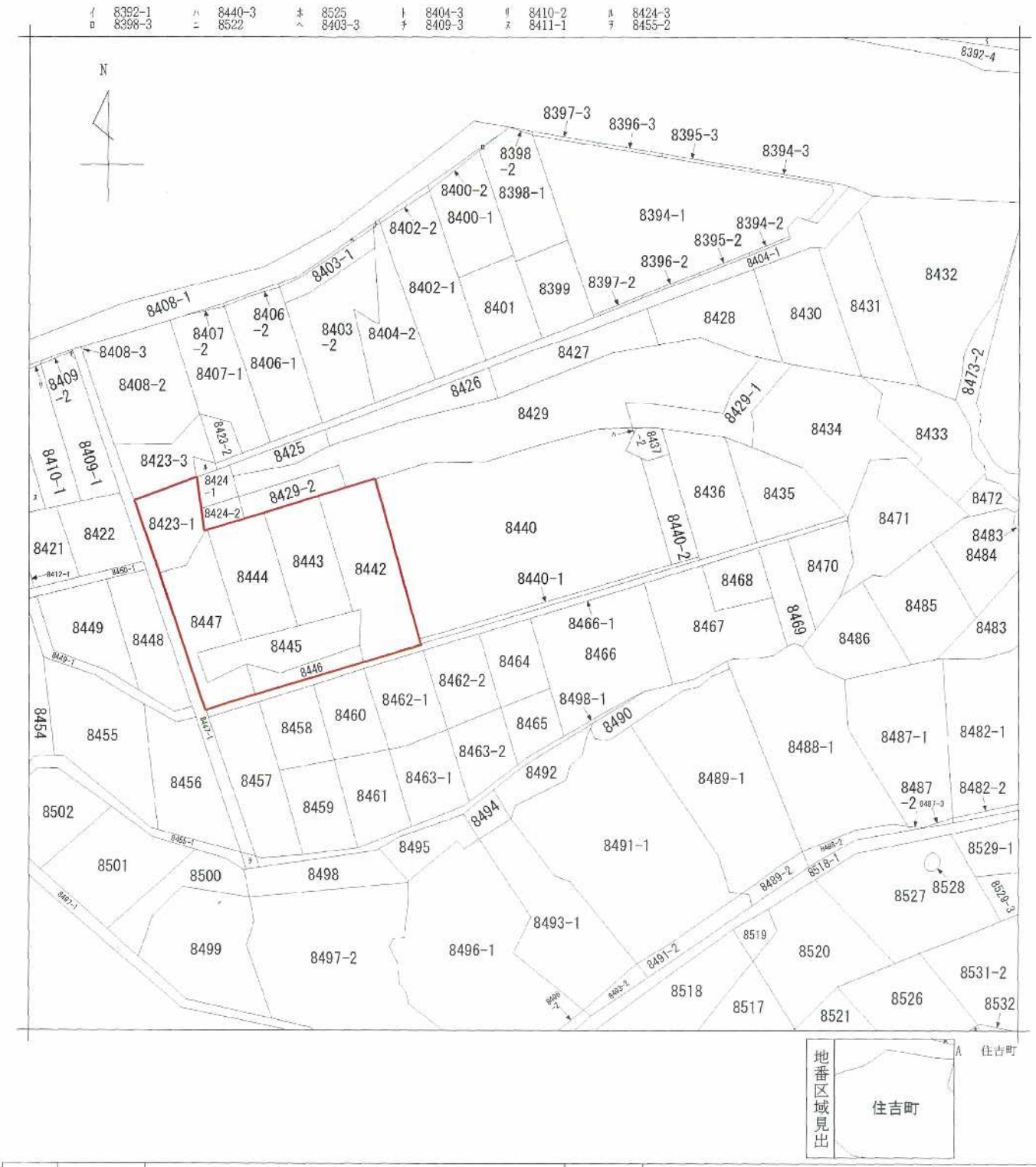
①　地　番	②地　目	③　地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
８４４７番	原野	９５８：	余　白
余　白	余　白	余　白 ：	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	所有権移転	平成８年７月２２日 第１５１７５号	原因　平成８年７月１８日売買 所有者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 順位５番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２３号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 本店　鈴鹿市住吉町８４４０番地
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

権　利　部　（乙　区）　（所　有　権　以　外　の　権　利　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
１	根抵当権設定	平成８年７月２２日 第１５１７６号	原因　平成８年７月１８日設定 極度額　金３億５，０００万円 債権の範囲　信用金庫取引　手形債権　小切手債権 債務者　鈴鹿市住吉町８４２９番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 根抵当権者　四日市市安島二丁目２番３号 北　伊　勢　信　用　金　庫 共同担保　目録(き)第７０７０号 順位４番の登記を移記
付記１号	１番登記名義人表示変更	平成１８年７月１４日 第１１３２４号	原因　平成１６年１月１９日名称変更 名称　北　伊　勢　上　野　信　用　金　庫
付記２号	１番根抵当権変更	平成１８年７月１４日 第１１３２５号	原因　平成１８年３月２７日本店移転 債務者　鈴鹿市住吉町８４４０番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	余　白	余　白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年８月６日

＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

表示年月日：2022／12／09

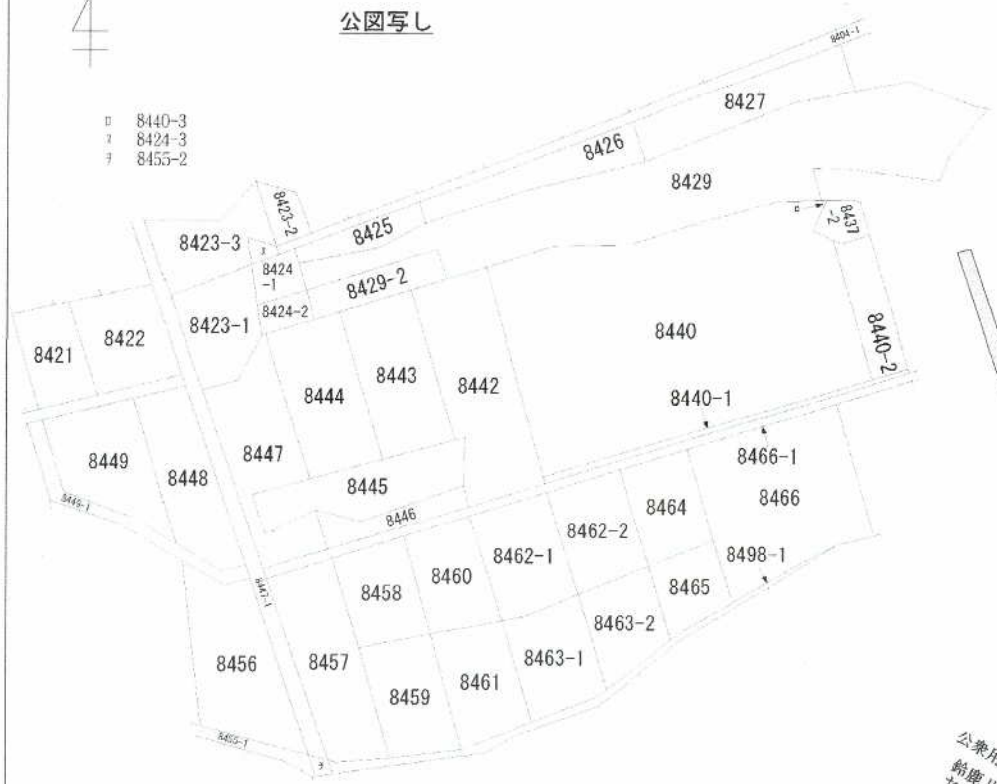


請求部分	所在	鈴鹿市住吉町字宮西				地番	8440番		
出力縮尺	1/1200	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日（原図）	昭和59年7月2日	補記事項			

地籍情報図

※ 左公図写しを１２０％拡大
※ 土地所有者敬称略

公図写し



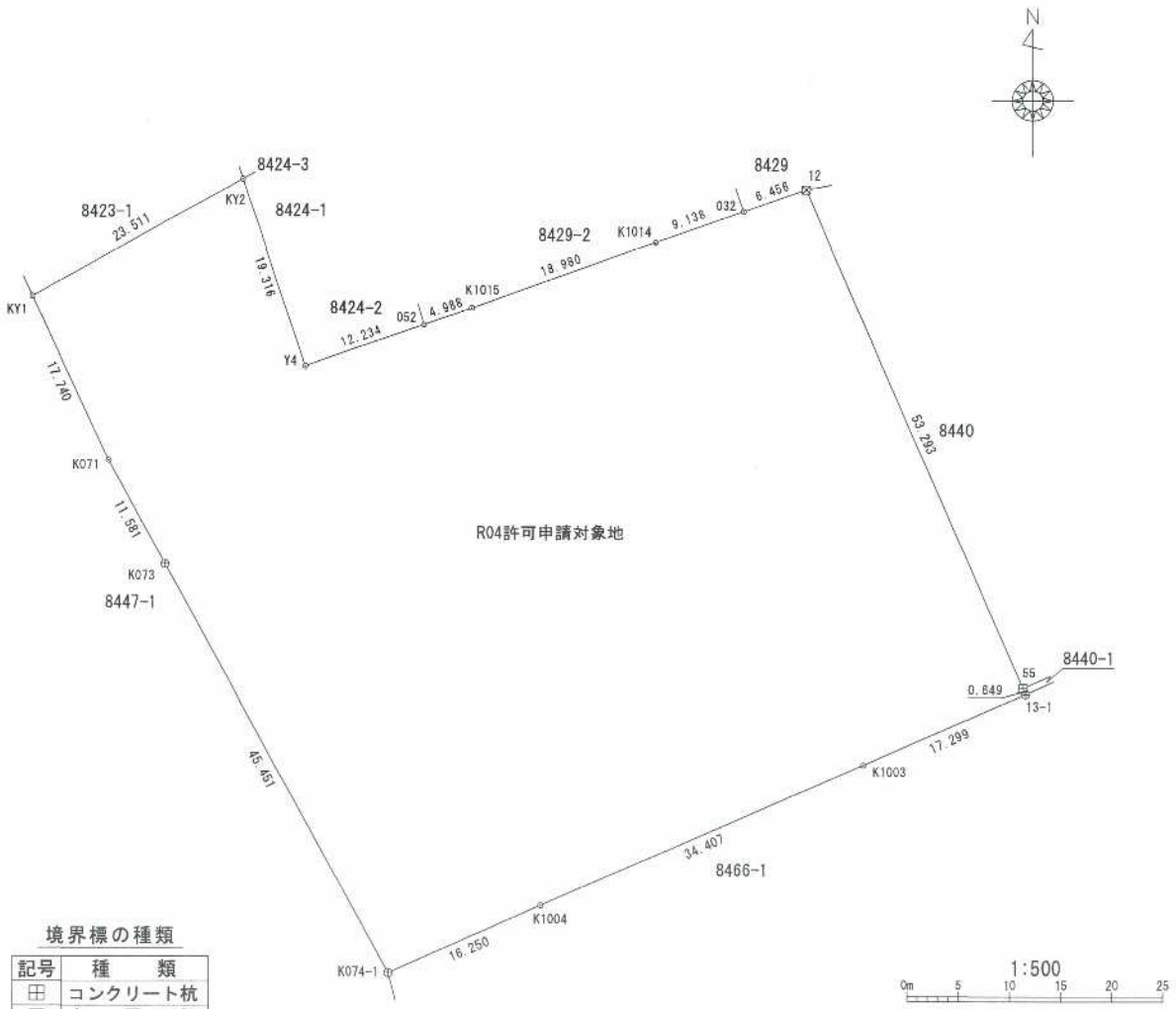
公図の表示

所在	鈴鹿市住吉町字宮西
分類	地図に準ずる図面
種類	旧土地台帳附属地図
縮尺	１／１２００

令和３年１０月１５日謄写

図面の名称	地籍情報図		
所在	鈴鹿市住吉町字宮西		
縮尺	別途記載	図面番号	
作成年月日	令和3年10月15日	データ番号	S1R03043
作成者	鈴鹿市神戸一丁目19番25号北栄ビル306 土地家屋調査士 前田佳昭		

許可申請対象地求積図



境界標の種類

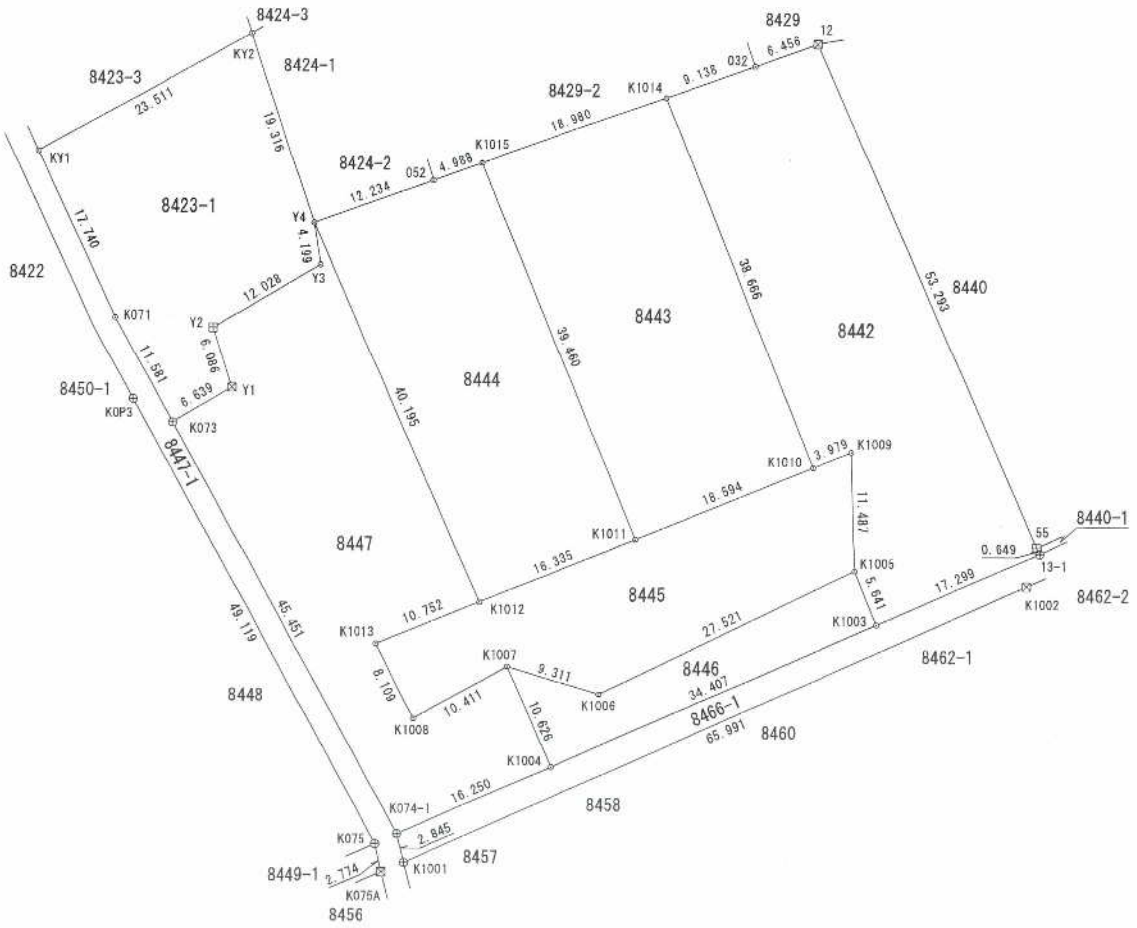
記号	種類
⊞	コンクリート杭
□	金属標
⊠	プラスチック杭
⊕	金属鋲
⊙	計算点

座標求積表

地番	R04許可申請対象地		
測点	Xn	Yn	(Xn+1 − Xn−1)Yn
KY2	−127029.815	47848.251	327664.822848
KY1	−127041.284	47827.727	−1318132.156120
K071	−127057.375	47835.195	−1256152.220700
K073	−127067.544	47840.737	−2395098.657168
K074-1	−127107.439	47862.513	−1598320.759122
K1004	−127100.938	47877.406	970283.509996
K1003	−127087.173	47908.940	991044.332840
13-1	−127080.252	47924.794	360202.751704
55	−127079.657	47924.534	2369005.564688
12	−127030.820	47903.200	2236073.472800
032	−127032.978	47897.115	−249639.763380
K1014	−127036.032	47888.502	−450056.141796
K1015	−127042.376	47870.614	−383491.488754
052	−127044.043	47865.913	−275516.195228
Y4	−127048.132	47854.383	680872.161324
		倍面積	8739.233932
		面積	4369.6169660
		実測	4369.61 ㎡

図面の名称	許可申請対象地求積図		
所在	鈴鹿市住吉町字宮西		
縮尺	1/500	図面番号	
作成年月日	令和4年9月11日	データ番号	S1R03043
作成者	鈴鹿市神戸一丁目19番25号北栄ビル306 土地家屋調査士 前田佳昭		

許可申請対象地各筆求積図



N

1:500

0m 5 10 15 20 25

境界標の種類

記号	種類
⊞	コンクリート杭
□	金属標
☒	プラスチック杭
⊕	金属鋲
⊙	計算点

図面の名称	許可申請対象地各筆求積図		
所在	鈴鹿市住吉町字宮西		
縮尺	1/500	図面番号	
作成年月日	令和4年9月11日	データ番号	S1R03043
作成者	鈴鹿市神戸一丁目19番25号北栄ビル306 土地家屋調査士 前田佳昭		

許可申請対象地各筆求積図

座　標　求　積　表

地　番	8423-1		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
KY2	-127029.815	47848.251	327664.822848
KY1	-127041.284	47827.727	-1318132.156120
K071	-127057.375	47835.195	-1256152.220700
K073	-127067.544	47840.737	-324312.356123
Y1	-127064.154	47846.445	440235.140445
Y2	-127058.343	47844.637	568059.375101
Y3	-127052.281	47855.026	488647.670486
Y4	-127048.132	47854.383	1075096.568478
		倍　面　積	1106.844415
		面　積	553.4222075
		実　測	553.42　㎡

地　番	8442		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
12	-127030.820	47903.200	2236073.472800
032	-127032.978	47897.115	-249639.763380
K1014	-127036.032	47888.502	-1865688.149418
K1010	-127071.937	47902.851	-1648816.131420
K1009	-127070.452	47906.542	-478969.606916
K1005	-127081.935	47906.847	-801050.388687
K1003	-127087.173	47908.940	80630.746020
13-1	-127080.252	47924.794	360202.751704
55	-127079.657	47924.534	2369005.564688
		倍　面　積	1748.495391
		面　積	874.2476955
		実　測	874.24　㎡

地　番	8443		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
K1014	-127036.032	47888.502	1415632.007622
K1015	-127042.376	47870.614	-2051112.198058
K1011	-127078.879	47885.602	-1415546.280722
K1010	-127071.937	47902.851	2052493.456797
		倍　面　積	1466.985639
		面　積	733.4928195
		実　測	733.49　㎡

地　番	8444		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
K1015	-127042.376	47870.614	1667620.709304
052	-127044.043	47865.913	-275516.195228
Y4	-127048.132	47854.383	-1958871.313722
K1012	-127084.977	47870.448	-1471872.664656
K1011	-127078.879	47885.602	2039974.530802
		倍　面　積	1335.066500
		面　積	667.5332500
		実　測	667.53　㎡

地　番	8445		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
K1009	-127070.452	47906.542	478969.606916
K1010	-127071.937	47902.851	-403677.325377
K1011	-127078.879	47885.602	-624428.250080
K1012	-127084.977	47870.448	-484065.970176
K1013	-127088.991	47860.473	-540057.577332
K1008	-127096.261	47864.064	-105588.125184
K1007	-127091.197	47873.160	112597.672320
K1006	-127093.909	47882.067	443483.704554
K1005	-127081.935	47906.847	1123750.910079
		倍　面　積	984.645720
		面　積	492.3228600
		実　測	492.32　㎡

地　番	8446		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
K1005	-127081.935	47906.847	-322700.521392
K1006	-127093.909	47882.067	-443483.704554
K1007	-127091.197	47873.160	-336500.441640
K1004	-127100.938	47877.406	192658.681744
K1003	-127087.173	47908.940	910413.586820
		倍　面　積	387.600978
		面　積	193.8004890
		実　測	193.80　㎡

地　番	8447		
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 － Xn-1)Yn
Y4	-127048.132	47854.383	1564646.906568
Y3	-127052.281	47855.026	-488647.670486
Y2	-127058.343	47844.637	-568059.375101
Y1	-127064.154	47846.445	-440235.140445
K073	-127067.544	47840.737	-2070786.301045
K074-1	-127107.439	47862.513	-1598320.759122
K1004	-127100.938	47877.406	777624.828252
K1007	-127091.197	47873.160	223902.769320
K1008	-127096.261	47864.064	105588.125184
K1013	-127088.991	47860.473	540057.577332
K1012	-127084.977	47870.448	1955938.634832
		倍　面　積	1709.595289
		面　積	854.7976445
		実　測	854.79　㎡

合　計　4369.6169660

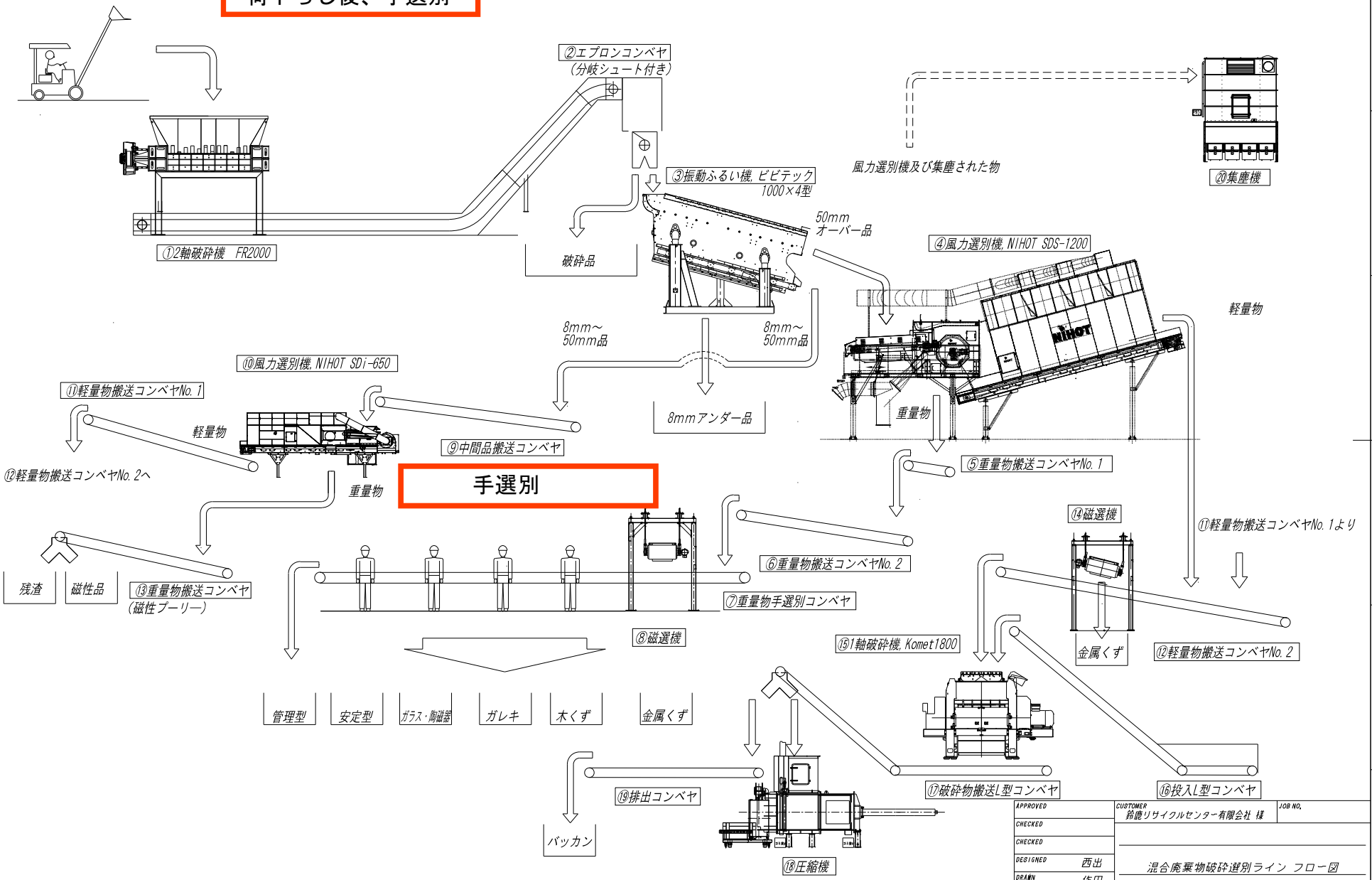
図面の名称	許可申請対象地各筆求積図		
所　在	鈴鹿市住吉町字宮西		
縮　尺	1/500	図面番号	
作成年月日	令和４年９月１１日	データ番号	S1R03043
作　成　者	鈴鹿市神戸一丁目１９番２５号北栄ビル３０６ 土地家屋調査士　前　田　佳　昭		

N
8424-3
8423-3
8424-1
8429-2
8429
8424-2
8423-1
8422
8443
8442
8444
8450-1
8447-1
8447
8445
8446
8448
8440-1
8462-2
8462-1
8460
8458
8457
8456
KY1
KY2
K071
K073
K1014
K1015
K1009
K1010
K1011
K1012
K1013
K1007
K1006
K1008
K1004
K1005
K1003
K1002
K074-1
K075
1:500
0m 5 10 15 20 25
許可申請対象地
各筆求積図附図
縮尺＝1／500
Date: 22 . 09 . 11

設備番号（添付資料一覧表の〇付き番号と対応）、イメージ図

REV NO.	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	APPROVED
xxx	xxx	xxx	xxx	xxx

荷下ろし後、手選別

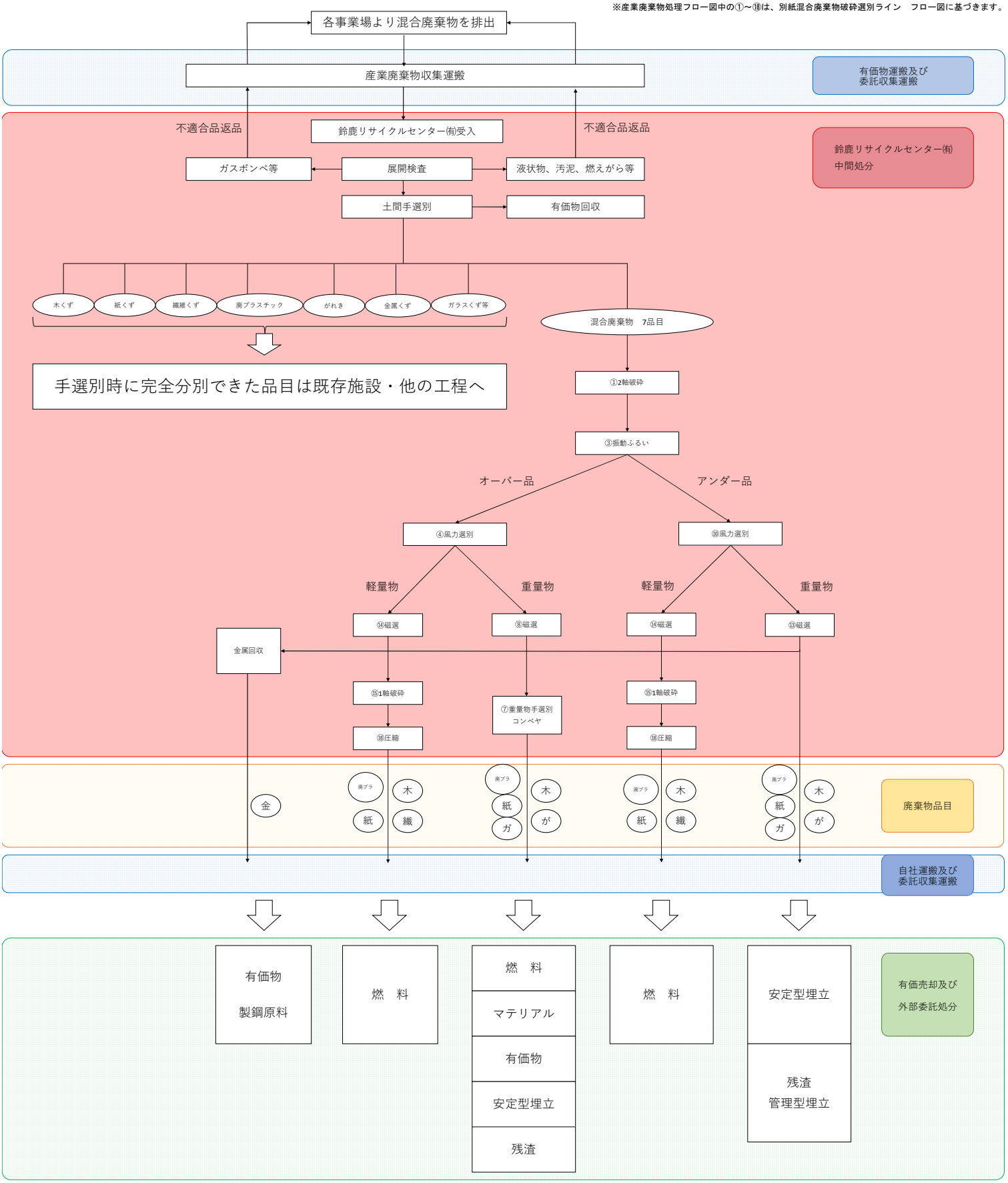


APPROVED		CUSTOMER 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 様	JOB NO.
CHECKED			
CHECKED			
DESIGNED	西出	混合廃棄物破砕選別ライン　フロー図	
DRAWN	作田		
DATE 2021-04-19	PROJECTION	SCALE 1/xxx	JOB NO. xxxxx-x
RYOHSHIN CO., LTD.		DRAWING NO. xxxxx-x-xxxx-xxxx	REV.

【破砕・ふるい・風力選別・破砕・圧縮】①～⑱　2軸破砕機→振動ふるい機→風力選別機→1軸破砕機→圧縮機

産業廃棄物処理フロー図（鈴鹿リサイクルセンター有限会社）

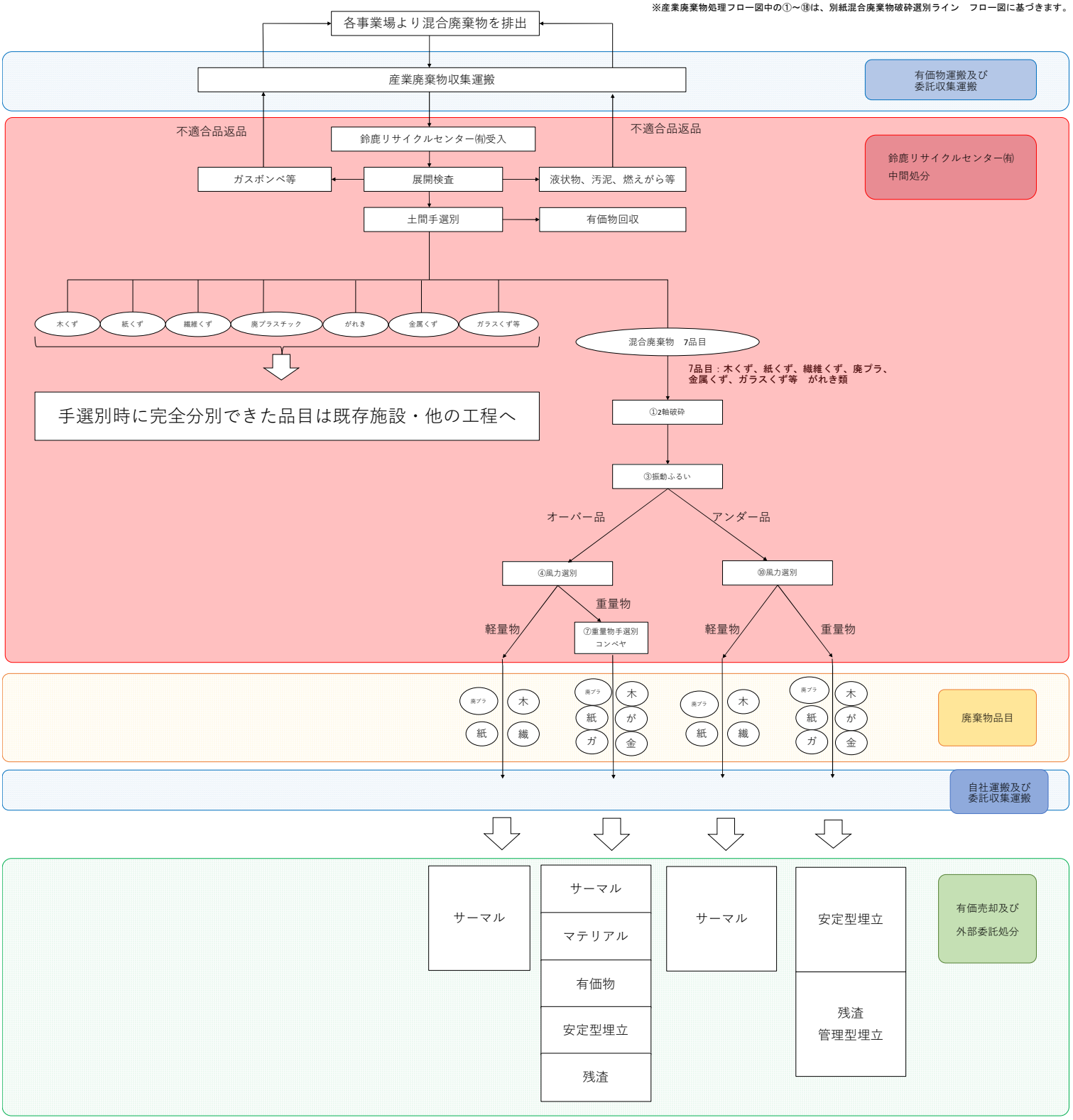
※産業廃棄物処理フロー図中の①～⑱は、別紙混合廃棄物破砕選別ライン　フロー図に基づきます。



【破砕・ふるい・風力選別】①③→④⑩　2軸破砕機→振動ふるい機→風力選別機

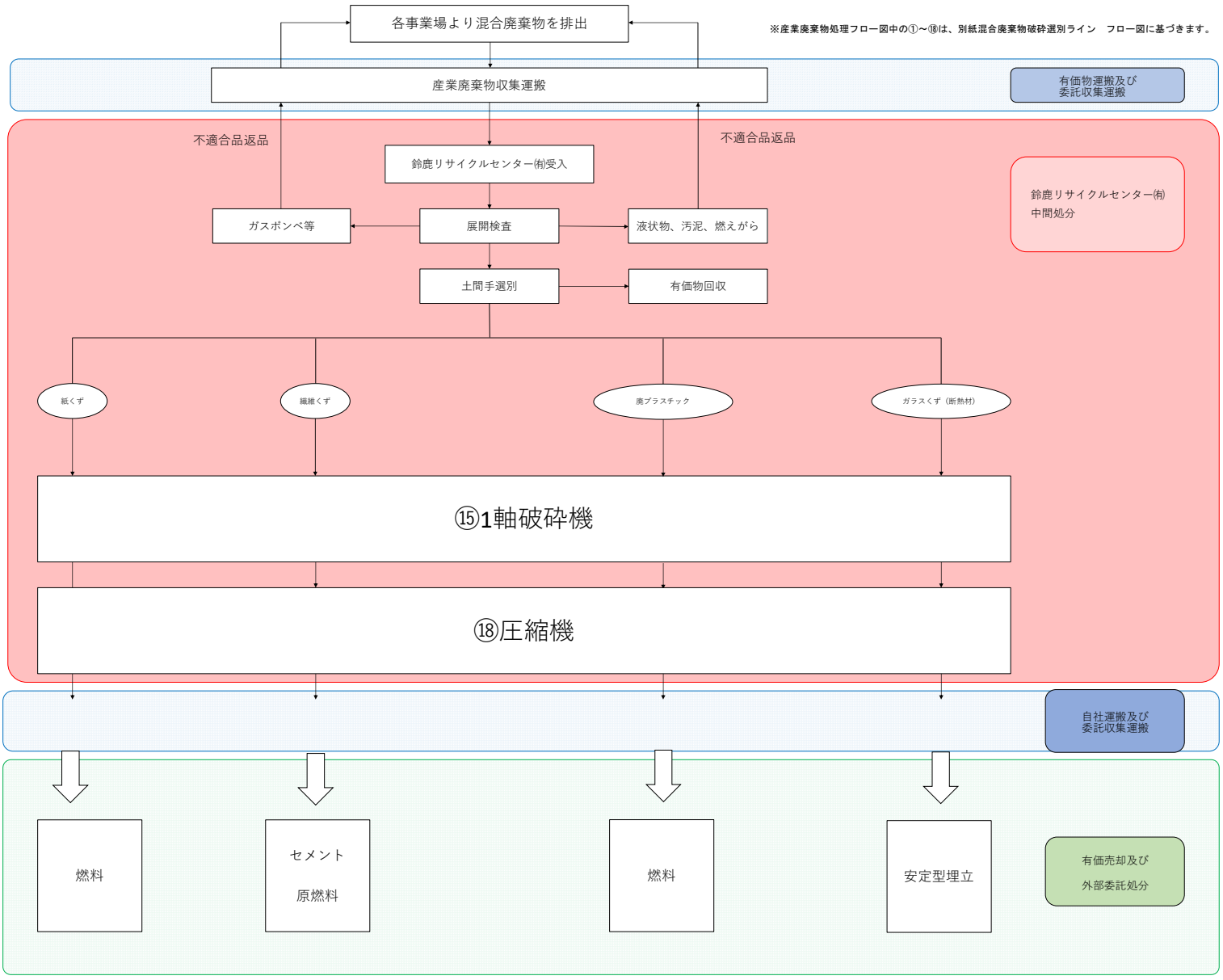
産業廃棄物処理フロー図（鈴鹿リサイクルセンター有限会社）

※産業廃棄物処理フロー図中の①～⑱は、別紙混合廃棄物破砕選別ライン　フロー図に基づきます。



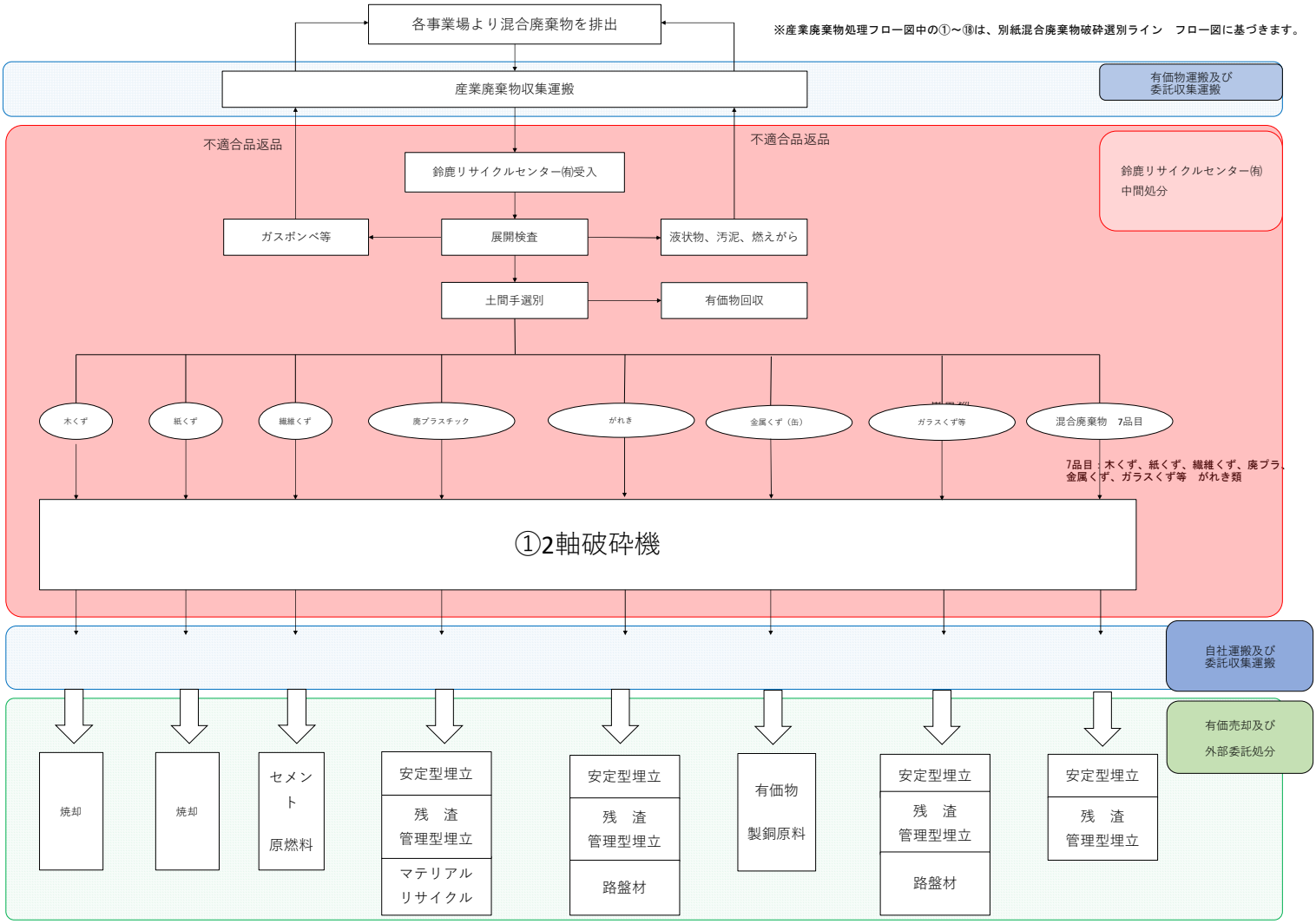
【破砕・圧縮】⑮→⑱1軸破砕機→圧縮機

産業廃棄物処理フロー図（鈴鹿リサイクルセンター有限会社）



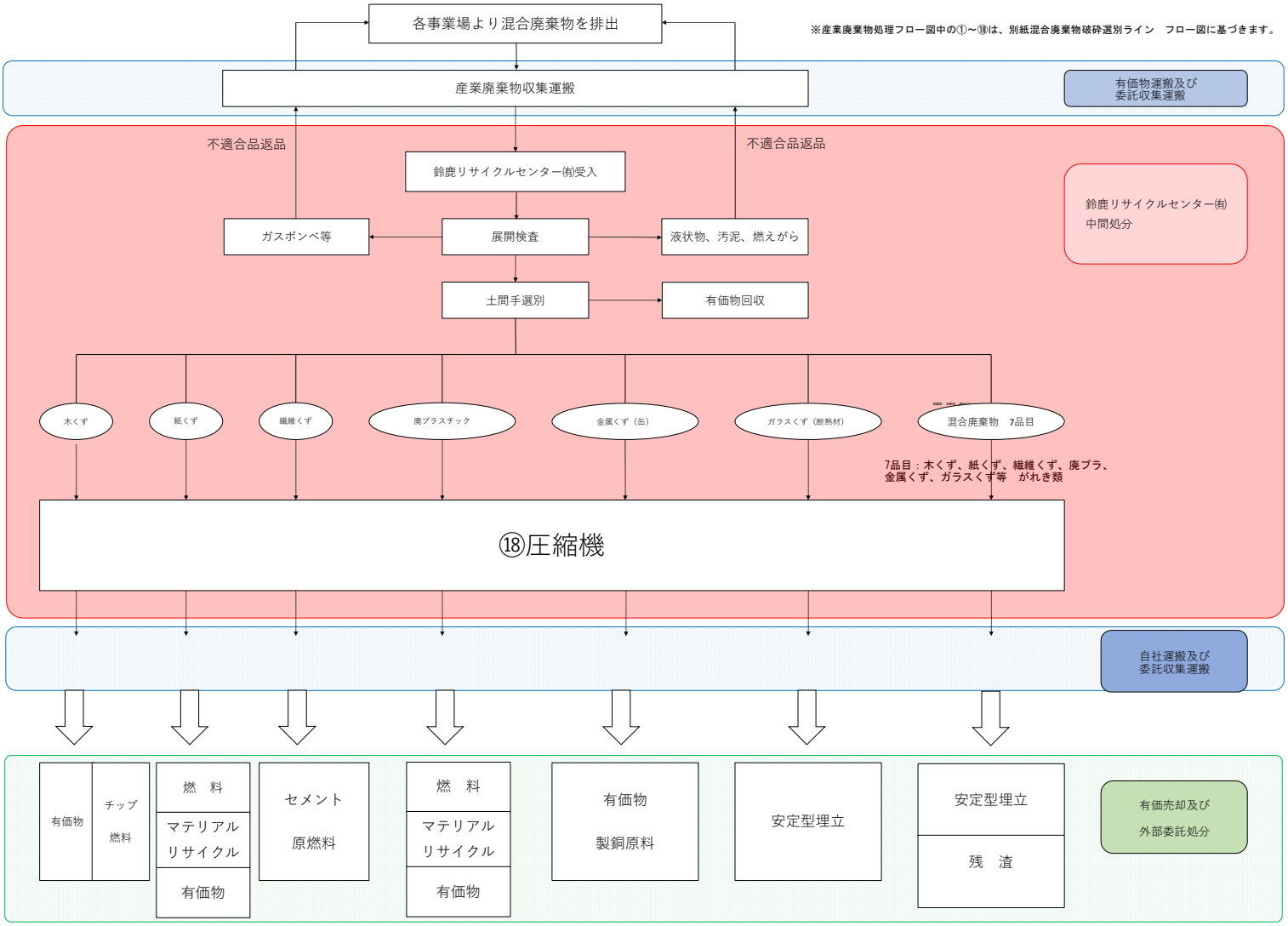
【破砕】2軸破砕機①

産業廃棄物処理フロー図（鈴鹿リサイクルセンター有限会社）



【圧縮】⑱　圧縮機

産業廃棄物処理フロー図（鈴鹿リサイクルセンター有限会社）



災害防止計画

１．火災

ライター、ガスボンベ、スプレー缶等危険物の混入がないように展開目視検査を徹底する。
消防用設備を設置し点検維持管理をする。別添
年に一度に消火器、消火栓を使用し消防訓練を実施している。
夜間は警備会社に依頼し防災、対応に当たる。

２．運転中の事故防止

講習会、免許取得の推進
月に一度の安全検討会の実施
保護具の着用

３．破砕機の運転管理

回転体への巻き込み事故が考えられるので非常停止スイッチを設ける。

４．緊急事態への準備及び対応

別添

副

別記様式第１

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

令和５年３月２日

鈴鹿市消防長

殿

届出者　鈴鹿市住吉町8440番地
鈴鹿リサイクルセンター有限会社
TEL(059)370-6789

住　所

代表取締役
氏　名　下田陽一

電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地
	名称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社
	用途	令別表第一(12)項イ
	規模	地上　1階　地下　0階　延べ面積　㎡
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等		消火器具、自動火災報知設備、誘導灯

※受付欄	※経過欄	※備考
予防第	1762	

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第３に記入し、添付すること。
3　消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
4　※印欄は、記入しないこと。

別記様式第２

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

（その１）

名　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防　火 管理者	
所在地	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	点検実施 責任者	表示登録会員番号２４－１－００１６ 中央理化工業株式会社　三重営業所 鈴鹿市野町西１丁目４－６ 奥濱　悠太朗 Tel:059-386-5515
点検種別	(機器点検)・(総合点検)・ (設備等設置維持計画による点検)	点検年月日	令和　５年　２月　８日 ～ 令和　５年　２月　８日

設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
消火器具	(良)・不良			出原
自動火災報知設備	(良)・不良			出原
誘導灯	(良)・不良			出原

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合には「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　３　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第３

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点検者				設備名
住所	鈴鹿市野町西１丁目４－６	氏名	奥濱　悠太朗	消火器具 自動火災報知設備
社名	中央理化工業株式会社　三重営業所	電話番号	059-386-5515	

資格		消防設備士			
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月
甲種	特類	年　月　日			年　月
甲・乙種	１類	年　月　日			年　月
甲・乙種	２類	年　月　日			年　月
甲・乙種	３類	年　月　日			年　月
㊙・乙種	４類	H31 年 2 月 8 日	00111	愛知県	R2 年12 月
甲・乙種	５類	年　月　日			年　月
乙種	６類	H29 年 9 月 4 日	00054	三重県	R1 年10 月
乙種	７類	年　月　日			年　月
備考					

資格	消防設備点検資格者		
種類等	交付年月日	交付番号	有効期限
特種	年　月　日		年　月　日
第１種	年　月　日		年　月　日
第２種	年　月　日		年　月　日

点検者				設備名
住所	鈴鹿市野町西１丁目４－６	氏名	鈴木　博	誘導灯
社名	中央理化工業株式会社　三重営業所	電話番号	059-386-5515	

資格		消防設備士			
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事	講習受講年月
甲種	特類	年　月　日			年　月
甲・乙種	１類	年　月　日			年　月
甲・乙種	２類	年　月　日			年　月
甲・乙種	３類	年　月　日			年　月
甲・乙種	４類	年　月　日			年　月
甲・乙種	５類	年　月　日			年　月
乙種	６類	年　月　日			年　月
乙種	７類	年　月　日			年　月
備考		第二種電気工事士　三重 21839号　H18年 7月21日			

資格	消防設備点検資格者		
種類等	交付年月日	交付番号	有効期限
特種	年　月　日		年　月　日
第１種	年　月　日		年　月　日
第２種	年　月　日		年　月　日

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

３　資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。

４　誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第３条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第１項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

別記様式第１　　（その１）

消　火　器　具　点　検　票

設置階　１　階

名　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防火管理者	
所　在	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	立会者	
点検種別	機器点検	点検年月日	令和 ５ 年 ２ 月 ８ 日 ～ 令和 ５ 年 ２ 月 ８ 日
点検者	氏名 奥濵　悠太朗	点検者所属会社	社名 中央理化工業株式会社　三重営業所　TEL 059-386-5515 住所 鈴鹿市野町西１丁目４－６

点検項目		点検結果 消火器の種別 A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	措置内容
機器点検										
設置状況	設置場所	○						○		
	設置間隔	○						○		
	適応性	○						○		
	耐震措置	／						／		
表示・標識		○						○		
消火器の外形	本体容器	○						○	その２備考①に記入	
	安全栓の封	○						○		
	安全栓	○						○		
	使用済みの表示装置	／						／		
	押し金具・レバー等	○						○		
	キャップ	○						○		
	ホース	○						○		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○		
	指示圧力計	○						○		
	圧力調整器	／						／		
	安全弁	／						／		
	保持装置	○						○		
	車輪（車載式）	／						／		
	ガス導入管（車載式）	／						／		

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１

消火器具（その２）

消火器の内部等・機能	本・体内容筒器等	本体容器	／						／		
		内筒等	／						／		
		液面表示	／						／		
	消火薬剤	性状	／						／		
		消火薬剤量	／						／		
	加圧用ガス容器		／						／		
	カッター・押し金具		／						／		
	ホース		／						／		
	開閉式ノズル・切替式ノズル		／						／		
	指示圧力計		／						／		
	使用済みの表示装置		／						／		
	圧力調整器		／						／		
	安全弁・減圧孔（排圧栓を含む。）		／						／		
	粉上り防止用封板		／						／		
	パッキン		／						／		
	サイホン管・ガス導入管		／						／		
	ろ過網		／						／		
	放射能力		／						／		
消火器の耐圧性能			／						／		
簡易消火用具	外形		／	／	／	／	／	／	／		
	水量等		／	／	／	／	／	／	／		

備考

［注意事項］
①消火器の底部分が少し腐食しています。（No.16「Ⅱ工場南」、No.19「Ⅱ工場北」、No.23「Ⅱ工場南」）

測定機器

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
皿ハカリ	D882	――	石田				
ｷｬｯﾌﾟﾚﾝﾁ			ﾔﾏﾄﾌﾟﾛﾃｯｸ				

器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数
外形					
粉末ＡＢＣ１０型（蓄圧式）	27	26	26	0	0

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Ａは粉末消火器、Ｂは泡消火器、Ｃは強化液消火器、Ｄは二酸化炭素消火器、Ｅはハロゲン化物消火器、Ｆは水消火器をいう。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別 紙

消　火　器　管　理　票

名　　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	点検年月日	令和 5 年 2 月 8 日
		点 検 者	奥濵　悠太朗

番号	設置場所	種 別	型式番号	容量	メーカー	製造年月	製造番号	詰替年月日	判定	備　考
	＜事務棟＞									
1	事務所内	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2022	628276		○	
2	事務所内	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2019	175580		○	
3	事務所内	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2019	175864		○	
4	東更衣室	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2022	628090		○	
5	２階	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2019	175877		○	
6	２階	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2019	175579		／	点検出来ず
	＜Ⅰ工場＞									
7	工場南東	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218375		○	
8	工場南東	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218351		○	
9	工場西	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218387		○	
10	工場南	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218339		○	
11	工場北	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218355		○	
12	工場北	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218333		○	
13	屋外キュービクル	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218345		○	
	＜Ⅱ工場＞									
14	工場南東	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	565517		○	
15	工場南東	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	025774		○	
16	工場南	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	565509		○	底一部錆あり
17	工場南東	ＹＡ－10ＮＸ	27－59－1	3.0Kg	ヤマト	2021	364508		○	
18	工場南西	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2020	249041		○	
19	工場北	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	565402		○	底一部錆あり
20	工場西	ＹＡ－10ＮＸ	27－59－1	3.0Kg	ヤマト	2019	V094260		○	
21	破砕機室	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218357		○	
22	屋外キュービクル	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218350		○	
23	工場南	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	907481		○	底一部錆あり
24	予備	ＰＥＰ－10Ｎ	29－1	3.0Kg	ハツタ	2019	175908		○	
25	予備	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	565540		○	
26	予備	ＰＥＰ－10Ｃ	23－101	3.0Kg	ハツタ	2014	565524		○	
27	予備	ＹＡ－10ＮＸ	27－60－1	3.0Kg	ヤマト	2021	218334		○	

注）判定欄の記入方法　良好な場合・・・○　　不良な場合・・・×

別記様式第１１

（その１）

自動火災報知設備点検票

名称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防火管理者	
所在	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	立会者	
点検種別	（機器）・総合	点検年月日	令和 5 年 2 月 8 日 ～ 令和 5 年 2 月 8 日
点検者	氏名 奥濱 悠太朗	点検者所属会社	社名 中央理化工業株式会社 三重営業所 TEL 059-386-5515 住所 鈴鹿市野町西１丁目４－６
点検設備名	受信機	製造者名	日本ドライケミカル（株） 2015年11月製
		型式等	受第26～30号 NBP235AKA05 製造番号1000153

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
機器点検						
予備電源・非常電源（内蔵型）		外形	Ni-cd蓄電池 パナソニック 品評予第13-1号	○		
		表示	DC12V 0.6AH/5HR 2015年10月製	○		
		※端子電圧	DC 22.6 V	○		
		※切替装置		○		
		※充電装置	トリクル充電 DC 14.1 V	○		
		※結線接続	コネクター接続	○		
受信機・中継器		周囲の状況	事務所内北側	○		
		外形	壁掛型	○		
		表示		○		
		警戒区域の表示装置	5L/5L	○		
		電圧計	テスター値 24.3 V	○		
		スイッチ類		○		
		ヒューズ類	0.5～2 A	○		
		※継電器		○		
		表示灯	LED	○		
		通話装置		／		
		※結線接続	差込式端子台	○		
		接地	D種	○		
		附属装置	セコム（848074）	○		
	※火災表示等	蓄積式		○		
		アナログ式		／		
		二信号式		／		
		その他		／		
		※注意表示		／		
		回路導通	自動監視	○		
		設定表示温度等		／		
		感知器作動等の表示		／		
		予備品等	ランプ、ヒューズ等	○		

備考
1 この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
6 受中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあって記入不要。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その２）

感知器	外形				○	
	警戒状況	未警戒部分			○	
		感知区域			○	
		適応性			○	
		機能障害			○	
	※熱感知器	スポット型		差動 (定温(再)) 熱アナログ	○	
		分布型	空気管式	☒×7	○	
			熱電対式・熱半導体式		○	
		感知線型			／	
	※煙感知器	スポット型		イオン 光電 アナログ	／	
		分離型			／	
	※炎感知器			赤外線 紫外線	／	
	※多信号感知器・複合式感知器				／	
	遠隔試験機能を有する感知器				／	
発信機	周囲の状況				○	
	外形			総合盤５台	○	その３備考①に記入
	表示				○	
	押しボタン・送受話器			埋込型	○	
	表示灯			ＬＥＤ	○	
音響装置	外形			150mm ５ヶ	○	
	取付状態			総合盤内	○	
	音圧等				○	
	鳴動方式			(一斉) 区分 相互 再鳴動	○	
※蓄積機能					○	
※二信号機能					／	

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
７　表中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第１１

自動火災報知設備（その３）

自動試験機能	予備電源・非常電源		／		
	受信機の火災表示		／		
	受信機の注意表示		／		
	受信機・中継器の制御機能・電路		／		
	感知器		／		
	感知器回路・ベル回路		／		
無線機能			／		
総合点検					
同時作動			○		
※煙感知器等の感度			／		
地区音響装置の音圧		90ｄＢ以上	○		
※総合作動			○		

備考

［注意事項］

①No.1「工場北側」の総合盤に変形がありました。浸水等で誤作動する可能性がありますので、交換をお勧め致します。

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	普通騒音計	SL100U	R2.11.1	CUSTOM	加熱試験器	HK-3	R2.7.1	能美防災
	回路計	3030-10		日置	メーターリレー	MT-10S	H30.6.1	日本ドライケミカル㈱
	空気注入試験器	10CC		能美防災				

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

６　自動試験機能を有するものにあっては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。

７　表中※の欄は、自動試験機能を有するものにあっては記入不要。

別記様式第２６

配　線　点　検　票（設備名　自動火災報知設備　）

名　　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防　火 管理者	
所　　在	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	立会者	
点検種別	総合	点検年月日	令和　5　年　2　月　8　日　～　令和　5　年　2　月　8　日
点検者	氏名 奥濱　悠太朗	点検者 所属会社	社名 中央理化工業株式会社　三重営業所　TEL 059-386-5515 住所 鈴鹿市野町西１丁目４－６

点検項目	点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
総合点検				
専用回路	事務所内	○		
開閉器・遮断器	ＮＦＢ　20 Ａ	○		
ヒューズ類		／		
絶縁抵抗	常用　100 ＭΩ非常　／ＭΩ	○		
耐熱保護	ＨＰケーブル	○		

備考

※絶縁抵抗　感知器回路　50ＭΩ
　　表示灯回路　50ＭΩ
　　警報回路　50ＭΩ

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計	3118-11		日置				
	回路計	3030-10		日置				

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　2　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
　　3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
　　4　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１６

（その１）

誘導灯及び誘導標識点検票　設置階　1　階

名　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防火管理者	
所　在	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	立会者	
点検種別	機器	点検年月日	令和 5 年 2 月 8 日 ～ 令和 5 年 2 月 8 日
点検者	氏名 鈴木　博	点検者所属会社	社名 中央理化工業株式会社　三重営業所　TEL 059-386-5515 住所 鈴鹿市野町西１丁目４－６

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容 避難口	通路	客席	判定	不良内容	措置内容
機器点検								
誘導灯	外箱・表示面	種類	○	○	／	○		
		視認障害等	○	○	／	○		
		外形	○	○	／	○		
		表示	○	○	／	○		
	非常電源（内蔵型）	外形	○	○	／	○		
		表示	○	○	／	○		
		機能	○	○	／	○		
	光源		○	○	／	○		
	点検スイッチ		○	○	／	○		
	ヒューズ類		○	○	／	○		
	結線接続		○	○	／	○		
	信号装置等	外形	／	／	／	／		
		結線接続	／	／	／	／		
		機能	／	／	／	／		

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印，不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第１６

誘導灯及び誘導標識点検票（その２）

誘導標識	外形		／	／	／	／		
	視認障害等		／	／	／	／		
	採光又は照明		／	／	／	／		
	※表示面の輝度		／	／	／	／		
	※設置場所の照度		／	／	／	／		
	※※ヒューズ類		／	／	／	／		
	※※結線接続		／	／	／	／		
	※※※非常電源	外形	／	／	／	／		
		表示	／	／	／	／		
		機能	／	／	／	／		
備考								

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	回路計	3030-10		日置				

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　表中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の２第１項第３号ハ並びに第28条の３第４項第３号の２及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第２号）第５第３号（5）に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。
７　表中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。
８　表中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

誘導灯設置一覧表

（　　）

設置場所	避難口誘導灯			通路誘導灯						誘導標識	
	A級	B級	C級	A級	B級	C級				避難口	通路
Ⅱ工場											
片面　B級BL形		7			2						
合　　計		7			2						

備考	

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

別記様式第２６

配　線　点　検　票（設備名　誘導灯　　）

名　　称	鈴鹿リサイクルセンター有限会社	防　火 管理者	
所　　在	三重県鈴鹿市住吉町８４４０番地	立会者	

点検種別	総合	点検年月日	令和　5　年　2　月　8　日　～　令和　5　年　2　月　8　日
点検者	氏名 鈴木　博	点検者 所属会社	社名 中央理化工業株式会社　三重営業所　TEL 059-386-5515 住所 鈴鹿市野町西１丁目４－６

点検項目	点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
総合点検				
専用回路	備考に記入	○		
開閉器・遮断器	ＮＦＢ　20 Ａ	○		
ヒューズ類		／		
絶縁抵抗	常用　100 ＭΩ非常　　／ＭΩ	○		
耐熱保護		／		

備考　※Ⅱ工場工場西中央分電盤

測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
	絶縁抵抗計	3118-11		日置				
	回路計	3030-10		日置				

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

緊急事態への準備及び対応規定

承認	作成
下田 陽一	下田 さくら

㈱フジコウ
鈴鹿リサイクルセンター(有)

文書番号	FS－EB15－08	緊急事態への準備及び対応規定	制　定	2017 年 10 月 1 日
㈱フジコウ 鈴鹿リサイクルセンター㈲			改　訂	2020 年 3 月 1 日
			改訂版	2版	頁	1／4

作業目的、概要	○ 事故と緊急事態の可能性を特定するための、ならびにそれらに伴うかもしれない環境影響を予防して緩和するための手順を作成し、維持する。 ○ 事故または緊急事態発生後の対応手順を作成し、見直しを行う。 ○ 緊急事態対応手順を作成し、訓練を定期的に実施する。

○ 緊急事態の可能性の特定

1．環境管理責任者は、環境側面抽出表の「緊急時」として抽出された事項と環境影響評価表の「緊急時」項目から、事故および緊急事態の可能性を次の通り特定する。

① 廃棄物または車輌等の火災

② 廃油ドラム、バキューム車等からの油漏れ

○ 有害な環境影響の防止

① 整備点検を励行する。

② 現場作業においては、火気の使用場所を限定する。

③ 避難場所を確認する。

④ 消火器、ウエス等を常備する。

⑤ 緊急事態対応訓練を実施する。

○ 事故または緊急事態発生時の対応

① 緊急事態発生を発見した時は、初期処置、被災者の救助等を行い、速やかに「緊急連絡・通報ルート」に沿って連絡を取ること。

【火災】

・ 火災の場合には、発見者は周囲の者の協力を得て消火器、水道ホース等で初期消火に努めること。

・ 道路での火災事故の場合は、速やかに車輌を路肩に移動し初期消火を行うこと。

・ 初期消火で鎮火が困難と判断されるときは、直ちに消防署に通報すること

・ 消防隊に対しては、危険物や可燃物の情報を迅速に報告すること。

【油、廃液流出】

・ 社内の流出事故の場合は、土嚢で流出を食い止め、油吸着マットやオガクズで吸い取ること。また、油水分離槽入口の溝を土嚢で流出を食い止め、油吸着マットで吸い取ること。

・ 道路での流出事故の場合は、速やかに車輌を路肩に移動し流出防止の処置をとること。

・ 道路で流出が止まらないときは、直ちに消防署、警察、市町村等への通報を行うこと。

② 事故の状況報告を関係先に行う。

○ 緊急事態対応の訓練

1．工場長は、

緊急事態対応の訓練として、毎年１回従業員を対象に火災消火訓練を行い、緊急連絡および消火器による初期消火訓練、消火栓模擬操作法訓練を実施し、結果を見直しすること。

消火器での初期消火訓練は、全従業員を対象とする

2．営業部長は、

収集運搬車両からの廃液（オイル等）の流出事故を想定して、毎年１回輸送グループの従業員に対して訓練を行う。この訓練は液洩れ部位の応急処置並びにこぼれた廃液の処理及び通報訓練を行う。訓練には土嚢によるせき止めと油吸着マットによる処置を含めること。

「緊急事態対応訓練計画書」　参照

○ 訓練および事故発生後のレビュー

緊急事態対応の訓練および事故発生後にはそれらの結果をレビューし、「緊急事態への準備及び対応規定」及び関連する規定、手順書、緊急事態対応訓練計画書に見直し結果を反映させ、記録に残すこと。

※ＩＳＯ事務局は、この訓練の支援を行う。

緊急連絡・通報ルート

【昼間】

【夜間】

【社内関係電話番号】

会社 0593-78-5150
（管理部長、事務員）

社長	090-1982-1979
管理	090-1092-0667
工場長	080-1628-0555
営業部長	090-3955-6487

文書番号	FS－EB15－08	緊急事態への準備及び対応規定	制　定	2017 年 10 月 1 日	
㈱フジコウ 鈴鹿リサイクルセンター㈲			改　訂	2020 年 3 月 1 日	
			改訂版	2版	頁 4/4

【 付 表 ： 改 訂 履 歴 】

年月日	頁及び項または行	内　容	承認	作成
2017. 10. 01	全頁	初版制定（新規制定）	下田	下田
2020. 02. 01	全頁	文書の見直しによる改訂	下田	上戸

＜環境システム＞

【監視及び測定の年間計画書・確認書】　＜2023／1～2023／12＞

計画書作成　2022.11.16
確認（予定）　2023.12.1

注：○は計画　●は実績　＊は計画なし実績あり

No.	分類	項目・内容	区分	担当	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3		内部環境監査・内部環境監査員の養成	1回/年	※										○内部監査 11/19 ○ｽｷﾙｱｯﾌﾟｾﾐﾅｰ		
8	法令	廃棄物処理業許可更新(期限と講習)	新年度版作成	営業	○令和5年2月26日　岐阜県　フジコウ　収集運搬　○令和5年3月17日　三重県　SRC　収集運搬　○令和5年3月17日　三重県　SRC　処分											
11		産廃実績報告	提出期日毎	田中						○						
12		優良評価制度の更新(HP)	定期実施(2回/年)	田中				○					○			
13		トラックスケール管理	自主・法令点検(1回/2年)	大平		●2/3										
14		キュービクル管理	法令点検(1回/年)	出原								○				
15		消防用設備点検	自主(1回/年)・法令点検(1回/3年)	出原			○自主点検　年1回○法令点検　消防署へ提出　3年に1回						2024年に法令点検			
16		二軸　定期点検	定修	出原	点検記録へ記入									○		
17		浄化槽管理	自主・法令点検(1回/年)	下田さ		●2/17				○点検		○法令		○ 点検(清掃)		
18		免許証	入社都度	下田さ	● ←											○
19		事務所・ユンボ　フロンガス簡易点検記録表	4回/年	出原	●1/6			●4/7			○			○		
28		訓練の実施と見直し(火災、油流出)	1回/年	営業工場				●消火器●油流出　4/11　○消火栓								
29		自治会工場見学	1回/年	営業工場							○					
49		屋外広告物許可書(屋外看板)	年1回	営業		●2/15										
30	監	排水分析	定期実施	出原						○採水						
31	視	騒音測定	定期実施	下田さ											○	
36	清掃	飲料水1次フィルター交換	定期点検(1回/2か月)	営業		●2/7		●4/3	○		○		○		○	
37		飲料水2次フィルター交換	定期点検(2回/年)	営業		●2/7			○						○	
38		飲料水カーボンフィルター交換	定期点検(2回/年)	営業					○						○	
39		飲料水3次フィルター交換	性能劣化で交換	営業												
40		エアコンフィルターの掃除	定期実施	営業	●1/28	●2/18	●3/10	●4/7	○	○	○	○	○	○	○	○
41		油水分離層	定期実施(1回/年)	出原					○							
42		井戸水ろ過材交換	定期交換(1回/年)	出原										○		
43		トラックスケール地下ピット	定期実施(1回/年)	出原					○							
45		草刈・除草剤散布((同)快生谷岡ライフ) 059-34-7448	定期実施	営・運												
46		町内清掃	毎月1回	営・運	●1/28	●2/4	●3/4	●4/1	○	○	○	○	○	○	○	○
47		全体ミーティング	毎月1回	営業工場	●1/14 ●1/19	●2/23	●3/21	●4/11	○	○	○	○	○	○	○	○
48		地域イベントへの参加(祭りへの協賛)	年1回	営業工場									連絡○	○協賛		

工 場 日 報

令和 5年 3月 31日 金 曜日（天候: 晴れ ） 記入:中村 正伸

●情報受付
・社長指示: 場内美化
・外部情報:
・社内情報:

●教育・指示・ミーティング・その他
・教育(安全、OJT): 安全第一 有価物分別徹底 美化 整理整頓
・パ事項 : 選別強化
・設備、その他 :

●廃棄物、リサイクル情報
＜処理排出車数:処理先＞ ※該当するものの数量を記入

1 車	愛知環境(30㎥-サーマル)	車	三愛(30㎥-段ボール)
車	井村屋(30㎥-木チップ)	車	富樫金属(8㎥-ミックスプラ)
車	住友(30㎥-木チップ)	1 車	東海貿易(8㎥-アルミ)
車	山室(30㎥-木チップ)	2 車	文金商事(8㎥-ミックスプラ)
車	紀州製紙(30㎥-木チップ)	1 車	富樫金属(8㎥-エアコン)
車	グリーンアローズ(30㎥-ボード)	車	八幡(20㎥-コンガラ・アスガラ)
1 車	ミハマ(50㎥-木チップ)	車	朝日土木(16㎥-コンガラ・アスガラ)
車	佐藤商店(8㎥-缶)	車	伴(16㎥-コンガラ・アスガラ)
車	事業団(16㎥-がれき)	車	塩浜(16㎥-ガラ陶・アスベスト)
2 車	リプロ(30㎥-廃プラ)	車	光陽(40㎥-焼却)
車	事業団(16㎥-ガラ陶)	車	サンビルド(30㎥-混合廃棄物)

パ事業団: 廃プラ30㎥ 2 車 ガラ陶16㎥ 1 車 がれき16㎥ 車

●管理情報 ＜○:守れた ×:守れなかった＞
・電力消費量削減管理（ ○ ）（理由: ）
・騒音、振動管理 （ ○ ）（理由: ）

●設備稼働状況
・2軸- 2 h ・木くず破砕機- 3 h

時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2軸破砕機								—	—									
木くず破砕機				—	—	—												

※二軸破砕物 廃プラ 2 h がれき h ガラ陶 h

●安全チェック （○印をつけてあるが、不可なら訂正をする）

		中村	アン	稲垣	前野	鵜崎	チオン	フオン	ハイ	ハー	リット	ダイ	ラム	ホアン	菅原
1	車両、設備の始業点検														
2	ヘルメット、安全靴着用														
3	安全確保の合図、確認														
4	安全運転(速度等)					別紙参照									
5	工場内徐行(安全確保)														
6	整理整頓、清掃														
7	自己の健康管理														
8	お客様の安全確保														

備考
チオン 病欠
アン、リット 4時まで
クギ拾い一 本

（注） ○:実行できた項目、×:実行できなかった項目、一:該当しない項目

●特記事項
除草剤 散布

早出: 時間
残業: 時間

毎週土曜日記入(時間or距離)点検

2軸破砕機 :	
木くず破砕機 :	
13-25 :	
25-81 :	
リフト8 :	
リフト11 :	
リフト12 :	
リフト13 :	
ZX135 :	
ZX200 :	
ZX200LC :	
ZX200カッター :	
ZX200小割 :	

⑥作業員 13 人

⑦ (⑤/⑥)
一人当り処理数量 16 ㎥

① 本日引き取り分 223 ㎥
② 処理実績持込分 ㎥
③ (①+②) 223 ㎥

④ 処理実績（引取分）
フレコン

1 ㎥	-	14 袋	-	14 ㎥
2 ㎥	-	16 杯	-	32 ㎥
4 ㎥	-	杯	-	0 ㎥
5 ㎥	-	1 杯	-	5 ㎥
8 ㎥	-	20 杯	-	160 ㎥
10 ㎥	-	杯	-	0 ㎥
12 ㎥	-	杯	-	0 ㎥
16 ㎥	-	杯	-	0 ㎥
30 ㎥	-	杯	-	0 ㎥

小計 211 ㎥
⑤ (②+④) 処理合計 211 ㎥

令和3年3月　日　曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検						–	–	–	–	–	–	–	–
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)						–	–	–	–	–	–	–	–
5	工場内徐行(安全確保)						–	–	–	–	–	–	–	–
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

令和　年　月　日　曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検						–	–	–	–	–	–	–	–
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)						–	–	–	–	–	–	–	–
5	工場内徐行(安全確保)						–	–	–	–	–	–	–	–
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

令和3年3月1日(水)曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検													
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)													
5	工場内徐行(安全確保)													
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

令和3年3月2日(火)曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検													
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)													
5	工場内徐行(安全確保)													
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

令和3年3月3日(水)曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検													
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)													
5	工場内徐行(安全確保)													
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

令和3年3月4日(木)曜日
●安全チェック　(レ点印をつけてあるが、不可なら訂正をする)

1	車両、設備の始業点検													
2	ヘルメット、安全靴着用													
3	安全確保の合図、確認													
4	安全運転(速度等)													
5	工場内徐行(安全確保)													
6	整理整頓、清掃													
7	自己の健康管理													
8	お客様の安全確保													

生活環境及び環境保全の向上を図る上で支障を生ずるおそれがない理由

１．騒音・振動

・施設は工場内の屋内に設置する。

・施設の設置場所を敷地境界から離して騒音・振動削減を行う。

・機器の日常・定期点検徹底し、作業についても注意を払う。

２．悪臭

・屋外コンテナに保管する廃棄物や木質チップには、常にシートがけを行い、雨水との接触による悪臭の発生を防止する。

・日常の清掃等により防止する。

・臭気の強いものは受け入れない。

・工場の屋内で破砕作業を行う。

・長期間保管せずに速やかに処理する。

３．粉塵

・屋外コンテナに保管する廃棄物や木質チップには、常にシートがけを行い、粉塵の発生を防止する。

・工場敷地の散水により粉塵を予防する。

・工場の屋内で破砕作業を行い、粉塵を放出しない。

・工場内に集塵機を設置する。

４．水質（地下浸透含む）

・破砕機は建屋内で作業する。

・建屋内で万が一廃液がこぼれた場合、建屋内周囲に設けた側溝を通じて桝にて採集し屋外に流れ出ることはない。

・なお、排水槽の集積水が雨水とほぼ同等の性状（無色。無臭。懸濁していない。有害物質に汚染されているおそれがない等）であれば、第二工場建内で散水等に循環利用することがあります。

・廃棄物の保管場所には、屋根がないが、シート掛けをしたコンテナ内であるため、コンテナ内に雨水の流入はない。

・展開場所が建屋内であり、保管場所から展開場所までは、コンテナごと移動させるため、コンテナ内への雨水の流入はない。

・新しく処理後の保管場所とする場所は、三方を７ｍを超えるコンクリートの壁で囲われており、一方は囲いがないが、処理後の廃棄物は、圧縮梱包（ストレッチフィルムにて六面固縛密封梱包）されており、雨水の侵入はない。

・工場内はコンクリートを舗装するため、水の地下浸透はない。

生活環境影響調査

1. 項目選定

設置する施設は、破砕施設・選別施設・圧縮施設であることから、
影響が考えられる項目の洗い出しを行った（下表)。

影響項目＼影響要因		施設排水の排出	施設の稼動	保管施設	収集運搬車両	想定される生活環境保全上のリスク
大気質	粉じん		◎	○		施設の稼働及び廃棄物保管時の粉じんの飛散
大気質	NO2				○	廃棄物運搬車両の走行による排ガスの発生
大気質	SPM				○	
騒音			◎		○	施設の稼働及び廃棄物運搬車両の走行による騒音振動の発生
振動			◎		○	
悪臭			○	○		施設の稼働、及び廃棄物保管時の悪臭の漏えい
水質	BOD(COD)	○				設備機器の清掃、床洗浄時の排水の排出
水質	SS,T-N,T-P 他	○				
水質	健康項目	○				
排水等の地下浸透			○	○		床洗浄時の排水等の地下浸透

注 1)「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）による「破砕・選別施設」の生活環境影響要因と生活環境影響調査項目を参考に作成
注 2) ◎：全ての施設において必要な項目、○：対象品目等により個別判断する項目

なお、洗い出した項目（下記２（1）～（3））を検討した結果、
大気質及び悪臭については、すべての施設が屋内に設置されることから
調査対象外とし、また水質（地下浸透含む）については発生しないことから調査
対象外とした。

よって今回は「騒音」と「振動」を調査対象とした。

2. 洗い出し項目検討

（1）大気質（粉塵）

・屋外コンテナに保管する廃棄物や木質チップには、常にシートがけを行い、粉塵の発生を防止する。

・工場敷地の散水により粉塵を予防する。

・工場の屋内で破砕作業を行い、粉塵を放出しない。

・工場内に集塵機を設置。

(2) 悪臭

・屋外コンテナに保管する廃棄物や木質チップには、常にシートがけを行い、雨水との接触による悪臭の発生を防止する。

・日常の清掃等により防止する。

・臭気の強いものは受け入れない。

・工場の屋内で破砕作業を行う。

・長期間保管せずに速やかに処理する。

(3) 水質（地下浸透含む）

・破砕機は建屋内で作業する。

・建屋内で万が一廃液がこぼれた場合、建屋内周囲に設けた側溝を通じて桝にて採集し屋外に流れ出ることはない。

・なお、排水槽の集積水が雨水とほぼ同等の性状（無色。無臭。懸濁していない。有害物質に汚染されているおそれがない等）であれば、第二工場建内で散水等に循環利用することがあります。

・廃棄物の保管場所には、屋根がないが、シート掛けをしたコンテナ内であるため、コンテナ内に雨水の流入はない。

・展開場所が建屋内であり、保管場所から展開場所までは、コンテナごと移動させるため、コンテナ内への雨水の流入はない。

・新しく処理後の保管場所とする場所は、三方を７ｍを超えるコンクリートの壁で囲われており、一方は囲いがないが、処理後の廃棄物は、圧縮梱包（ストレッチフィルムにて六面固縛密封梱包）されており、雨水の侵入はない。

・工場内はコンクリート舗装のため、水の地下浸透はない。

3.　.生活環境影響調査（騒音・振動）

（1）目的

新たな設備を設置し、稼働することによる周辺環境への影響度合いを評価することを目的とする。

具体的には、現況の騒音・振動測定を行い、新設の破砕機の騒音・振動計測結果より設備設置後の騒音・振動予測を行い基準値に適合するかを確認する。

（2）予測方法

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針について」に基づき、予測を行うものとする。

（3）設備設置場所及び騒音調査地点

別紙 1 参照

4.　基準値

・騒音　55ｄB

・振動　60ｄB

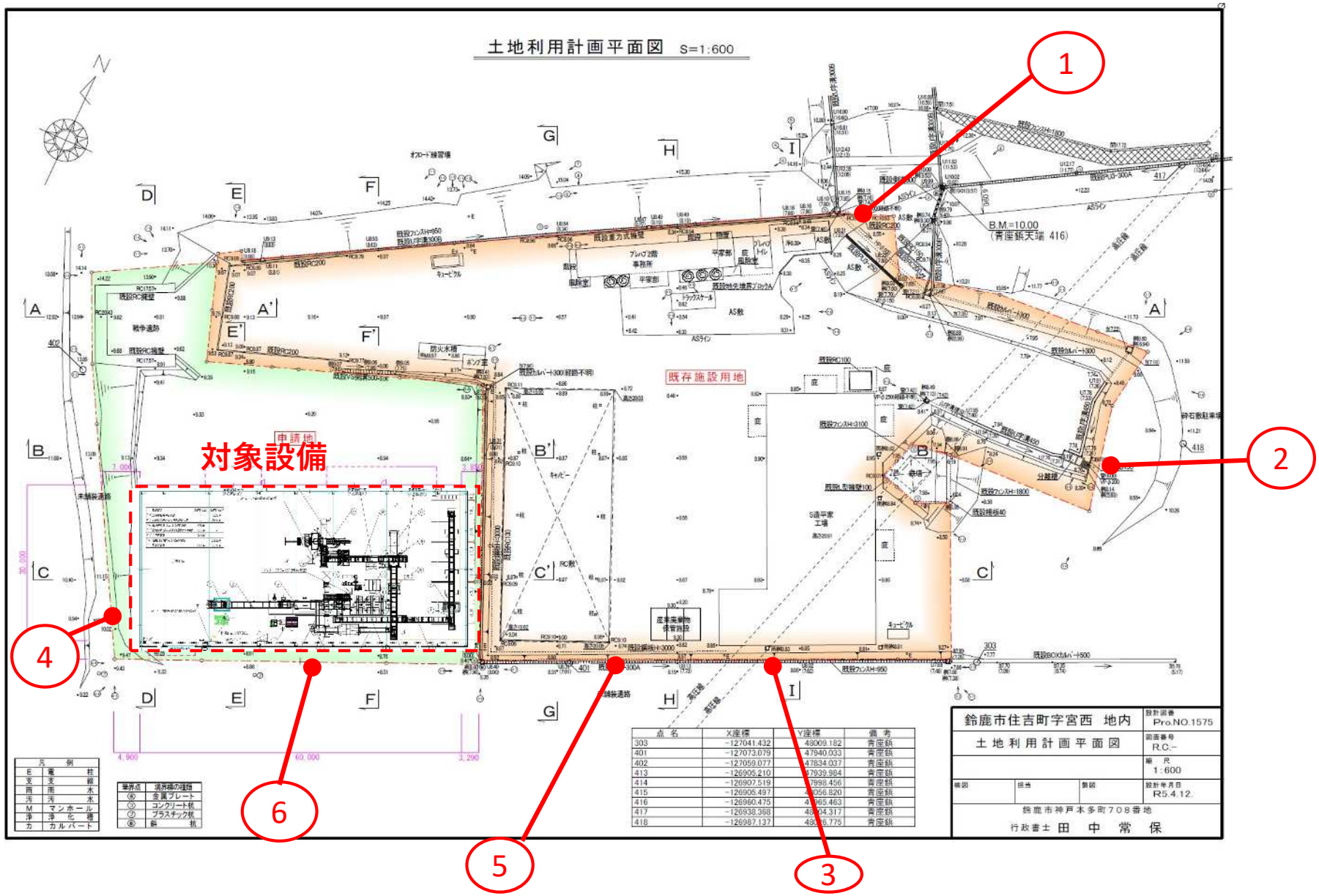
5.　予測結果（詳細は別紙 2 に記載）

・騒音　　基準値を満たす結果である。

・振動　　基準値を満たす結果である。

以　上

別紙1　選定場所


土地利用計画平面図　S=1:600
対象設備
申請地
既存施設用地
1
2
3
4
5
6
B.M=10.00
(青座鋲天端 416)
鈴鹿市住吉町字宮西　地内
土地利用計画平面図
Pro.NO.1575
R.C.-
1:600
R5.4.12.
鈴鹿市神戸本多町708番地
行政書士 田　中　常　保

＜騒音＞

別紙2　予測結果および施設騒音に係る生活環境保全上の目標との整合性

単位：デシベル

時間の区分	予測地点	現況騒音レベル（騒音レベル：L_5）	破砕機の騒音レベル予測結果	本事業実施後の騒音レベル予測結果	適合
昼 間	①	47	37	47	○
	②	42	35	43	○
	③	51	39	51	○
	④	50	53	55	○
	⑤	51	43	52	○
	⑥	51	50	54	○

基準値55dB

○コメント

本施設の稼働に伴う騒音レベルの敷地境界における予測結果は、表1に示すとおりである。目標値を規制基準値の55dBとした場合、すべての地点で基準値を満足する結果となったため、環境保全上の目標は達成できるものと考えられる。

＜振動＞

表2　敷地境界線上における振動の予測結果

単位:デシベル

時間の区分	予測地点	現況振動レベル（振動レベル:L_{10}）	破砕機の振動レベル予測結果	本事業実施後の振動レベル予測結果	適合
昼 間	①	31	40	41	○
	②	30未満	37	38	○
	③	34	45	45	○
	④	30	56	56	○
	⑤	30未満	49	49	○
	⑥	39	54	54	○

基準値60dB

○コメント

本施設の稼働に伴う振動レベルの敷地境界における予測結果は、表2の示すとおりである。目標値を規制基準値の60dbとした場合、すべての地点で基準値を満足する結果となったため、環境保全上の目標は達成できるものと考えられる。

新工場建設打合せ記録

令和5年 5月 1日　鈴鹿市 都市整備部 建築指導課 建築防災G

令和5年 4月14日　三重県 鈴鹿地域防災総合事務所 環境室 環境課

令和5年 4月 5日　鈴鹿市 都市整備部 建築指導課 建築防災G

令和5年 3月23日　三重県 鈴鹿地域防災総合事務所 環境室 環境課

令和5年 3月16日　鈴鹿市 消防本部 予防課 危険物G

令和5年 3月14日　鈴鹿市 消防本部 予防課 予防G
鈴鹿市 消防本部 予防課 危険物G

令和4年11月30日　鈴鹿市 都市整備部 建築指導課 建築防災G

令和4年10月26日　三重県 鈴鹿地域防災総合事務所 環境室 環境課

令和4年10月20日　鈴鹿市 都市整備部 建築指導課 建築防災G
鈴鹿市 都市整備部 都市計画課

令和4年10月17日　鈴鹿市 土木部 土木総務課 公共用地管理G
鈴鹿市 都市整備部 建築指導課 建築防災G

令和５年５月１日

新工場建設打合せ記録（都計審に向けて第二回）

1. 日時：令和５年５月１日（火）10：00～11：00
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
　　田中行政書士、わけびき行政書士
　　先方　鈴鹿市都市整備部　建築指導課　建築防災Ｇ　川村ＧＬ、神田橋様

3. 内容
主旨：鈴鹿市との都計審に関する打合せ（前回からの更新資料説明等）
打合せ事項

(1)　都計審の開催月繰り下げの件（10月→12月）
① 10月に予定していた都計審が県から抱き合わせ案件の兼ね合いで12月に開催したいと本日打診があった。
（※但し、説明会等はスケジュールの変更なくこのままいきたい）
→5/8公告前に自治会長はじめ関係者に先行説明実施予定（出原工場長→関係者へ）

(2)　田中行政書士から建築物についての情報開示
① 違法建築有無の確認（前回懸案事項）→H28年　60条申請で承認されている以降は建築物（違法含む）建築していない。建築指導グループの中西ＧＬにも前回打合せ後、確認を取っている。

(3)　資料の修正等
① 設備配置図
・破砕機のみ記したものが必要。※すべての図面に日付を入れる。
② 新旧能力比較表
・せん断能力値を削除したもの、色付け等の変更
・破砕機のところに品番がわかるように追記
・設備配置と廃棄物フローの並行記載で分かりやすいようにする
※上記　川村ＧＬから指示を受けた上、当社が作成する。

(4) 確認事項
① 産廃の許可申請は現在進めていただいているが、一廃の設置許可等については不明なので市役所担当部署に出向き担当者に見解を得てほしい。

(5) その他特記事項

同日打合せ後、

① 土木総務課安村様に挨拶（不在）

② 廃棄物対策課　管理企画グループ　三谷GLに確認し、本日懸案事項の一つであった「一般廃棄物の新工場に係る申請の要否」について一廃の設置許可を取らないのであれば何ら申請不要との見解を得た。

以　上

令和5年4月14日

新工場建設打合せ記録（施設許可申請に向けて第三回）

1. 日時：令和5年4月14日（金）10：30～11：40
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
わけびき行政書士、わけびき事務所　阪行政書士
先方　三重県鈴鹿地域防災総合事務所　環境室　環境課　池田課長、鈴木課長代理

3. 内容
主旨：施設設置許可申請クリアに向けての必要事項打合せ　3回目
打合せ事項
(1)　県事務所の後任担当者との挨拶・名刺交換
(2)　事業計画の概要説明
① 新工場建設の主旨説明
・現状受け入れている混合廃棄物を高度に選別し、燃料化によるリサイクル率アップ
・その他事業計画の要点を説明

② 環境測量の場所決定について
・前回の許可申請時の場所と同じで問題ないとのこと（鈴木課長代理）
※鉄塔部分除外、自社・及び関連会社・関係者の所有地は境界除外

③ 屋外保管場所に対する基準確認（戦争遺構利用含む）
→前任者諸岡氏の見解：屋外保管は容器保管でなければ50%勾配等屋外廃棄物保管の基準が適用される。耐荷重のある擁壁の中であれば距離の基準はクリアとなる。
また、売却価格より運賃の方が大きい場合は、「現着有価」扱いとなり、現着して売却終了までは廃棄物扱いのため、廃棄物の保管基準が適用される。
なお、戦争遺構コンクリートに厚みがあり、長年保っていることを考えると耐荷重のある擁壁とみなせると考える。但し、周囲の戦争遺構保存の観点からそもそも論として資材を押さえる擁壁とすることに抵抗感を示す説明会出席者がいるかもしれないのでうまく説明することが必要かもしれない。
→鈴木課長代理の見解
前任者諸岡氏と同様の見解+擁壁から指定された嵩より下げての保管は勾配付けず水平保管可能。

④ その他
計画の不足書類、差し替えが必要な書類を確認（わけびき事務所から県担当者へ）

以　上

令和５年４月６日

新工場建設打合せ記録（都計審に向けて第二回）

1. 日時：令和５年４月５日（木）９：30～10：40
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
田中行政書士、わけびき行政書士、阪行政書士
先方　鈴鹿市都市整備部　建築指導課　建築防災Ｇ　川村 GL、神田橋様

3. 内容
主旨：鈴鹿市との都計審に関する打合せ（鈴鹿市人事異動に伴うご挨拶含む）
打合せ事項
(1)　鈴鹿市人事異動に伴いご挨拶
建築防災Ｇ　川村 GL 着任　（若林 GL 異動）名刺交換等ご挨拶

(2)　都計審関係の進捗説明・確認事項
① 新工場建屋の広さ・大きさは決定　位置が決まれば環境測量可能
② 資料を小出しにして報告してきたが、修正箇所をまとめて見直し、完成形を提出する。
・新工場能力比較
・工場の変遷図面
} 破砕機２台増える

(3)　鈴鹿市からの情報及び要望事項（鈴鹿市→当方へ）
① 二次処理等能力に対し、搬入車両数が変わらない根拠など写真等を使ってうまく説明できる資料があった方がよい。→プレゼンしやすい資料を要望する。
② 都計審２か月前（８月）には完成形の資料を県に提出する必要があるので、環境測量など逆算してスケジューリングをお願いしたい。
③ 都計審、県の方針は産廃業の審議は極力まとめて審議したいとのこと。
（比較、効率的な審議ができるため）
④ 建築基準法上の違法建築がないように審議会前に調べてクリアにしておくことが必要。
（ポンプ室、トイレ）
→打合せ後、田中行政書士と開発指導グループ中西 GL に確認を行い、見解を得た。
⑤ 打合せ記録の共有→今回から作成した打合せ記録は鈴鹿市も含め共有を行う。

他、必要な資料や補足の質問は鈴鹿市担当の方から要望していく。

(4) その他特記事項
打合せ後、土木総務課安村様に挨拶（不在）

以　上

令和5年3月23日

新工場建設打合せ記録（施設許可申請に向けて第二回）

1. 日時：令和5年3月23日（木）13：00～14：15
2. 出席者：当方　出原工場長、上戸（記）
　　わけびき行政書士、わけびき事務所　阪行政書士
　　先方　三重県鈴鹿地域防災総合事務所　環境室　環境課　諸岡課長代理

3. 内容
主旨：施設設置許可申請クリアに向けての必要事項打合せ　2回目
打合せ事項
（1）　照会事項
① 汚水漏洩防止の設備を工場内に設置する必要性が許可申請に係る条例に明記されているか。
→諸岡氏の見解：側溝等の具体的に明記されていないため、具体的な指導はない。
基本的には消防サイドの見解通りでよい。（傾斜に油集積マス）
通常では出ない旨も説明会等で添えるとよいと考える。
② 廃棄物（製品）六面梱包後の屋外保管についてラップ等で飛散養生を行い、飛散流出のない状態での容器保管の決まりはあるか。
→諸岡氏の見解：屋外保管は容器保管でなければ50%勾配等屋外廃棄物保管の基準が適用される。耐荷重のある擁壁の中であれば距離の基準はクリアとなるまた、売却価格より運賃の方が大きい場合は、「現着有価」扱いとなり、現着して売却終了までは廃棄物扱いのため、廃棄物の保管基準が適用される。
→出原工場長　：戦争遺構は耐荷重がある擁壁とみなせるか。
→諸岡氏の見解：コンクリートに厚みがあり、長年保っていることを考えると耐荷重のある擁壁とみなせると考える。但し、周囲の戦争遺構保存の観点からそもそも論として資材を押さえる擁壁とすることに抵抗感を示す説明会出席者がいるかもしれないのでうまく説明することが必要かもしれない。
③ その他
・わけびき行政書士事務所側から事業計画の下書きを提出し諸岡氏に確認を依頼
・県の人事異動
鳥居課長異動　諸岡課長代理異動（諸岡氏は津の廃棄物課に課長として）
後任　担当は県の廃棄物課　リサイクル担当の方1名
課長は県の廃棄物監視指導課の方

以　上

令和５年３月 16 日

新工場建設打合せ記録

1. 日時：令和５年３月 16 日(木)14：00～15：00
2. 出席者：当方　出原工場長、上戸（記）
   先方　鈴鹿市消防本部　予防課　危険物Ｇ　西田主査
3. 内容
   主旨：リサイクルプラントの建屋に係る消防設備について事前見解を得るための打合せ
   （危険物・指定可燃物）

打合せ事項

① 【開示情報】

・作動油の SDS　出光興産ダフニー　スーパーハイドロ 46A（別添）引火点 226℃
・使用数量　3,450L
・指定可燃物（合成樹脂）倍数単位 30ｔ/日の見込み（約 10 倍）
・貯蔵の定義

② 【開示情報に対する消防の見解】

・作動油　SDS を確認すると　危険物四類第四石油類に該当する。
指定数量：6,000L　使用予定数量に対しては 0.575 倍（1.0 倍未満）
→0.2 倍～0.99 倍の少量危険物取扱に該当

少量危険物について鈴鹿市条例での基準

1. 施設・作業台等が不燃材　→鋼板なので満足
2. 防火戸→建築基準法９条２　ロに適合するものを堀田建設㈱と相談
3. 危険物が浸透しない地面→コンクリなので満足
4. 傾斜と集油マス→堀田建設㈱と相談
5. 消火設備消火器　10 型
6. 法令通りの取り扱い施設表示看板等

※消火器は 20ｍのスパンで必要（より厳しい歩行距離基準が適用される）

出原工場長：開口部はもう一つ増やす見込みで天井高さも 6m→7mになる予定

・指定可燃物：30ｔ/日程度と伺ったので 750 倍未満である。少量危険物と同様のくくりになると考えられる。予防課とも一度協議する。
また、貯蔵という定義は１日（24 時間）を超えて保管することという解釈である。

先方で一度予防 Gr、危険物 Gr で確認をし、修正事項あれば早めに出原工場長に TEL 連絡をするとのこと。

以　上

令和５年３月 14 日

新工場建設打合せ記録

1. 日時：令和５年３月 14 日（火）15：00～16：00
2. 出席者：当方　出原工場長、上戸（記）
わけびき行政書士、堀田建設㈱　林建築部長、中央理化工業　奥濱主任
先方　鈴鹿市消防本部　予防課　予防Ｇ　内山消防司令、中島消防司令補、
中川消防士長
予防課　危険物Ｇ　常山氏　西田主査
3. 内容
主旨：リサイクルプラントの建屋に係る消防設備について事前見解を得るための打合せ

打合せ事項

① 【弊社の方針】

出原工場長：リサイクルプラント建屋に係る消防設備について、必要なものは必ず基準を満たすように進めたいが、法令、条例をクリアする必要最低限のものにしたいと考える。（消火栓設置に膨大な費用）何か良い方法はないか、事前に情報収集に伺った。

② 【消火設備に関する消防の見解】

当該案件については事前に経緯等を伺っており、コストを極力抑えて法令の許容する範囲でいうと、

用途：作業所：12 項のイ　中央部を耐火構造で作らなければ消火設備が必要

・3 階未満の建屋　・開口部面積の 1/30 以上　・2000 ㎡未満

且つ指定可燃物の倍数が 750 倍未満で使用できるパッケージ消火器の設置で問題ないと考える。（指定可燃物が 750 倍以上になるとパッケージ消火器では消火困難と定義される）→消火栓と比較し、かなり安価である。

※別紙：指定可燃物の種類（写真）廃プラ１単位が３ｔなので 750 倍は 2250ｔ/日置場は屋外で、屋外の指定可燃物置場（３ｔ～）届出が必要。

③ 【危険物に関する消防の見解】

・作動油→危険物第４類　第三石油類（指定数量 2000Ｌ）もしくは第四石油類（指定数量 6000Ｌ）の判断になる見込み。数量は使用する油量を確定し、ＳＤＳを準備の上、予防課危険物Ｇと相談が必要。油の置き場等も記した図面があると判断しやすい。

以　上

令和4年11月30日

新工場建設打合せ記録（都計審に向けて第二回）

1. 日時：令和4年11月30日（水）13：30～14：30
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
　　先方　鈴鹿市都市整備部　建築指導課　建築防災G　若林様、神田橋様

3. 内容
主旨：鈴鹿市との都計審に関する打合せ
打合せ事項

① 51条の9m道路に関して但し書き

但し書き条項を満たすように対応し、都計審前に当方と市の協議内容を市と県で対面にて協議してもらい、都計審前に8割の内定をもらえるよう進めていくことを当方と市役所担当者の間で確認（前回）今回そのための根拠づけ資料を作成し、説明の上納得いただいた。

・但し書きの確認証明事項の説明（田中専務、出原工場長、上戸）

※ 別添①51条の但し書きについての証明事項及び別添②交通量調査データからの考察資料を参照ください。

②情報共有

(1) 【市役所担当者・当方での情報共有事項】（若林様、神田橋様から弊社に）

・12月に一度51条但し書きの該当根拠を文書化し、県との協議を行うとのこと。
・頑張って令和5年10月の都計審で審議できるように準備するとのこと。

(2) 【必要準備】（若林様、神田橋様から弊社に要求事項）

・令和5年10月から逆算したスケジュールを作成して共有してほしいとのこと。
（許可申請側含む、全体像を把握するため）
・設備能力比較の一軸破砕機を入れた状態にアップデート、共有。
・本日但し書きの確認証明事項のワードデータ及び工場許可申請の変遷データをあらためて先方に送付。

その他特記事項

打合せ後、土木総務課安村様に進捗の説明、及びわけびき行政書士に本日の内容を説明し、事業計画及び令和5年10月から逆算した申請等のスケジュールを作成していただくよう依頼した。

以　上

令和4年10月26日

新工場建設打合せ記録（施設許可申請に向けて第一回）

1. 日時：令和4年10月26日（木）9：30～10：30
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
　　わけびき行政書士、わけびき事務所　坂様
　　先方　三重県鈴鹿地域防災総合事務所　環境室　環境課　鳥居課長、諸岡課長代理

3. 内容
主旨：施設設置許可申請クリアに向けての必要事項打合せ
打合せ事項
① 冒頭
わけびき行政書士　　現在許可申請を進めるにあたり、51条の9m道路が課題となっている。現在、交通量と物量が増えないことは前提として説明している。
出原工場長　　県の両氏に資料提出

② 今後の流れについて説明

諸岡氏　　許可申請の流れ
① 事業計画の策定、提出（フローも完璧な状態で）
② ①提出と同時に公告、縦覧
③ 説明会（周知）半径100m以内の住民、半径20m以内の土地所有者に14日をおいて実施
④ ③実施後30日間の意見聴取期間を設け意見無くなるまで意見書→見解書作成・公告・縦覧→再意見書の繰り返し
※消防、県、他との事前協議なども実施

田中専務　　合意形成手続きの流れについて白山の案件の意見書を拝読しているが、非常に細かい部分まで意見されているものも見られたが、どこまで酌まなければならないのか判断が難しい。逆にカンセイさんの例は非常に円滑に運んでいるようにみえる。

諸岡氏　　白山の例は新規ということもあり、当初からの反発が強いとそのようになることもある。カンセイさんの例は、現状の施設で反発無く、良好に運んでいると思われる。厳密に言えば環境上の問題についての意見以外は「意見」として酌まなくても定義上の問題はないが、合意形成が円滑にいかない場合があるので、対応した方がうまくいくことがある。

また、半径100m以内の住民に説明の義務があるが、近隣の自治会にも門戸を広げた方が無難と思料する。

田中専務　　どの自治体が該当しているかまでは未検証なので、検討したい。

③ 許可の種類、区分について

諸岡氏　　破砕、選別、圧縮については、品目ごとに分けた方が使い勝手が良いと考えるので各品目、処理のフローを資料として相談しましょう。

【考えられるパターン】

(1) 破砕

(2) 破砕・選別

(3) 圧縮

※どのように許可を出すかは提出するフローを見て相談

④ 騒音・振動・粉塵測定に関して

諸岡氏　　騒音・振動測定は、既存設備を動かした上、新規設備の測定を行うこととなる。どこで測定するかは基準を決定している市の意向もあるため、自社敷地をもとに指示があると思料する。おそらくは、前回同様の基準で決まると思われるので活用できるデータがあれば活用していただいても問題ない。粉塵も前回と同様の方法で検討しても問題ないと思料する。

⑤ 最後に

諸岡氏　　事業計画の様式が変更になっている。(別紙添付で対応可となった)

次回　9m道路の見解を得てからの正式申請となる

令和4年10月20日

新工場建設打合せ記録（都計審に向けて第一回）

1. 日時：令和4年10月20日（木）10：00～11：00
2. 出席者：当方　田中専務、出原工場長、上戸（記）
　　田中行政書士、わけびき行政書士
　　先方　鈴鹿市都市整備部　建築指導課　建築防災G　若林様、神田橋様
　　鈴鹿市都市整備部　都市計画課　中西GL

3. 内容
主旨：鈴鹿市との都計審に関する打合せ
打合せ事項
① 計画概要の説明
田中専務　　現在弊社はプラ類、木、金属、ガラス、がれき類等を主に中間処理しており、現状は中間処理後、主に埋立処分場もしくは外部のリサイクル施設にて処分を行っている。昨今のプラスチック新法施行、埋立処分場への負荷などの社会情勢を鑑み、今回新リサイクルプラントの建設をしたい。

② 今回の工場建設に関する方針、過去の経緯確認
若林様　　今回新工場の申請については建築基準法第51条の建築許可を受けるために都計審を受けるということで、都計審→建築物設置許可→開発許可の順番で決定していく。

神田橋様　　（新規のため能力値1.5倍の対象とならず、1ｔでも増加があれば対象）

田中専務　　H5年に都計審で審査を受け、許可された700ｔ/日という数量は既得権として生きているのか確認したい。
【経緯】
(1) H5年700ｔ/日で都計審通過
(2) H27年火災により工場移設のため許可のやり直し　計算方法の変更により処理能力数値が下がる

中西ＧＬ　　過去の経緯を調べると当時712.26ｔ/日として審議されている。
田中専務　　700ｔから能力的に増えていないことが都計審通過の一助にならないか考えをいただきたい。

③ 設備の対照表の確認

田中専務　　何度も強調するが現状の物量に変更はない。あくまで現状の数量の廃プラスチック類リサイクル率を上げる目的のため、荷量や顧客が増えるわけではない。そこは都計審に向けてご担当者にも特に理解いただきたい部分である。（１万７千トン/年程度）

出原工場長　対照表では理論上の処理能力が増えているので、物量も増えることを連想するかもしれないが、あくまで現状の廃棄物に対してのリサイクル率を向上させることと認識していただきたい。

若林様

神田橋様　　理解した。

④ 51 条の 9m道路に関して

但し書き条項を満たすように対応し、都計審前に当方と市の協議内容を市と県で対面にて協議してもらい、都計審前に 8 割の内定をもらえるよう進めていくことを当方と市役所担当者の間で確認

但し書きの確認証明事項　（若林様、神田橋様）

51 条　抜粋

３．　道路について（1）敷地の主たる搬出入口が面する道路の幅員は敷地面積に応じて下表の 数値以上とすること。 ただし、周囲の状況等により通過交通が少なく、かつ交通安全上、避 難上及び消防活動上支障がない場合はこの限りではない。

通過交通が少ない　　→交通量調査

交通安全上支障がない→住民、学童、学生施設がない

避難上支障がない　　→一つのルートが通行不可になってももう一つ通行できる道

消防活動上支障がない→消防車両通行可能、防火水槽確保、各施設内の消火設備

※40ｔ以上のタンクがあるかは工場長確認

⑤ 情報共有

(1) 【市役所担当者・当方での情報共有事項】

廃掃法の許可関係は 10/26 日　都計審と並行して準備していくことを確認

(2) 【過去の設備図面の時系列】

後日市役所からＣＡＤデータ受領予定　情報共有

その他特記事項

打合せ後、土木総務課安村様に田中行政書士から警察の交通量データの提供働きかけのお願いをしていただいた。

以　上

令和4年10月17日

新工場建設打合せ記録

1. 日時：令和4年10月17日（月）10：00～11：00
2. 出席者：当方　下田社長、田中専務、出原工場長、上戸（記）
   先方　鈴鹿市土木部　土木総務課　公共用地管理G　安村様
   鈴鹿市都市整備部　建築指導課　建築防災G　若林様、神田橋様

3. 内容

主旨：鈴鹿市との都計審に関する打合せ前の事前訪問、打合せ

打合せ事項

① 計画概要の説明

下田社長　リサイクルプラント新設計画について別添資料を用いて冒頭説明

田中専務　現在弊社はプラ類、木、金属、ガラス、がれき類を主に中間処理しており、昨今の埋め立て処分場の逼迫及びプラスチックの問題等の社会情勢を踏まえ、リサイクル率向上のためにプラスチックを燃料化リサイクルできる新プラントの建設をしたいと考えている。あくまで現在の荷量は十分集まっているので現状の数量のリサイクル率を上げる主旨での新工場建設である。（1万7千トン程度）

② 51条の9m道路についての見解（若林様、神田橋様）

- 9m道路の件、但し書きについて各事項一つ一つ証明が必要
  （交通量の影響、消防車両の進入等）
- 事前に証明の結果で9m道路設置免除か否か決定するということはなく、あくまで証明の結果を都計審が審査して結果が決まる
- 土地利用計画図のようなものがあるとイメージしやすく、説明の大きな助けになるので早めに情報共有をお願いしたい
- 次回都計審の予定　夏以降（年3～4回）できれば他案件との抱き合わせで行きたいと思っている

③ 備考（安村様）

- 行政書士の先生からも提案を受け、早めに手を打っておくことを薦める

④ 次回　10/20(木) 行政書士の先生方と第一回市役所との正式打合せ（都計審に向けて）